

諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略

最先端に挑み続ける「ものづくり」で「ひとづくり」 「輝くSUWA」の創生戦略

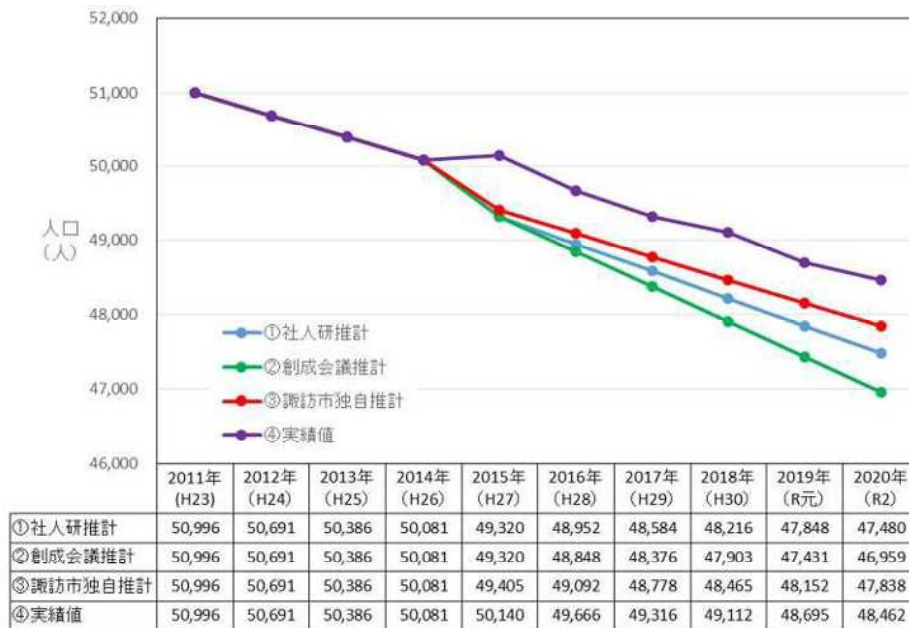
効果検証結果(案)

表紙 目次	P1
効果検証結果(案)の概要	P2
数値目標達成状況及び目標値一覧	P6
KPI進捗及び目標値一覧	P7
一之柱 魅力的で安定した「しごと」ができる「まち」の創生	P11
1 魅力的なしごと ～Attractive Job～ をつくる	P14
2 創造都市 ～Creative City～ をつくる	P24
3 新たな価値 ～New Value～ をつくる	P28
二之柱 「行ってみたい」、「戻ってきたい」、 「住んでみたい」と思える「まち」の創生	P31
1 「知っている」から「行ってみたい」まちへ	P34
2 「住み続けたい」、「戻ってきたい」まちへ	P38
3 「住んでみたい」、「選ばれる」まちへ	P41
三之柱 若い世代の「希望」を実現、 「ひと」を育てる「まち」の創生	P45
1 「結婚したい！」希望をかなえる	P48
2 「授かりたい、産みたい！」希望をかなえる	P49
3 「子育てしたい！」希望をかなえる	P52
4 「学びたい、学ばせたい！」希望をかなえる	P57
5 「働き続けたい！」希望をかなえる	P62
四之柱 誰もが安全・安心・安定して暮らせる、 個性が輝く「まち」の創生	P65
1 安全・安心な「暮らし」	P67
2 みんなで支えあう「暮らし」	P71
3 快適・便利な「暮らし」	P73
4 生きいき、元気な「暮らし」	P80
5 学べる、感じる「暮らし」	P86

諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証結果（案）の概要

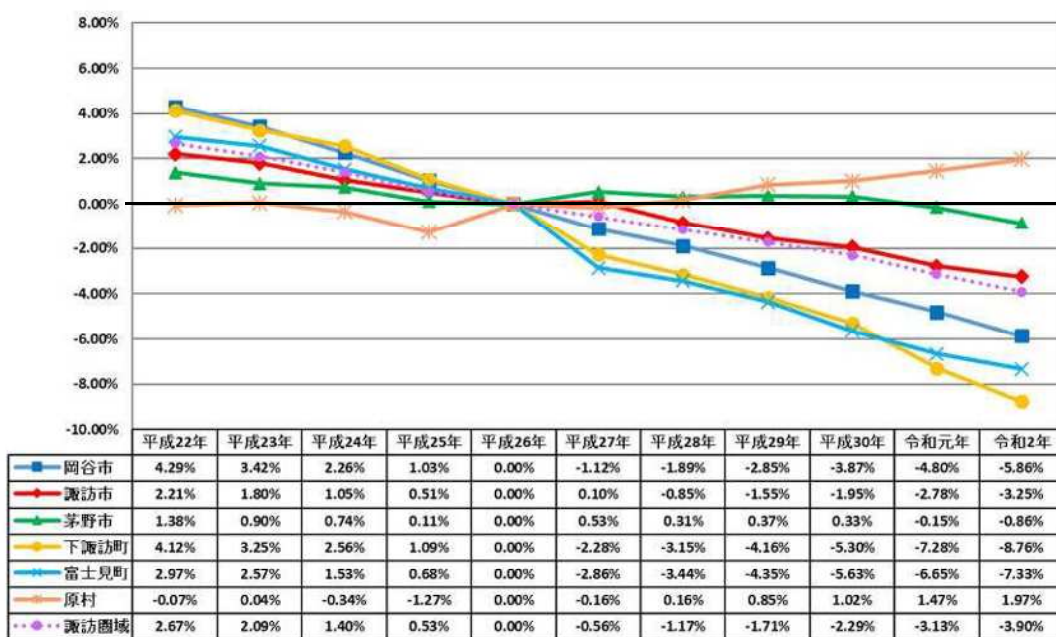
1 人口について

諏訪市の令和2年度人口は48,462人です。これは人口ビジョンにおける目標人口47,838人に対しては624人上回っていますが、毎年人口は減少しています。なお、令和2年度の国勢調査の結果を反映した人口は48,774人でした。これまでの数値に936人上乗せした数値となりますが、今後はこの結果を基にした人口推移を観察していくこととなります。



図：諏訪市人口の推移

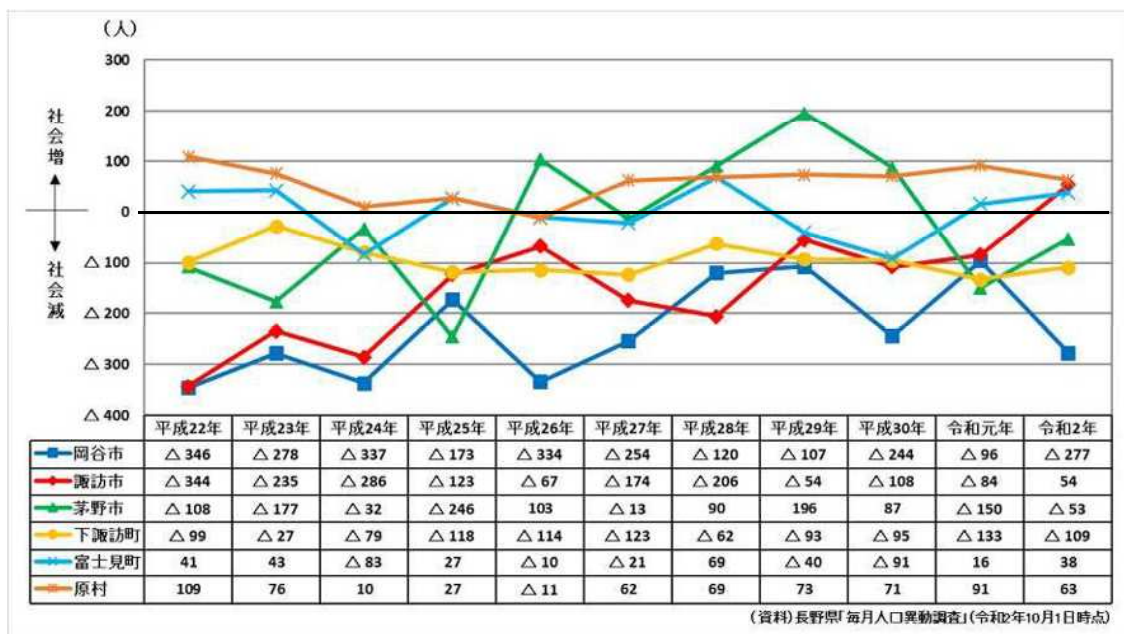
総合戦略計画期間開始前年の平成26年を基準とした人口増減率をみると、諏訪市の人口は減少を続けています。諏訪圏域全体を見ても減少傾向であることがわかります。



(資料) 総務省「国勢調査」、長野県「毎月人口異動調査(令和2年10月1日時点)

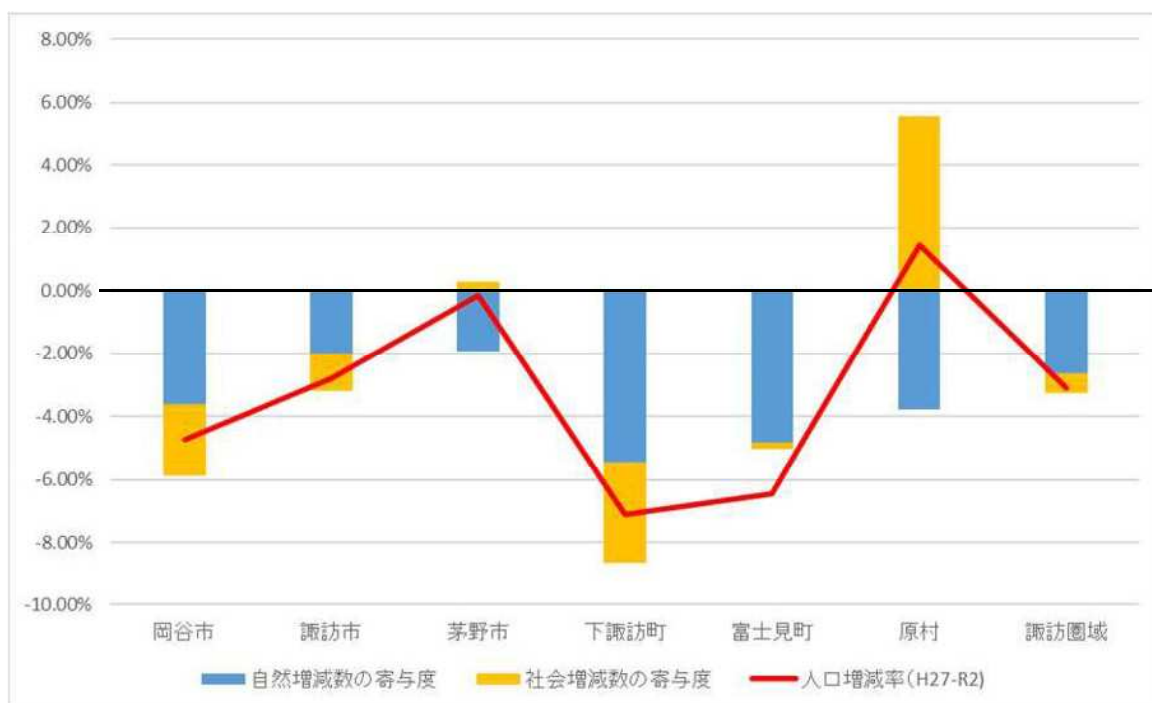
図：人口の推移（増減率）

このような状況下にあります。令和2年に諏訪市は16年ぶりに社会増に転じました。しかしながら、総人口の減少が続いている状況にあります。このことから、自然減は進行しているということになります。



図：諏訪圏の社会増減推移

過去6年間の自然増減と社会増減が人口増減にどの程度影響しているのかをみると、自然減の影響の方が大きいことがわかります。



図：諏訪圏の自然増減社会増減の人口に対する寄与度 (H27~R2)

合計特殊出生率についても諏訪市は全国平均及び長野県の数値に対しては上回っていますが、人口ビジョンにおける2040年2.27という目標達成については依然厳しい状況です。

自然増を目指すには出生数の増加が必要です。また、人口ビジョンにおける人口推計も出生率の向上が条件となっています。日本全体を見ても、自然減幅を抑制し自然増への転換を目指すには、出生数の増加は大きな課題です。



(資料) 厚生労働省「人口動態調査」、長野県「毎月人口異動調査」
 ※ 諏訪市については(母の5歳階級別出生数÷5歳階級別女性人口)の5倍を合計して算出した独自推計
 ※ 出生数については、母の年齢15～49歳まで。

図：出生率推移

2 次期地方創生総合戦略について

諏訪市では、令和4年度を計画初年度とする「第六次諏訪市総合計画」について、令和2年度から策定に向けた作業を開始しています。この計画は、第2期諏訪市版総合戦略を一体化したものととなります。計画の中には、「関係人口」「新たな時代への対応」等といった、国の示す指針や方針についても色濃く反映させていきます。また、KPIについても全項目で新たなものへの変更を予定しています。

第六次諏訪市総合計画では、諏訪市人口ビジョンにおける人口目標値を引き継いで、令和22年43,000人以上、令和42年40,000人以上を設定しています。なお、人口ビジョンについては国が長期ビジョンの見直しをしていないこともあり、この時点での修正はいたしません。

3 新型コロナウイルス感染症の影響について

新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業で影響が出ていますが、この影響による目標値の変更は実施しておりません。

なお、効果検証について、数値目標やKPIの効果検証に対しては感染症の影響を記載する欄を設け、主な成果については感染症の影響、感染症を起因にした課題等に下線をつけています。

数値目標やKPIについては客観的な実績数値を使用し実施しますが、新型コロナウイルス感染症の影響についてもどの程度あったのかを同時に把握いたします。

4 数値目標の効果検証

総合戦略における四つの柱に掲げる **12項目の数値目標**について、計画最終年度（令和3年度）の目標達成に向けた進捗状況を3段階で評価しました。昨年度と比較し、2項目で達成度が向上しましたが、4項目で達成度は下降しています。

柱	数値目標	基準値	実績値	目標値	達成度	前年比較
一之柱	市内事業所従業者数	27,528人 (平成24年)	-	28,000人 (令和3年)	※実績値なし	-
	市内民営事業所数	3,457事業所 (平成24年)	-	3,500事業所 (令和3年)	※実績値なし	-
	製造品出荷額等 (従業員4人以上の事業所)	7,679,776万円 (平成25年)	9,536,164万円 (令和元年)	10,000,000万円 (令和3年)	概ね順調	↓
二之柱	社会増減数	△67 (平成26年)	△572 (6年間累計)	△1,318 (7年間累計)	順調	→
	生産年齢人口	29,115人 (平成26年)	27,385人 (令和2年)	26,574人 (令和3年)	順調	→
	観光客入込数	6,168,519人 (平成26年)	4,130,996人 (令和2年)	6,400,000人 (令和3年)	努力が必要	↓
三之柱	合計特殊出生率	1.64 (※平成26年)	1.54 (令和2年)	1.78 (令和3年)	概ね順調	→
	自然増減数	△67 (平成26年)	△979 (6年間累計)	△776 (令和3年)	努力が必要	↓
	学校教育に対する 市民満足度	3.01 (平成27年)	3.27 (令和3年調査)	向上 (令和4年調査)	概ね順調	↓
四之柱	防災対策に対する 市民満足度	3.16 (平成27年)	3.31 (令和3年調査)	向上 (令和4年調査)	順調	↗
	健康づくりに対する 市民満足度	3.31 (平成27年)	3.23 (令和3年調査)	向上 (令和4年調査)	概ね順調	→
	生涯学習に対する 市民満足度	3.11 (平成27年)	3.22 (令和3年調査)	向上 (令和4年調査)	順調	↗

※「市内事業所従業者数」、「市内民営事業所数」については経済センサスの結果に基づき設定しており、令和元年是未実施のため実績値を把握することができない。

5 重要業績評価指標（KPI）の効果検証

一之柱から四之柱に掲げる各施策の **81項目の重要業績評価指標（KPI）**について、計画最終年度（令和3年度）の目標達成に向けた進捗状況を3段階で評価しました。

※（）は前年の効果検証結果

柱	順調	概ね順調	努力が必要	実績値なし	計	感染症の影響で 実績値が前年より 減少したもの
一之柱	8 (11) 38.1% (52.4%)	3 (1) 14.3% (4.8%)	7 (7) 33.3% (33.3%)	3 (2) 14.3% (9.5%)	21	7 ※一之柱の33.3%
二之柱	5 (8) 35.7% (57.1%)	3 (3) 21.4% (21.4%)	6 (3) 42.9% (21.4%)	0 (0) 0.0% (0.0%)	14	6 ※二之柱の44.4%
三之柱	7 (9) 35.0% (42.9%)	6 (8) 30.0% (38.1%)	5 (4) 25.0% (19.0%)	2 (0) 10.0% (0.0%)	20	8 ※三之柱の40.0%
四之柱	9 (12) 34.6% (46.2%)	3 (12) 11.5% (46.2%)	14 (2) 53.8% (7.7%)	0 (0) 0.0% (0.0%)	26	16 ※四之柱の61.5%
計	29 (40) 35.8% (48.8%)	15 (24) 18.5% (29.3%)	32 (16) 39.7% (19.5%)	5 (2) 6.2% (2.4%)	81	37 ※全体の45.7%

達成度の目安…順調（目標値以上）、概ね順調（80%以上100%未満）、
努力が必要（80%未満）、実績値なし（当該年度の実績値なし）

諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 四つの柱 数値目標達成状況及び目標値一覧

柱	数値目標	基準値	令和2年度 目標値	令和2年度 実績値	令和2年度 達成度	令和3年度 目標値
一之柱 魅力的で安定した 「しごと」ができる 「まち」の創生	市内事業所従業者数	27,528人 (平成24年)	28,000人	-	実績値なし	28,000人
	市内民営事業所数	3,457事業所 (平成24年)	3,500事業所	-	実績値なし	3,500事業所
	製造品出荷額等 (従業員4人以上の事 業所)	7,679,776万円 (平成25年)	10,000,000万円	9,536,164千円 (令和元年)	概ね順調	10,000,000万円
二之柱 「行ってみたい」、 「戻ってきたい」、 「住んでみたい」と 思える「まち」の創 生	社会増減数	△67人 (平成26年)	△1,130人	△572人	順調	△1,318 (7年間累計)
	生産年齢人口	29,115人 (平成26年)	26,937人	27,385人	順調	26,574人
	観光客入込数	6,168,519人 (平成26年)	6,400,000人	4,130,996人	努力が必要	6,400,000人
三之柱 若い世代の「希望」 を実現、「ひと」を育 てる「まち」の創生	合計特殊出生率	1.64 (平成26年)	1.76	1.54	概ね順調	1.78
	自然増減数	△67人 (平成26年)	△735人	△979人	努力が必要	△776 (7年間累計)
	学校教育に対する市 民満足度	3.01 (平成27年)	向上	3.27	概ね順調	向上
四之柱 誰もが安全・安心・ 安定して暮らせる、 個性が輝く「まち」 の創生	防災対策に対する市 民満足度	3.16 (平成27年)	向上	3.31	順調	向上
	健康づくりに対する市 民満足度	3.31 (平成27年)	向上	3.23	概ね順調	向上
	生涯学習に対する市 民満足度	3.11 (平成27年)	向上	3.22	順調	向上

※「市内事業所従業者数」、「市内民営事業所数」については経済センサスの結果に基づき設定。令和2年度は未実施であり把握不可。

諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI(重要業績評価指標)進捗及び目標値一覧

柱	施策	具体的な施策	KPI	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	令和2年度 達成度	令和3年 目標値	
一 之 柱	1 魅力的なしごと～ Attractive Job～をつくる	(1)工業の振興による 競争力強化	製造業の従業員数 (従業員4人以上の事業所)	4,428人	5,085人	順調	4,428人	
			工場等立地促進助成金の申請件数	10件/年度	15件	順調	10件/年度	
			新規創業した工業事業所数	2事業所/年度	2事業所	順調	2事業所/年度	
		(2)観光の振興による 競争力強化	観光消費額	2,030,000万円	1,222,339万円	努力が必要	2,030,000万円	
			外国人宿泊者数	41,000人	3,440人	努力が必要	41,000人	
		(3)商業の振興による 競争力強化	商店数	600店	-	実績値なし	600店	
			年間販売額	17,000,000万円	-	実績値なし	17,000,000万円	
		(4)農業の振興による 競争力強化	認定農業者数	40人	39人	概ね順調	42人	
			耕作放棄地解消面積	0.2ha/年度	3.1ha	順調	0.2ha/年度	
		(5)若い世代の地元 就職の促進・定着化	インターンシップ受入人数	20人/年度	7人	努力が必要	20人/年度	
			大学卒業生等就職ガイダンス延べ参加者数	700人/年度	575人	概ね順調	700人/年度	
		2 創造都市 ～Creative City～をつくる	(1)プロフェッショナル 人材の誘致・育成	産業連携プロジェクト地域外参画事業者数	70者	94者	順調	75者
				空き店舗等活用補助金利用件数	2件/年度	0件	努力が必要	2件/年度
			(2)地域の資源、創意 工夫を活かした新産 業・新事業の創出	新技術・新製品研究開発による新製品市販化	4社/年度	14社	順調	4社/年度
				新規みやげ品開発数	2件/年度	5件	順調	2件/年度
	(3)新規開業者・UIJ ターン起業者へのサ ポート体制構築		諏訪市の支援を受けたUIJターンによる起業数	2件/年度	1件	努力が必要	2件/年度	
	3 新たな価値～New Value～をつくる	(1)域外マナーを「稼 ぐ力」の向上	諏訪圏工業メッセ共同出展における商談成立・継続交渉件数	12件/年度	-	実績値なし	12件/年度	
			県外開催展示会への出展企業数	25社/年度	14社	努力が必要	25社/年度	
		(2)様々な連携の促 進による新たな可能 性の発掘・育成	産業連携プロジェクト参画事業者数	300者	360者	順調	320者	
			大学と市内企業とのマッチング件数	10件/年度	8件	概ね順調	10件/年度	
		(3)「SUWAブランド」 の創出による新たな 可能性の発信	「SUWAプレミアム」取扱商品数	158点	93点	努力が必要	166点	

7項目 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、実績値が前年より減少したもの

諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI(重要業績評価指標)進捗及び目標値一覧

柱	施策	具体的な施策	KPI	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	令和2年度 達成度	令和3年 目標値
二之柱	1「知っている」から「行ってみたい」まちへ	(1)豊富な観光資源を活かした観光戦略	宿泊客数	590,000人	307,035人	努力が必要	590,000人
			観光消費額【再掲】	2,030,000万円	1,222,339万円	努力が必要	2,030,000万円
		(2)官民が連携したシティプロモーションによる魅力発信	移住・定住サポートサイトへのアクセス件数	10,000件	4,197件	努力が必要	10,000件
			ふるさと寄附金件数	1,700件	2,654件	順調	1,700件
	2「住み続けたい」、「戻ってきたい」まちへ	(1)若い世代に向けた情報発信	大学卒業者等就職ガイダンス延べ参加者数【再掲】	700人/年度	575人	概ね順調	700人/年度
			奨学資金の大学生貸与者のうち、卒業後の諏訪市居住者の割合	67.0%	57.1%	概ね順調	67.00%
		(2)「ふるさと」としての愛着や誇り、地域貢献への意識醸成	学校支援ボランティア参加者延べ数	27,800人	10,304人	努力が必要	27,800人
			生涯学習リーダーバンク登録者数	35人	65人	順調	35人
	3「住んでみたい」、「選ばれる」まちへ	(1)移住相談、移住サポート体制の充実	移住セミナー等での相談者数	130人/年度	121人	概ね順調	130人/年度
			諏訪圏移住相談センターへの相談件数	200件/年度	98件	努力が必要	200人/年度
			諏訪市移住促進人財バンク利用者数	5人	12人	順調	5人
		(2)UIJターンの支援	諏訪市の支援を受けたUIJターンによる起業数【再掲】	2件/年度	1件	努力が必要	2件/年度
諏訪市空き家バンクによる契約成立件数			3件/年度	20件	順調	3件/年度	
(3)空き家バンクの活用促進		諏訪市空き家バンク登録物件数	80件	270件	順調	80件	

6項目 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、実績値が前年より減少したもの

諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI(重要業績評価指標)進捗及び目標値一覧

柱	施策	具体的な施策	KPI	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	令和2年度 達成度	令和3年 目標値	
三 之 柱	1「結婚したい！」希望をかなえる	(1)結婚に関する相談支援、きっかけづくりとなる出会いの支援	結婚相談登録者数	55人	86人	順調	55人	
			婚活イベント、セミナーへの参加者数	-	-	-	-	
			「諏訪市新婚新生活住まいる補助金」の交付見込数に対する交付決定数の割合	80.0%	200%	順調	80.0%	
	2「授かりたい、産みたい！」希望をかなえる	(1)妊娠・出産への支援	妊婦一般健康診査受診率(1回目受診数/当年度妊娠届出数)	100%	100%	順調	100%	
			(2)出産前後のサポート体制整備	新生児等の家庭訪問実施率(訪問数/出生数)	100%	96.9%	概ね順調	100%
				父親向け子育て講座受講率	20.0%	-	実績値なし	20.0%
	3「子育てしたい！」希望をかなえる	(1)安心して子育てができる環境整備	児童センター利用者数(児童、保護者)	27,000人	8,516人	努力が必要	27,000人	
			ファミリー・サポート・センター利用件数	1,000件	603件	努力が必要	1,000件	
			病児病後児保育利用者数	400人/年度	158人	努力が必要	400人/年度	
		(2)保育所の充実	保育所の待機児童数	0人	0人	順調	0人	
			(3)子育ての経済的負担・精神的負担を軽減するサポート体制構築	出生数	2,559人	2,383人	概ね順調	2,985人(7年間累計)
		公立子育て支援センターでの相談件数		700件	1,468件	順調	700件	
		ひとり親世帯の就業支援による就業成立数	10件/年度	4件	努力が必要	10件/年度		
	4「学びたい、学ばせたい！」希望をかなえる	(1)ものづくり教育を核としたキャリア教育の推進	「相手意識に立つものづくり科」アンケートで「ものづくりは楽しい」と答えた児童生徒の割合	93.5%	90.6%	概ね順調	95.00%	
			「相手意識に立つものづくり科」アンケートで「将来社会へ出たら必要な力や大切なことなどがわかりました」と答えた児童生徒の割合	86.2%	74.8%	概ね順調	87.40%	
		(2)国際理解教育や情報教育、地域学習などの推進	国際理解教育年間授業時間数(小学校各学校あたり)	105時間	88時間	概ね順調	105時間	
			蓼科保養学園入園児童数	150人/年度	82人	努力が必要	150人/年度	
		(3)特別な支援が必要な子どもたちへの支援	教育相談最終件数	130件	105件	概ね順調	130件	
	5「働き続けたい！」希望を実現	(1)多様な就労形態、育児休業の取得促進	「くるみん」認定企業数	3事業所	3事業所	順調	3事業所	
			「社員の子育て応援宣言！」登録企業数	100事業所	101事業所	順調	100事業所	
(2)仕事と生活と調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進		「ワーク・ライフ・バランス」啓発のための講座・講演会参加者数	200人	-	実績値なし	200人		

8項目 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、実績値が前年より減少したものの

諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI(重要業績評価指標)進捗及び目標値一覧

柱	施策	具体的な施策	KPI	令和2年度 目標値	令和2年度 実績	令和2年度 達成度	令和3年 目標値
四之柱	1 安全・安心な「暮らし」	(1)防災対策の強化、地域防災の充実	市地震総合防災訓練への参加者数	11,430人	6,058人	概ね順調	11,960人
			自主防災組織の組織率	100%	95.6%	概ね順調	100%
		(2)誰もが安心して自分らしく暮らすことができる支援	ボランティア登録者率	11.5%	11.6%	順調	11.7%
			障がい福祉サービス利用計画作成率	100%	100.00%	順調	100%
	2 みんなで支えあう「暮らし」	(1)市民参加のまちづくり推進、コミュニティの活性化	区・自治会の加入率	93.0%	86.8%	概ね順調	93.0%
			外部評価制度の導入	実施	実施	順調	実施
			すわかちくらぶ来館者数	3,600人	122人	努力が必要	3,600人
			出前講座回数	50回/年度	28回	努力が必要	50回/年度
	3 快適・便利な「暮らし」	(1)賑わいのあるまちの形成	駅前交流テラスすわかち利用者数	150,000人	114,874人	努力が必要	200,000人/年度
			かりんちゃんバスの1便当たり利用者数	7.5人/便	5.5人/便	努力が必要	7.5人/便
		(2)地域公共交通網が確保された利便性の高い交通環境整備	二次交通を考慮した路線及びダイヤの改正	構築	構築	順調	構築
			諏訪湖・霧ヶ峰の環境保全活動へのボランティア参加者数	1,000人	674人	努力が必要	1,000人
		(3)快適な生活環境の維持保全	再生可能エネルギー等導入設置補助制度等による太陽光最大発電能力累計	6,495kW	6,907kW	順調	6,500kW
			再生可能エネルギーシステム等導入設置補助制度による補助件数累計(太陽光は除く)	14件	9件	努力が必要	16件
		(4)公共施設やインフラなどの既存ストックの計画的な維持管理	市公共施設の総延床面積	217,026㎡	216,433㎡	順調	215,891㎡
			個別施設計画の策定率	100%	100%	順調	100%
	4 活いき、元気な「暮らし」	(1)健康づくりの推進による健康寿命延伸	すわかちランド入館者数	310,000人	150,457人	努力が必要	310,000人
			特定健康診査受診率	60.0%	47.5%	努力が必要	60%
		(2)持続可能な地域医療の実現	小児夜間急病センター利用者数	2,591人	651人	努力が必要	2,591人
			在宅当番医の利用者数	2,500人	953人	努力が必要	2,500人
(3)住み慣れた地域で暮らし続けるための介護予防、介護サービスの推進		認知症サポーターの延べ養成数	3,400人	3,907人	順調	3,700人	
		要介護認定率	18.40%	17.30%	順調	18.80%	
5 学べる、感じる「暮らし」	(1)子どもから大人まで、生涯学べる環境づくり	生涯学習課主催の講座延べ参加者数	16,000人	2,747人	努力が必要	17,000人	
		スポーツ課主催・共催のスポーツ教室延べ参加者数	3,385人	1,981人	努力が必要	3,385人	
	(2)諏訪市の自然や歴史文化に触れる機会の創出	博物館入場者数	17,000人	8,380人	努力が必要	17,000人	
		美術館入場者数	10,000人	2,831人	努力が必要	10,000人	

16項目 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、実績値が前年より減少したもの

一之柱 魅力的で安定した「しごと」ができる「まち」の創生

基本目標

諏訪市の地域資源や技術を活かすとともに、新たな人材の誘致、素材の発掘により、魅力的な「しごと」をつくり、安定した豊かな生活を営むことができる「まち」を目指します。

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

【数値目標の進捗状況】

数値目標	項目	平成24年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
市内事業所従業者数 (経済センサス)	目標値		28,000人	28,000人	28,000人	28,000人	28,000人	28,000人	28,000人
	実績値	27,528人	※H26年 27,010人	26,809人	-	-	-	-	
	達成度		努力が必要	努力が必要	実績値なし	実績値なし	実績値なし	実績値なし	
【備考】 人口減少による影響を抑制し、現状を上回る数値を目標に設定	項目	平成24年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
	目標値		3,500事業所	3,500事業所	3,500事業所	3,500事業所	3,500事業所	3,500事業所	3,500事業所
	実績値	3,457事業所	※H26年 3,353事業所	3,238事業所	-	-	-	-	
達成度		努力が必要	努力が必要	実績値なし	実績値なし	実績値なし	実績値なし		
製造品出荷額等(4人以上事業所) (工業統計調査)	目標値		7,743,021万円	7,807,266万円	7,871,510万円	7,935,755万円	8,000,000万円	10,000,000万円	10,000,000万円
	実績値	7,679,776万円	※平成26年 7,890,722万円	※平成27年 8,618,400万円	※平成28年 9,447,874万円	※平成29年 10,149,252万円	※平成30年 10,012,331万円	※令和元年 9,536,164万円	
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	概ね順調	
【備考】 現状を上回る数値を目標に設定	項目	平成25年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)

【総合分析】

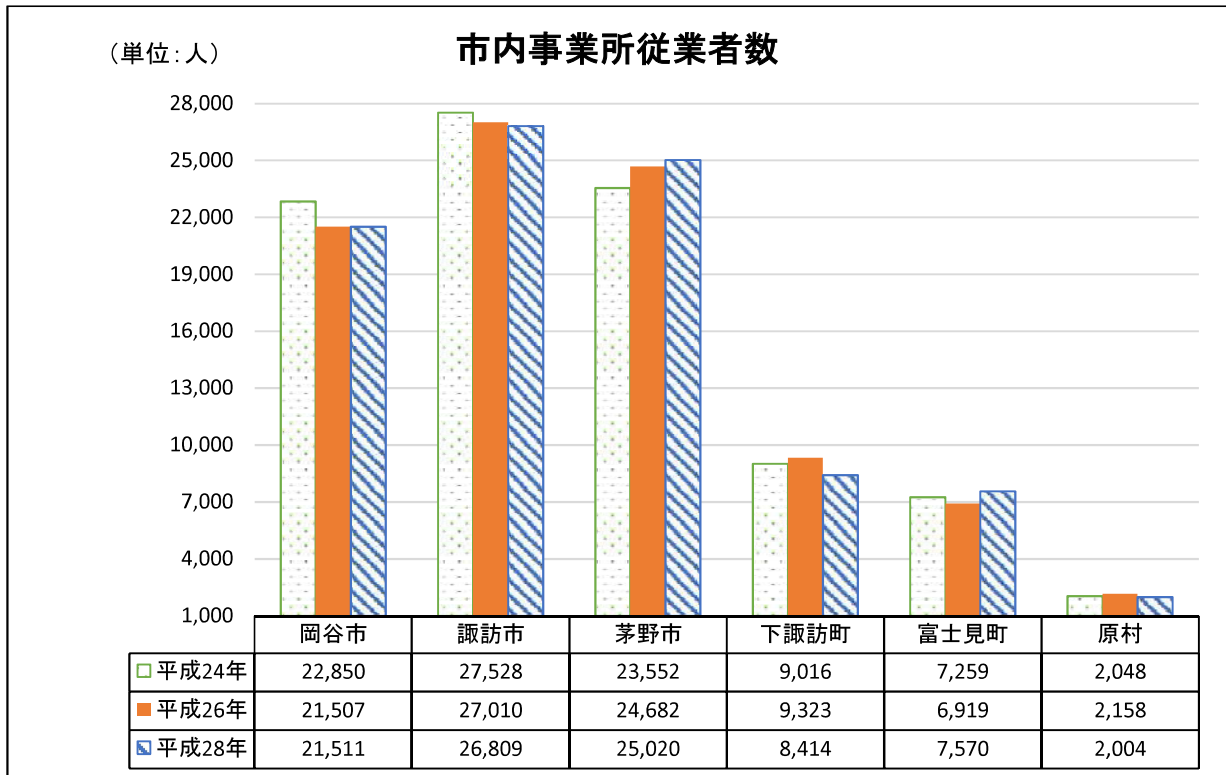
数値目標に対する新型コロナウイルス感染症の影響
<p>数値目標のうち市内事業所従業者数と市内民間事業所数については、実績値がない(結果が公表されていない)ことから把握できていないが、観光・サービス業を中心に影響を受けていることから、公表値に対しても影響が懸念される。</p> <p>○観光の振興による競争力強化 宿泊産業は市内で最も経済的打撃を受けている産業であり、集客イベントによる誘客、観光消費額拡大が難しい状況である。また、国際線の運休や入国制限等により、外国人観光客の誘客そのものが実質的に不可能な状況であり、インバウンド需要は皆無に等しい状況である。</p> <p>○若い世代の地元就職の促進・定着化 感染症の影響により、企業によってはインターンシップを規模縮小するなど受け入れが困難になっている。しかし、就職ガイダンスについては参加人数はある程度確保できた。全国的に感染症の影響によりガイダンスが少なくなっており、採用担当者とのコンタクトできる場を求めていると考えられる。</p> <p>○域外マナーを「稼ぐ力」の向上 諏訪圏工業メッセの対面開催は中止となりオンライン開催となった。現状では対面よりオンライン開催の効果は薄く、地元開催展示会での販路開拓が困難である。また、域外展示会についても多くの展示会が中止や延期となっていることもあり、販路開拓機会自体が減少している。</p>

一之柱 魅力的で安定した「しごと」ができる「まち」の創生

【総合分析】

基本目標の達成に寄与した取組成果
<p>○農業の振興による競争力強化 これまでの活動の結果が1,550%という大幅な目標達成に結び付いた。全体を見ても平坦部を中心に耕作放棄地は減少してきており、徐々に事業効果は出てきている。</p> <p>○地域の資源、創意工夫を活かした新産業・新事業の創出 予算を拡充したこともあり、新技術新製品開発事業補助に対して15社の申請があり、うち14社を採択。積極的な技術開発を進める企業を支援することで、開発意欲や新規分野参入意欲の向上につながっている。</p> <p>○様々な連携の促進による新たな可能性の発掘・育成 過去の実績が周知されてきており、それが次のプロジェクトや参画者につながるという好循環が生まれている。</p>
基本目標の達成に向けた今後の方向性
<p>○観光の振興による競争力強化 観光分野については、諏訪観光協会や諏訪地方観光連盟が取り組む誘客事業と連携しながら、新たな観光素材の発掘・磨き上げを行う等、通年での誘客促進及び滞在時間延長の取り組みにより、観光消費額の拡大を図る。また、コロナ収束後の需要国(特にアジアや東南アジア等)の状況を注視し、引き続き県内や近隣自治体と連携した招聘事業の誘致を図っていく。</p> <p>○域外マネーを「稼ぐ力」の向上 諏訪圏工業メッセ共同出展は規模が小さく単独出展が難しい企業をサポートしてきた。今後、新たなメッセも想定し、技術をPR出来る展示方法を検討し、継続して支援していく。</p> <p>○「SUWAブランド」の創出による新たな可能性の発信 商品本体に価値を見出す「モノ消費」に対して、得られる体験に価値を見出す「コト消費」のニーズが高まっている。モノ・コトどちらもその過程や潜在的な価値に重きを置いたブランディングを行うことで、新たな可能性の創出と発信を行う。</p>

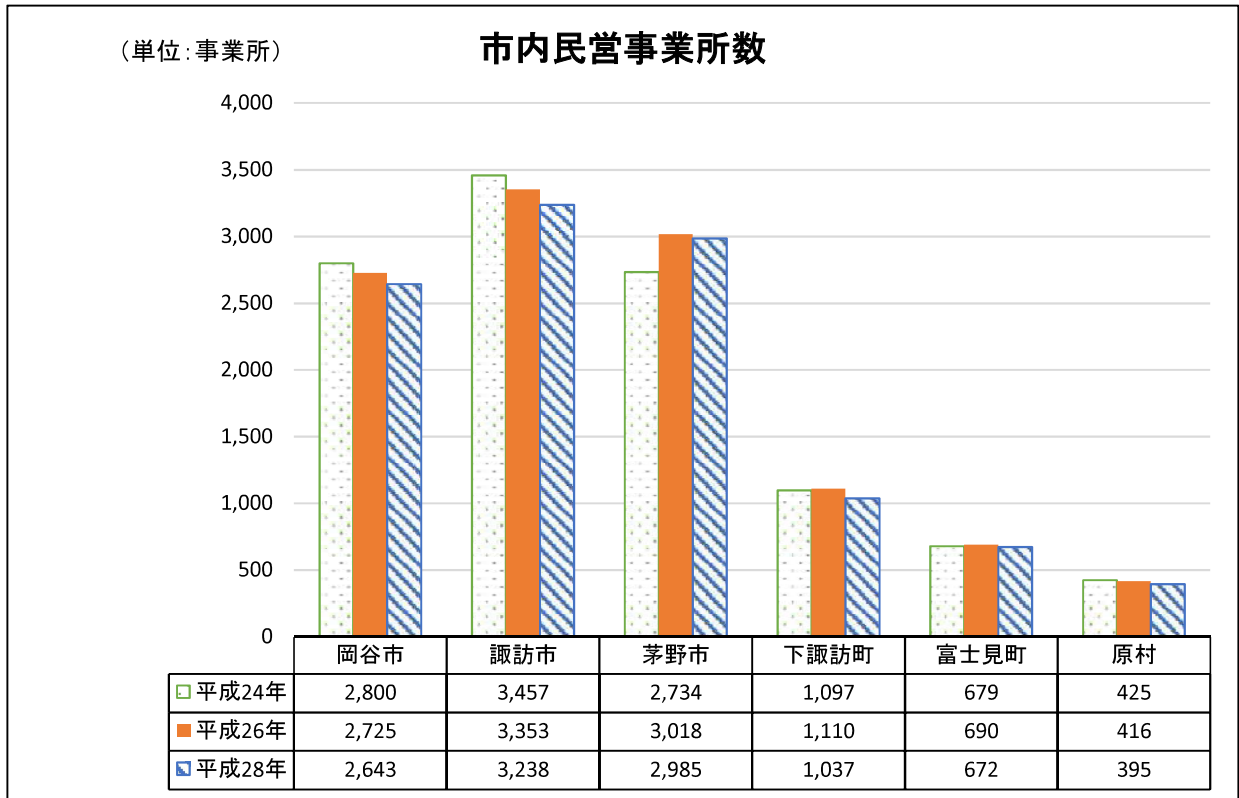
【参考:諏訪地域の数値】



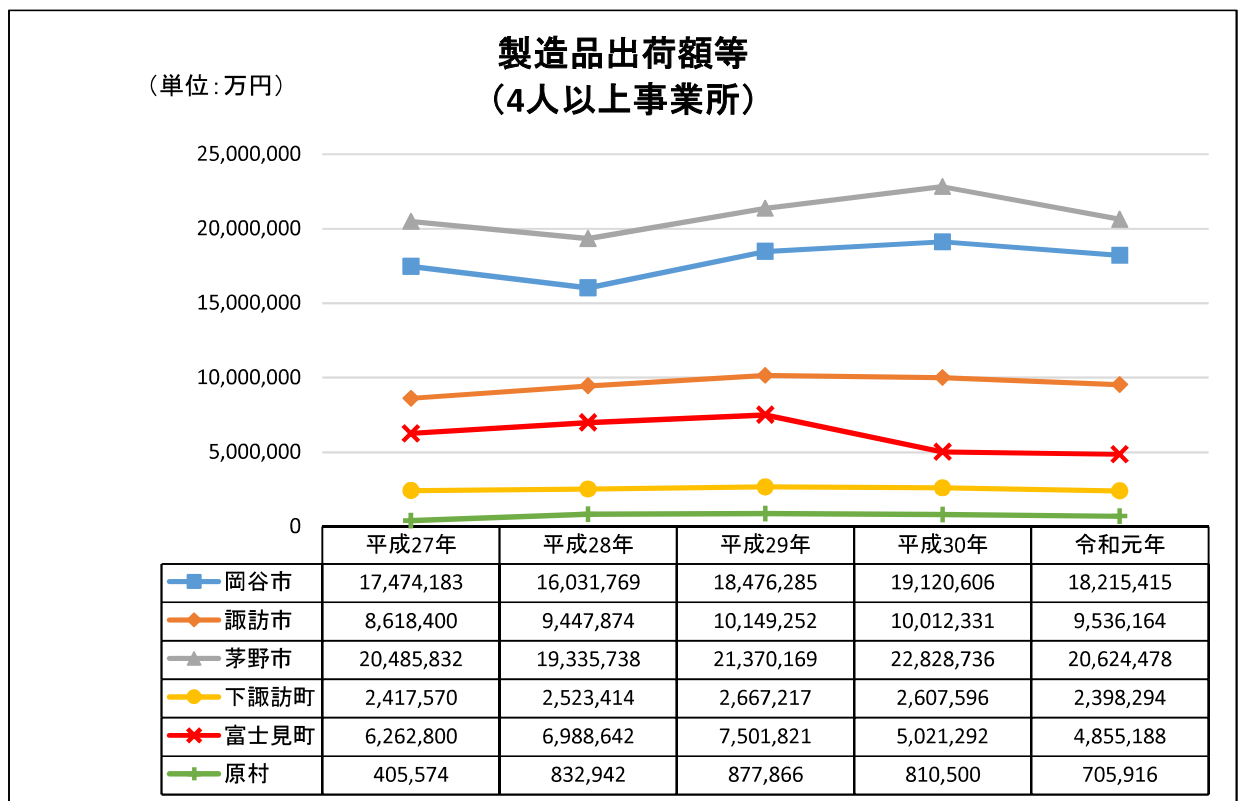
(資料)経済産業省「経済センサス」

一之柱 魅力的で安定した「しごと」ができる「まち」の創生

【参考：諏訪地域の数値】



(資料)経済産業省「経済センサス」



(資料)経済産業省「工業統計調査」

1 魅力的なしごと ~Attractive Job~ をつくる

- 達成度の目安
 ○順調: 目標値以上
 ○概ね順調: 80%以上100%未満
 ○努力が必要: 80%未満
 ○実績値なし: 当該年度の実績値なし

(1) 工業の振興による競争力強化

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年 (目標値)	
製造業の従業員数 (従業員4人以上の事業所) 【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	目標値		4,428人	4,428人	4,428人	4,428人	4,428人	4,428人	4,428人	
	実績値	4,428人	-	4,609人	4,888人	4,999人	5,190人	5,085人		
	達成度		実績値なし	順調	順調	順調	順調	順調		
	感染症の影響	各種補助金や雇用調整助成金等により、厳しい状況ではあるが雇用を維持していると考えられる。製造業については、回復傾向となっているが予断を許さない状況である。								
	達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の影響も懸念されるところだが、大幅な減少なく雇用を維持できている。								
今後の取組	今後成長が見込まれる成長産業分野などへ企業が進出する際の支援を行い、新規受注の確保により従業員数の維持を図る。今後も引き続き雇用情勢にかかる新型コロナウイルス感染症の影響を注視していく必要がある。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
工場等立地促進助成金の申請件数 【備考】 H30年度までの実績から設定	目標値		7件/年度	7件/年度	7件/年度	7件/年度	7件/年度	10件/年度	10件/年度	
	実績値	7件	10件	16件	13件	15件	10件	15件		
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	順調		
	感染症の影響									
	達成状況の分析	年度により利用件数が増減するが、今年度は15件の利用があった。また、アンケートの結果では工場を増設したことにより生産性も向上し、新たな雇用に結びついている。								
今後の取組	制度利用をした企業への調査、国や他自治体の制度内容を見ながら、継続的に実施していく。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
新規創業した工業事業所数 【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	目標値		2事業所/年度	2事業所/年度	2事業所/年度	2事業所/年度	2事業所/年度	2事業所/年度	2事業所/年度	
	実績値	2事業所	2事業所	1事業所	1事業所	2事業所	1事業所	2事業所		
	達成度		順調	努力が必要	努力が必要	順調	努力が必要	順調		
	感染症の影響									
	達成状況の分析	令和2年度の新規創業工業者は1社である。工業を行うにはそれなりの規模が必要であるため、まずは希望に見合う物件があるかが大きな課題となるが、市内で希望物件を見つけるのに苦労すると聞いている。事業用地の確保も今後の課題である。								
今後の取組	新規創業を促すためにも支援は必要であり、国や他自治体の制度内容を見ながら、継続的に実施していく。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
工場等立地促進助成金 商工課	工場、事務所等、市内への企業の立地を促進、立地企業の事業経営の支援を実施。 【実績】 工場等の新設・増設・空き工場取得: 15件	土地情報等の収集及び県や不動産業者と連携しネットワークの構築を行う必要がある。

令和3年度 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略【一之柱】効果検証シート②

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
工場・事務所等の立地促進 商工課	工場、事務所等、市内への企業の立地を促進、立地企業の事業経営の支援を実施。 【実績】 工場等の賃貸借助成:7件	創業の候補地として選択してもらえるように、情報の提供・情報発信等の充実を図る。
事業継続計画(BCP)の策定促進 商工課	工業振興審議会から一定のニーズを満たしたため、事業終了と答申がされ、平成29年度までの支援としたが、引き続き希望の企業には、諏訪圏ものづくり推進機構のサポートを紹介している。	令和2年度から外部人材活用補助金の拡充により、 <u>コンサルティング等を活用してBCP計画を作成した事業者を支援しており、積極的に周知を行い策定を促進させる。</u>
外国語翻訳支援 商工課	経済のグローバル化に伴い、企業が外国語による契約書や製品カタログ等の作成を行う際の翻訳を支援する。 【実績】 制度利用企業:8社、12件	ビジネスの面では、英語・中国語が中心であることから、現状のサポート体制を維持し、必要としている企業の利用を促進していく。
生産設備の導入支援 商工課	29年度制定した新工業振興ビジョンの方針により、30年度から支援対象を先端分野の導入に切り替え支援する。 【実績】 制度利用企業:2社	制度の周知とサポート、先進事例等の情報提供の実施。国との制度の整合性を図る。
工業アドバイザーによる経営・技術アドバイス 商工課	工業専門のアドバイザーにより、企業が直面する様々な課題の解決や技術・生産管理についてのアドバイスを行う。 【実績】 訪問企業数:延べ1,139回	アドバイスする企業(訪問企業数)が年々増加傾向にあるとともに、相談内容も高度化しており、アドバイザーの負担が大きくなってきている。
経営者やものづくり人材の育成促進 商工課	技術水準の向上及び能力開発を目的に受講させる各種研修の経費負担を軽減し、人材育成に対する意識を高め、工業従事者の能力向上を図る。 【実績】 人材育成補助金交付人数 51人 技術研修補助金交付人数 41人 eラーニング補助金交付人数 10人	・人材育成のため、成果が現れるのに時間がかかることから長期的な視点が必要である。 ・令和2年度から、eラーニングを追加し、コロナ禍でも研修が円滑に進められるよう支援をしている。

1 魅力的なしごと ~Attractive Job~ をつくる

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(2) 観光の振興による競争力強化

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)	
観光消費額 【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	目標値		1,928,716万円	1,946,537万円	1,964,358万円	1,982,179万円	2,000,000万円	2,030,000万円	2,030,000万円	
	実績値	1,910,895万円	1,924,941万円	2,014,817万円	1,926,772万円	1,954,582万円	1,968,407万円	1,222,339万円		
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要		
	感染症の影響	感染状況に応じて人の移動の自粛が求められる中、宿泊産業は市内で最も経済的打撃を受けている産業であり、集客イベントによる誘客と観光消費額拡大が難しい状況となっている。								
	達成状況の分析	平成30年から増加傾向であり昨年は目標を達成できたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実績値は大幅に下回った。								
今後の取組	諏訪観光協会や諏訪地方観光連盟が取り組む誘客事業と連携しながら、新たな観光素材の発掘・磨き上げを行う等、通年での誘客促進及び滞在時間延長の取り組みにより、観光消費額の拡大を図る。									
KPI	項目	平成26年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)	
外国人宿泊者数 【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	目標値		27,430人	30,572人	33,715人	36,857人	40,000人	41,000人	41,000人	
	実績値	24,287人	37,615人	30,312人	25,437人	30,265人	29,098人	3,440人		
	達成度		順調	概ね順調	努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	感染症の影響	世界的な新型コロナウイルス感染症の影響により、国際線の運休・入国制限等が生じていることから、外国人観光客の誘客そのものが実質的に不可能な状況に陥っている。								
	達成状況の分析	前年比で△88.1%の減少であり、令和2年7月以降はビジネス目的の入国等が限定的に再開されたものの、観光目的の入国が認められていない状況となっている。								
今後の取組	新型コロナ流行収束後の海外旅行需要では、アジア・欧米豪の12地域の中で「日本」を希望する需要が比較的高いことから、コロナ収束後の需要国(特にアジアや東南アジア等)の状況を注視し、引き続き県内や近隣自治体と連携した招聘事業の誘致を図っていく。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
諏訪湖祭湖上火花大会の実施 観光課	新型コロナウイルス感染症の影響により、第72回諏訪湖祭湖上火花大会は三密対策が困難なことから、史上初めて事前に中止となった。	諏訪湖花火の意義と伝統を継承し、災禍からの早期復興を願う花火と、コロナ禍に対応した新たなスタイルの花火として、感染症対策を十分に行いながら「集客の分散化」を図った形で実施する必要がある。
地域特色を生かした観光PRの実施 観光課	新型コロナウイルス感染症の影響により、首都圏のみならず、管内の各種イベントのほとんどが中止となり、「諏訪の国」ブランドを活用したプロモーション展開も実施不可となった。	コロナ禍に対応した形で「諏訪の国」ブランドを再構築するため、新たに令和4年諏訪大社式年造堂御柱大祭と「諏訪の国」ブランドの相乗効果によるプロモーションを展開することで、観光PRを実施していく。
外国語パンフレットの作成 観光課	新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンド誘客需要が皆無となってしまったため、観光パンフレットの印刷は行わず、諏訪地方観光連盟インバウンド戦略部会を通して、ウェブサイトやSNSでの情報発信に特化したプロモーションを展開した。	コロナ収束後の需要国(特にアジアや東南アジア等)の状況を注視し、引き続き県内や近隣自治体と連携した招聘事業の誘致を図っていく必要がある。

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
<p>訪日教育旅行の受入</p> <p>観光課</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、訪日教育旅行需要が皆無となってしまったため、諏訪地方観光連盟インバウンド戦略部会を通して、ウェブサイトやSNSでの情報発信に特化したプロモーションを展開した。</p>	<p>コロナ収束後の需要国(特にアジアや東南アジア等)の状況を注視し、引き続き県内や近隣自治体と連携した招聘事業の誘致を図っていく。</p>
<p>首都圏で効果的な観光プロモーションの実施</p> <p>観光課</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、首都圏での観光キャンペーンや各種イベントが中止となったことから、京王新宿にある京王インフォメーションプラザを活用し、現地スタッフによる観光案内を実施した。 【実績】パンフレット配布部数2,095部</p>	<p>京王新宿の京王インフォメーションプラザやウェブサイト・SNSを活用し、豊富な観光資源の中から状況に応じたテーマで訴求することにより、リピーター確保につなげていく必要がある。</p>
<p>霧ヶ峰への誘客促進</p> <p>観光課</p>	<p>リフト事業は旅館組合や観光協会等との連携による商品等で誘客に努めた。 【実績】 冬山リフト 旅館組合バック 119人 夏山リフト 霧ヶ峰で朝食を 73人 キャンプ場 4,335人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場はブームもあり来場者が増えている。 ・リフト事業はレジャーの多様化やスキー市場規模の縮小、温暖化等により苦戦しており、今後も厳しい状況と思われる。 ・今後の活性化等の検討を調査業務委託により進める。
<p>高島城への誘客促進</p> <p>観光課</p>	<p>企画展を実施。 【実績】 入場者数 30,115人</p>	<p>観光客や市民に愛される施設となるよう、展示物の見直しや企画展等を実施する。</p>
<p>間欠泉センターの施設の充実</p> <p>観光課</p>	<p>【実績】 来場者数 49,248人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・建物、設備ともに老朽化が進んでいる。 ・サイクリングロード整備や諏訪湖かわまちづくり計画などによる今後の利活用の検討が必要。

1 魅力的なしごと ～Attractive Job～ をつくる

- 達成度の目安
 ○順調: 目標値以上
 ○概ね順調: 80%以上100%未満
 ○努力が必要: 80%未満
 ○実績値なし: 当該年度の実績値なし

(3) 商業の振興による競争力強化

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成24年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)										
商店数 (商業統計調査)	目標値		600店	600店	600店	600店	600店	600店	600店										
	実績値	620店	594店	-	604店	-	-	-											
	達成度		概ね順調	実績値なし	順調	実績値なし	実績値なし	実績値なし											
	感染症の影響	【備考】 計画当初の目標値を維持																	
	達成状況の分析										補助制度の継続等により、既存店舗の現状を維持し、創業者を支援することで商店数の減少を抑制していると考えられる。								
	今後の取組										各商業者の経営力向上への資金面での支援の継続、創業者への支援の継続。								
KPI	項目	平成24年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)										
年間販売額 (商業統計調査)	目標値		17,000,000万円	17,000,000万円	17,000,000万円	17,000,000万円	17,000,000万円	17,000,000万円	17,000,000万円										
	実績値	16,891,787万円	16,525,400万円	-	17,790,350万円	-	-	-											
	達成度		概ね順調	実績値なし	順調	実績値なし	実績値なし	実績値なし											
	感染症の影響	【備考】 計画当初を上回る目標を維持																	
	達成状況の分析										補助制度等を利用し、集客することで、人の流れが生まれ消費喚起につながっていると考えられる。								
	今後の取組										補助制度の継続等により、各商業者の販売意識を高めるための支援をする。								

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
推薦みやげ品の宣伝周知 商工課	市役所ロビー展、パンフレットの改良等を行い、推せんみやげ品の知名度向上を図った。また、市内店舗へ登録勧誘を行った。 【実績】推せんみやげ品登録数 59品 開発奨励金交付件数 5件 イベントの開催がなく、各種イベントでのPR物販が出来なかった。	※感染症に起因する課題等については下線部 ・推せんみやげ品の更なる宣伝周知の継続、登録制度・開発奨励金制度の周知に努める。 ・コロナ禍においては県外イベント等での宣伝が出来ないことが課題。
商店街イベントへの支援 商工課	商店街等が顧客獲得のために実施するセールなどのイベント事業に対して補助し、市内商店街の振興を図った。	・商店街を維持していくため、イベントは集客という目に見える効果はあるが、商店街の独自財源での開催は難しく、継続した市の補助が必要である。 ・コロナ対策を取りながら新規要素を取り入れたイベント開催となるよう助言をする必要がある。
店舗リフォーム助成制度 商工課	既存店舗のリフォームへ補助することで、リフォーム需要を喚起し、市内小規模建設事業者の業務受注を促進させ、まちの賑わいづくりにつなげ市内経済の活性化を図った。 【実績】 店舗補助件数 2件、補助金額 1,000千円	店舗リフォーム補助金は、市内経済の活性化を目指し、本事業の更なる宣伝周知の継続に努める。

令和3年度 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略【一之柱】効果検証シート②

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
<p>中小企業者への融資</p> <p>商工課</p>	<p><u>「緊急経営対策資金」「緊急経営借換資金」を新設し、中小企業者に必要な資金のあつせんを行うことで事業資金借入を容易にし、また利用者に対し利子補給、保証料補給をすることで借入後の負担軽減を行い、資金面での支援をした。</u></p> <p>【実績】</p> <p>融資利用件数 297件 利子補給金額 29,725,369円 保証料補給金額 103,089,353円</p>	<p>企業にとって、どのような制度を必要としているかを見極めより利用しやすい制度となるよう内容の見直しを行っていく。</p>
<p>創業支援事業計画による創業支援事業</p> <p>商工課</p>	<p>産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画により、諏訪商工会議所内に、ワンストップ個別相談窓口を設置、創業に必要な知識の習得のための創業塾の開催、創業機運醸成事業による創業啓発イベントの開催、コワーキングスペース「Tsunagu」の活用等による創業支援事業を実施した。</p>	<p>創業者に出来るだけ早い段階での関わりが有効な支援と思われるため、事業の更なる周知に努め、関係機関との連携を密にし事業を継続していく。</p>

1 魅力的なしごと ~Attractive Job~ をつくる

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(4) 農業の振興による競争力強化

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
認定農業者数 【備考】 毎年1人以上の新規認定	目標値		30人	33人	34人	39人	39人	40人	42人	
	実績値	29人	33人	33人	37人	39人	39人	39人		
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	概ね順調		
	感染症の影響									
	達成状況の分析	県・市・JAの普及活動が奏功して新たな認定農業者が増えた一方、経営規模縮小等の理由によって一部の認定農業者が基準を満たさなくなったことから、認定農業者数は1名減となり、目標達成率は97.5%となった。								
今後の取組	既に基準を達成している農業者へ認定の推進を行うと共に、意欲の高い新規の農業者に対しては、JAや県農業農村支援センターとの連携により、将来の農業の担い手となってもらえるように育成・支援を行う。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
耕作放棄地解消面積 【備考】 現状の取組状況をもとに目標を設定	目標値		0.2ha/年度	0.2ha/年度	0.2ha/年度	0.2ha/年度	0.2ha/年度	0.2ha/年度	0.2ha/年度	
	実績値	2.5ha	0.1ha	0.2ha	1.27ha	0.87ha	5.90ha	3.1ha		
	達成度		努力が必要	概ね順調	順調	順調	順調	順調		
	感染症の影響									
	達成状況の分析	種々の活動の結果、目標値に対して大幅な目標達成となった(1,550%)。平坦部を中心に耕作放棄地は減少してきており、徐々に事業効果は出てきている。								
今後の取組	農地パトロールを実施して耕作放棄地の洗い出しを行った上で、耕作放棄地所有者に対して利用意向調査を実施し、耕作放棄地の有効活用や担い手等への斡旋を行う。また、人・農地プラン実質化の推進により、農地の貸し手と借り手を明確化することで地域農業の今後のあり方を検討する。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
人・農地プランによる新規就農者の支援 農林課	新たに農業経営を開始する農業者に対する経営資金の援助。 【実績】経営資金補助1名	※感染症の影響については下線部 ※感染症に起因する課題等については下線部 農業従事者の高齢化が急速に進展する中、新たな担い手を確保し、地域農業の振興を図るため、今後も継続して実施していく。
耕作放棄地の解消促進 農林課	農地パトロールを行い、耕作放棄地所有者に対して、利用意向調査を実施した。 【実績】耕作放棄地解消面積3.1ha	今後はさらに農業従事者の高齢化により担い手不足が進み、耕作放棄地が増加することが予想される。引続き農業委員・推進委員と協力し、農地パトロール等耕作放棄地解消に向けた取り組みを実施する。
多面的機能支払交付事業 農林課	農地・水路・農道等の地域資源の保全管理や長寿命化、農村環境保全等のために地域共同で行う活動に対して支援を行う。 【実績】支援団体4組織	本事業の協定面積を維持・拡大させることは、農地や水路、農道等の地域資源を適切に保全管理し、農業農村の有する多面的活動の維持・発揮につながるため、今後も推進していく。
諏訪野菜ブランディングプロジェクトとふるさと納税の農産物の返礼品への取組 農林課	上野大根の収量増加のため、新規就農者に委託し、試験的に早撒き及び早期収穫を行い、生育状況調査を実施した。またふるさと納税の返礼として出品している後山産まつたけやりんごは好評であった。	・上野大根については、農家の高齢化による担い手不足により生産量が減少している。今後も新規就農者や県、JAと連携し、生産量の維持、向上を目指す。 ・ふるさと納税返礼品の価格見直しを行い、農業者の意欲向上と、納税額の増加を図る。

令和3年度 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略【一之柱】効果検証シート②

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
農作物の鳥獣被害対策の取組 農林課	「諏訪市鳥獣被害対策協議会」を組織し、鳥獣駆除及び侵入防護柵設置の支援を行っている。 【捕獲実績】 ニホンジカ 518頭、イノシシ7頭、鳥類102羽	「諏訪市鳥獣被害対策実施隊」を中心に、尚一層の有害鳥獣駆除を進める。
農道・農業用水路の修繕 農林課	農産物の安定的な生産を目的として、土地改良区や地区等へ砕石やパイプ等の原材料支給、農業用水路の工事・改修を行った。 【実績】 原材料支給団体:10団体、用排水路修繕・改修工事箇所数:17箇所	農業用施設の老朽化が進行しており、改修が必要な箇所や費用が増加傾向にある。インフラ長寿命化計画の個別施設計画に沿った施設改修の順次実施、また、引き続き地区等へ原材料支給を行って受益者自らが修繕することで、農業用施設の延命化を図っていく。

1 魅力的なしごと ~Attractive Job~ をつくる

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(5)若い世代の地元就職の促進・定着化

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
インターンシップ受入人数 【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	目標値		10人/年度	12人/年度	14人/年度	16人/年度	18人/年度	20人/年度	20人/年度	
	実績値	-	10人	8人	6人	13人	21人	7人		
	達成度		順調	努力が必要	努力が必要	概ね順調	順調	努力が必要		
	感染症の影響	感染症の影響により、企業によってはインターンシップを規模縮小するなど受け入れが困難になっている。学生側もインターンシップの応募を控えるなど慎重な動きになっている。								
	達成状況の分析	感染症の影響もあり、参加実績7名と低調に推移した。ただし、就職後のミスマッチによる離職を防ぐためにも必要な事業であると考えているため、継続して実施していく。								
今後の取組	引き続き学生の受入を促進することで、地元就職を推進していく。新卒の学生を採用へつなげるため積極的に支援していく。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
大学卒業生等就職ガイダンス延べ参加者数 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		700人/年度	700人/年度	700人/年度	700人/年度	700人/年度	700人/年度	700人/年度	
	実績値	627人	452人	465人	444人	515人	316人	575人		
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要	概ね順調		
	感染症の影響	予定していた2回の就職ガイダンスが中止になったが、参加人数の実績はある程度確保できた。全国的にも感染症の影響によりガイダンスが少なくなっていることから、採用担当者とコンタクトできる場を求めていると考えられる。								
	達成状況の分析	感染症の影響はあるが、新規学卒者の採用意欲はそこまで低下していないとみられ、動向を注視していく必要がある。								
今後の取組	景気や市場の動向により参加者が大きく変動する事業であるため、継続して地道に取り組むことが必要である。オンラインを含めた多様な情報発信方法の検討をする。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
インターンシップの促進支援 商工課	インターンシップを実施した中小企業者に対し補助を行うことで、ものづくりを支える優秀な人材を継続的かつ安定的に雇用できるような支援をする。 【実績】インターンシップ受入人数:7人	※感染症に起因する課題等については下線部 ・インターンシップを通して、諏訪地域の企業の魅力を伝えていくとともに、企業と学校との産学連携の促進を図っていく。 ・コロナの影響を受ける中で、オンライン等活用して企業の魅力を発信していくことも重要となる。
職業観の早期醸成、早期離職の解消、地元就職の推進 商工課	キャリア教育事業の一環として、市内高校へ諏訪地域の企業が出向き事業概要や会社組織、学生時代に身に付けてほしい能力や社会に出て働くという厳しさ、やりがい等についての説明、質疑応答をした。 【実績】実施高校1校、参加企業数9社	・成果がすぐ目に見える事業ではないため、継続して地道に取り組む実施校も増やしていく。 ・保護者へ向けた情報発信や、大学進学後の学生に対するフォローアップについて実施する。
大学卒業予定者や転職移住者等への情報発信 商工課	大学等卒業予定者、転職移住者等への就職説明会の開催により、市内企業への就職希望者と求人企業のマッチングの機会とし、雇用の確保につなげた。また、大学訪問や企業が이드ブックの作成により、市内企業の情報発信の一手段として採用動画作成への支援を始めた。 【実績】就職説明会開催4回、大学訪問0校	・成果がすぐ目に見える事業ではないため、継続して地道に取り組むことが必要である。 ・多様な情報発信方法を検討する。 ・令和3年度はオンライン企業説明会を開催し、マッチングの機会を提供していく。

令和3年度 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略【一之柱】効果検証シート②

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
雇用奨励金の交付 商工課	障がい者、子育て女性を雇用した事業主に奨励金を交付し、幅広い雇用の創出につなげた 【実績】 障がい者6名、子育て女性9名	「子育て女性・障がい者」支援の充実を検討していく。特に子育て女性の把握が難しいため、事業者に対し積極的に情報提供を行う。
諏訪東京理科大学の 公立化 企画政策課	平成30年4月の公立化後、志願者が大きく増加。県外からの志願者が約84%となっている。	引続き連携強化を図るとともに、地域外からの入学者の諏訪地域への就職といった定着を実現する必要がある。

2 創造都市 ～Creative City～をつくる

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(1) プロフェッショナル人材の誘致・育成

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
産業連携プロジェクト 地域外参画事業者数	目標値		12者	14者	16者	18者	20者	70者	75者
	実績値	10者	17者	23者	51者	62者	75者	94者	
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	順調	
【備考】 平成30年実績62者を上 回る数値を目標に設定	感染症の 影響	感染症により、域外関係者との連携や参画に支障が出ないか懸念されたものの、オンラインの活用や感染対策への配慮を通じ、新たな展開に結びつくこととなった。							
	達成状況 の分析	産業連携事業補助金等を通じ、地域外事業者の参画は順調に広がっている。今後も、諏訪市の魅力や成功事例の外部発信を継続し、新たな連携を促していく。							
	今後の 取組	成功事例や連携実績を外部にPRしながら、新たな地域の人材や潜在的な資源の顕在化につながるよう、幅広い異分野の事業者や関係団体にも周知していく。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
SUWAデザインプロジェクト 産業連携推進室	受託事業者や首都圏クリエイターと直接打ち合わせの機会は減少したが、オンライン等で遠隔地と双方向でのやりとりが可能となった。公立諏訪東京理科大学の大学生が初めて参加し、市内事業者とチームを組んで動画作成及び新規アイデアの創出に取り組んだ。	<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口の創出や地元事業者の魅力発信に効果があり、今後も継続実施を見込んでいる。 ・引き続き、感染症の影響に配慮し、安全安心を確保するためオンラインの活用等を併用しながら効果的な事業を目指す。
産業連携事業補助金 産業連携推進室	過去の実績が新規参画者のニーズに合致した新しい申請に結びつくなど、継続して展開してきた効果も見られた。今後も、他業種間の人材が交流し新たな事業展開のきっかけ作りとなるよう支援していく。	域外からの移住者や、近隣市町村の先進事業者から新規案件の相談が寄せられるなど、潜在的な人材や既存地域資源の掘り起しは継続した取り組みが必要である。そのためにも、幅広い異分野の事業者や関係団体へも声掛けしながら連携支援を継続していく。
学生雇用応援事業 商工課	公立諏訪東京理科大学生が、就職候補先として諏訪市の企業を選択してもらえるよう積極的に企業PRを行う。製造業を主とした市内企業の工場見学、情報提供等を行い、将来の雇用を後押しする。 【実績】感染症の影響により中止	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が諏訪地域の製造業を知る良い機会となっており、就職後のミスマッチングを防ぐためにも有効的な事業と捉えている。 ・感染対策を徹底し、事業を実施していきたい。

2 創造都市 ～Creative City～をつくる

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(2) 地域の資源、創意工夫を活かした新産業・新事業の創出

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
空き店舗等活用補助金利用件数 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	
	実績値	-	3件	5件	3件	1件	2件	0件		
	達成度		順調	順調	順調	努力が必要	順調	努力が必要		
	感染症の影響	感染症の影響により、空き店舗等を利用して開業する者がいなかった。								
	達成状況の分析	感染症の影響があり、今年度の実績はなかったが、事業者にとって空き店舗等を活用することは新築に比べ初期投資を削減できるとともに、市内空き店舗等の有効活用による賑わい創出効果を生み出すことができるため、当補助事業の実施は有効である。								
今後の取組	空き店舗等は地域が衰退しているという印象をあたえてしまうため、既存事業を継続する。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
新技術・新製品研究開発による新製品市販化 【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	目標値		4社/年度	4社/年度	4社/年度	4社/年度	4社/年度	4社/年度	4社/年度	
	実績値	4社	1社	3社	2社	4社	4社	14社		
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	順調	順調	順調		
	感染症の影響	感染症の影響を乗り越えるため新技術・新製品の開発に前向きにチャレンジする企業を支援するため、予算額を拡充して支援を行った。								
	達成状況の分析	補助金には15社の申請があり、うち14社が採択された。コロナの中で積極的に新技術・新製品の開発に取り組む意欲的な企業に支援することができた。								
今後の取組	企業が研究開発体質を持つことが競争力を維持・向上させることに繋がるため、制度の周知を行い引き続き研究開発に取り組む企業を支援していく。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
新規みやげ品開発数 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		-	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	
	実績値	-	-	0件	2件	2件	1件	5件		
	達成度		実績値なし	努力が必要	順調	順調	努力が必要	順調		
	感染症の影響	感染症により客足が遠のき売り上げが減少するなか、積極的な新商品の開発が行われた。								
	達成状況の分析	新たにみやげ品を完成させることは簡単ではなく件数は多くないが、奨励金があることで開発意識及び事業者のみやげ品に対する認知度を向上させた。								
今後の取組	新たなみやげ品を開発することで、事業者の販売意識や経営力を高めることにつながるため、補助制度の周知に努めながら支援していく。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
空き店舗等活用補助事業 商工課	※感染症の影響については下線部 市内の空き店舗等を有効活用し街の賑わいづくりにつなげるため、新たに空き店舗等を改装して事業を開始する事業者に対して改修費用の一部を補助する。 感染症の影響により、令和2年度は該当者なし。	※感染症に起因する課題等については下線部 持続可能な地域経済実現に向け、空き店舗等活用補助は商店街の賑わいづくりに有効な手段であり、若手創業者への支援にもなるが、その後も継続的な支援が必要である。

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
新技術・新製品開発支援 商工課	新技術・新製品の開発に意欲的な企業を支援し、新産業・新事業の創出を図る。 【実績】 新技術・新製品開発補助の申請・採択企業数:14社(感染症の影響を考慮し、予算拡充) 各種認証取得支援事業補助の申請・採択企業数:1社	各種認証取得支援事業は航空・宇宙産業や医療・ヘルスケア産業を対象とするため、認証自体のハードルが高いが、認証取得を進めている企業に対し引き続き支援していく。
新規みやげ品開発への支援 商工課	市役所ロビー展、パンフレットの改良等を行い、推せんみやげ品の知名度向上を図った。また、市内店舗へ登録勧誘を行った。 【実績】 物販回数0回、推せんみやげ品登録数59品、開発奨励金交付件数5件 <u>感染症の影響により、イベント等が中止となり各種イベントでのPR物販は出来なかった。</u>	推せんみやげ品の更なる宣伝周知の継続、登録制度・開発奨励金制度の周知に努める。
諏訪圏6市町村によるSUWAブランド創造事業 商工課	以下2事業を介して、SUWAブランドの販路開拓・若年層を対象としたものづくり機会の創出・提案型技術者の育成を実施している。 ①SUWAブランドの普及・高付加価値化事業 ②関係人口の創出とものづくり人材の育成・確保事業	・主な事業目的が人材育成のため、成果が現れるのが数年後となる。長期的な視点が必要だが、成果の見える化が必要である。 <u>・感染症の影響によりワークショップの開催回数が減るなど予定していた事業を進めることができなかった。</u>

2 創造都市 ～Creative City～をつくる

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(3)新規開業者・UIJターン起業者へのサポート体制構築

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
諏訪市の支援を受けたUIJターンによる起業数	目標値		-	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度
	実績値	-	-	1件	3件	2件	4件	1件	
	達成度		実績値なし	努力が必要	順調	順調	順調	努力が必要	
【備考】 計画当初の目標値を維持	感染症の影響	他県等からの移住が厳しい状況下であった。							
	達成状況の分析	諏訪市の利率や利子補給は開業者の資金計画のなかで魅力的な資金となっている。							
	今後の取組	利率や利子補給については魅力的な内容になっているため、更なる広報周知に努め、利用率のアップを図る。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
開業支援資金 商工課	創業に必要な資金のあっせんを行うことで事業資金借り入れを容易にし、また利用者に対し利子補給、保証料補給することで借り入れ後の負担軽減を行い、資金面での支援をした。 【実績】開業支援資金利用者 市18件、県19件	金融業界全体の金利が大幅に下がっている中で、市の制度資金の利用率アップは難しいが、より利用しやすい制度となるよう、内容の見直しを行っていく。UIJターン者の周知に努める。
店舗等の立地促進 商工課	店舗等の立地促進を図り、雇用の創出と地域活性化を目的とし、店舗等の新設等に伴い発生する固定資産税額を補助した。 【実績】1件	土地柄上、積極的な店舗誘致ができずにいるが、この制度が諏訪市で新規に開業するきっかけの一つになるよう周知する。
創業支援事業計画による創業支援事業【再掲】 商工課	産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画により、諏訪商工会議所内に、ワンストップ個別相談窓口を設置、創業に必要な知識の習得のための創業塾の開催、創業機運醸成事業による創業啓発イベントの開催、コワーキングスペース「Tsunagu」の活用等による創業支援事業を実施した。	創業者に出来るだけ早い段階での関わりが有効な支援と思われるため、事業の更なる周知に努め、関係機関との連携を密にし事業を継続していく。

3 新たな価値 ~New Value~ をつくる

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(1) 域外マネーを「稼ぐ力」の向上

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
諏訪圏工業メッセ共同 出展における商談成 立・継続交渉件数 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		12件/年度	12件/年度	12件/年度	12件/年度	12件/年度	12件/年度	12件/年度	
	実績値	11件	10件	6件	5件	5件	4件	-		
	達成度		概ね順調	努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要	実績値なし		
	感染症の 影響	令和2年度は、感染症の影響により諏訪圏工業メッセが中止となった。								
	達成状況 の分析	諏訪圏工業メッセが中止されたことの代替として、オンライン商談会を開催したが受注獲得に いたらず低調に終わっている。リアルで開催される工業メッセと比較すると商談が少なく、運営 方法等に課題が残る。								
今後の 取組	規模が小さく単独出展が難しい企業のための施策であるので、より技術をPR出来る展示方法 を検討し、継続して支援していく。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
県外開催展示会への 出展企業数 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		25社/年度	25社/年度	25社/年度	25社/年度	25社/年度	25社/年度	25社/年度	
	実績値	22社	17社	16社	24社	22社	18社	14社		
	達成度		努力が必要	努力が必要	概ね順調	概ね順調	努力が必要	努力が必要		
	感染症の 影響	感染症の影響により、多くの展示会が中止・延期となり各企業出展の機会が減少した。								
	達成状況 の分析	令和2年度は補助金の上限額・補助率について拡充をし、少ない出展機会の中で積極的に 販路開拓に取り組む企業に対して支援を実施した。感染症の影響により、昨年と比較すると 実績は減少したが出展した企業に対しては手厚くサポートすることができた。								
今後の 取組	展示会に出展した企業の評価や、他の自治体の制度内容、展示会のトレンド等を反映して制 度を見直し、継続していく。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
諏訪圏工業メッセ共同 出展事業 商工課	※感染症の影響については下線部 令和2年度は、感染症の影響により諏訪圏工 業メッセが中止となった。	※感染症に起因する課題等については下線部 令和3年度以降は、感染症の影響を注視しつつ、現地開 催とオンラインを併用しながらの運営を検討していく。
機械要素技術展共同 出展事業 商工課	茅野市との共同により、市内企業を募り国内 最大級の技術展示会へ共同出展する。 【実績】 市内出展企業数: 3社 (感染症の影響により茅野市辞退)	・予算内で装飾方法を見直すなど、より効果的な展示手 法を検討し、企業の負担を軽減していく。 ・感染症の影響を考慮し、企業と調整を図りながら事業を 進めていく。
展示会出展支援事業 商工課	自社の技術・製品をPRし販路開拓を促進し、 工業の振興を図るため、展示会に係る経費の 一部を補助。感染症の影響を考慮し、補助金 の上限額・補助率を拡充した。 【実績】 補助した企業数14社、補助した金額 約550万円	・企業の経営基盤強化と活性化を図り、地域の競争力強 化のために、新たな販路開拓や受注拡大を促進する。 ・感染症の影響を考慮し、補助金の上限額・補助率を拡充 し継続して支援を行う。

3 新たな価値 ~New Value~ をつくる

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(2) 様々な連携の促進による新たな可能性の発掘・育成

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
産業連携プロジェクト 参画事業者数 【備考】 平成30年実績280者を上 回る数値を目標に設定	目標値		133者	150者	166者	183者	200者	300者	320者	
	実績値	116者	165者	195者	246者	280者	311者	360者		
	達成度		概ね順調	順調	順調	順調	順調	順調		
	感染症の 影響	産業連携プロジェクトは、感染症の影響を特に受けることはなく、逆に感染症に対応するための新たな事業の進展も見られた。								
	達成状況 の分析	実績を上げた過去のプロジェクトの周知が域内に進み、新たな参画者のプロジェクトや域外協力者への広がりに繋がる好循環となっている。								
今後の 取組	参画者や新たな繋がりを求める関係者が交流できる場を継続して設置し、成功事例や連携実績の外部PRを進め新たな地域人材や資源へも声掛けをしていく。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
大学と市内企業との マッチング件数 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		10件/年度	10件/年度	10件/年度	10件/年度	10件/年度	10件/年度	10件/年度	
	実績値	8件	12件	6件	6件	3件	5件	8件		
	達成度		順調	努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要	概ね順調		
	感染症の 影響									
	達成状況 の分析	現在は公立諏訪東京理科大学と信州大学と連携してマッチングを実施しているが、令和2年度は公立諏訪東京理科大学とのマッチング3件、信州大学とのマッチング5件であった。								
今後の 取組	公立諏訪東京理科大学と信州大学との連携を更に進めると共に、他大学との連携によるマッチングも視野に入れていく。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
産業連携事業補助金 【再掲】 産業連携推進室	過去の実績が新規参画者のニーズに合致した新しい申請に結びつくなど、継続して展開してきた効果も見られた。今後も、他業種間の人材が交流し新たな事業展開のきっかけ作りとなるよう支援していく。	域外からの移住者や、近隣市町村の先進事業者から新規案件の相談が寄せられるなど、潜在的な人材や既存地域資源の掘り起しは継続した取り組みが必要である。そのためにも、幅広い異分野の事業者や関係団体へも声掛けしながら連携支援を継続していく。
蔵前・如水・理窓スマ イリンク事業 商工課	理窓会による講演会を予定していたが、感染症の影響により延期となった。	・企業のニーズや市場トレンドを反映した一般向けセミナーとともに、未来の人材への種まきとして、子供向けの実験教室などを開催していく。 ・令和3年度は、感染対策を実施した上で、講演会開催に向けて準備を進めていく。
公立諏訪東京理科大学と市内企業とのマッ チング事業 商工課	市内企業等のニーズと、公立諏訪東京理科大学のシーズとのマッチングを通じ共同研究等を行い、産学官連携・農工医連携を推進。 【実績】マッチング件数: 3件、3事業所	・わかりやすいシーズ集を大学に作成していただき、企業に広く周知する。 ・公立諏訪東京理科大学以外の大学のシーズとのマッチングも図る。

3 新たな価値 ~New Value~ をつくる

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(3)「SUWAブランド」の創出による新たな可能性の発信

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
「SUWAプレミアム」取扱商品数	目標値		118点	126点	134点	142点	150点	158点	166点	
	実績値	110点	122点	131点	137点	145点	162点	93点		
	達成度		概ね順調	順調	順調	順調	順調	努力が必要		
	感染症の影響	公式HPや様々な媒体での周知が進んだこともあり、特に感染症の影響を大きく受けることもなく取り扱い商品数は順調に推移している。								
	達成状況の分析	販売総額やプレスでの報道は順調に増加している。令和2年度時点で実績値である取扱商品数が大幅に減少しているが、これは以前より課題だった認定基準等の見直しに起因しているため、令和2年度は新たに4点の商品を認定している。								
【備考】 当初から8点/年増としている基準を維持	今後の取組	商品自体に価値を見出す「モノ消費」から、得られる体験に価値を見出す「コト消費」へのニーズが高まる中、ブランドストーリーにウェイトを置いたブランディングを行い、新たな人の繋がりに結びつける。								

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
SUWAプレミアム販路創生事業 産業連携推進室	旗艦店であるSUWAガラスの里が長期休業を余儀なくされたため、対面販売は大幅な制約を受けた。そこで、SNSやHPを活用したネットによるPRを進め、オンラインでの販売額の増加に繋がった。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症に起因する観光客や対面販売の機会減少が引き続き課題として見込まれる。 ・そのような中で、新たな参画希望者への対応やプロジェクトをマネジメントできる体制作りが求められる。
産業連携事業補助金【再掲】 産業連携推進室	過去の実績が新規参画者のニーズに合致した新しい申請に結びつくなど、継続して展開してきた効果も見られた。今後も、他業種間の人材が交流し新たな事業展開のきっかけ作りとなるよう支援していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・域外からの移住者や、近隣市町村の先進事業者から新規案件の相談が寄せられるなど、潜在的な人材や地域資源の掘り起しは継続した課題である。 ・幅広い異分野の事業者や関係団体へも声掛けしながら連携支援を継続していく。

二之柱 「行ってみたい」、「戻ってきたい」、「住んでみたい」と思える「まち」の創生

基本目標

諏訪市の観光資源の活用により交流人口の増加を図るとともに、誰もが認める魅力ある地域づくりにより人口流出を抑制することで、人口の社会増への転換を目指し、社会減を縮小します。

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

【数値目標の進捗状況】

数値目標	項目	平成26年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
社会増減数 (長野県毎月人口異動調査)	目標値		△188(累計)	△377(累計)	△565(累計)	△754(累計)	△942(累計)	△1,130(累計)	△1,318(累計)
	実績値	△67	△174(累計)	△380(累計)	△434(累計)	△542(累計)	△626(累計)	△572(累計)	
	【備考】 人口ビジョンをもとに社会減の抑制を目標設定	達成度		順調	概ね順調	順調	順調	順調	順調
数値目標	項目	平成26年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
生産年齢人口 (国勢調査等)	目標値		28,752人	28,389人	28,026人	27,663人	27,300人	26,937人	26,574人
	【備考】 人口ビジョンをもとに生産年齢人口の減少抑制を目標に設定	実績値	29,115人	28,648人	28,360人	28,015人	27,839人	27,530人	27,385人
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	順調	順調	順調	
数値目標	項目	平成26年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
観光客入込数	目標値		6,214,815人	6,261,111人	6,307,408人	6,353,704人	6,400,000人	6,400,000人	6,400,000人
	【備考】 諏訪地方観光連盟「観光戦略プラン」をもとに目標を設定	実績値	6,168,519人	6,213,793人	6,572,737人	6,191,640人	6,300,615人	6,220,152人	4,130,996人
	達成度		概ね順調	順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要	

【総合分析】

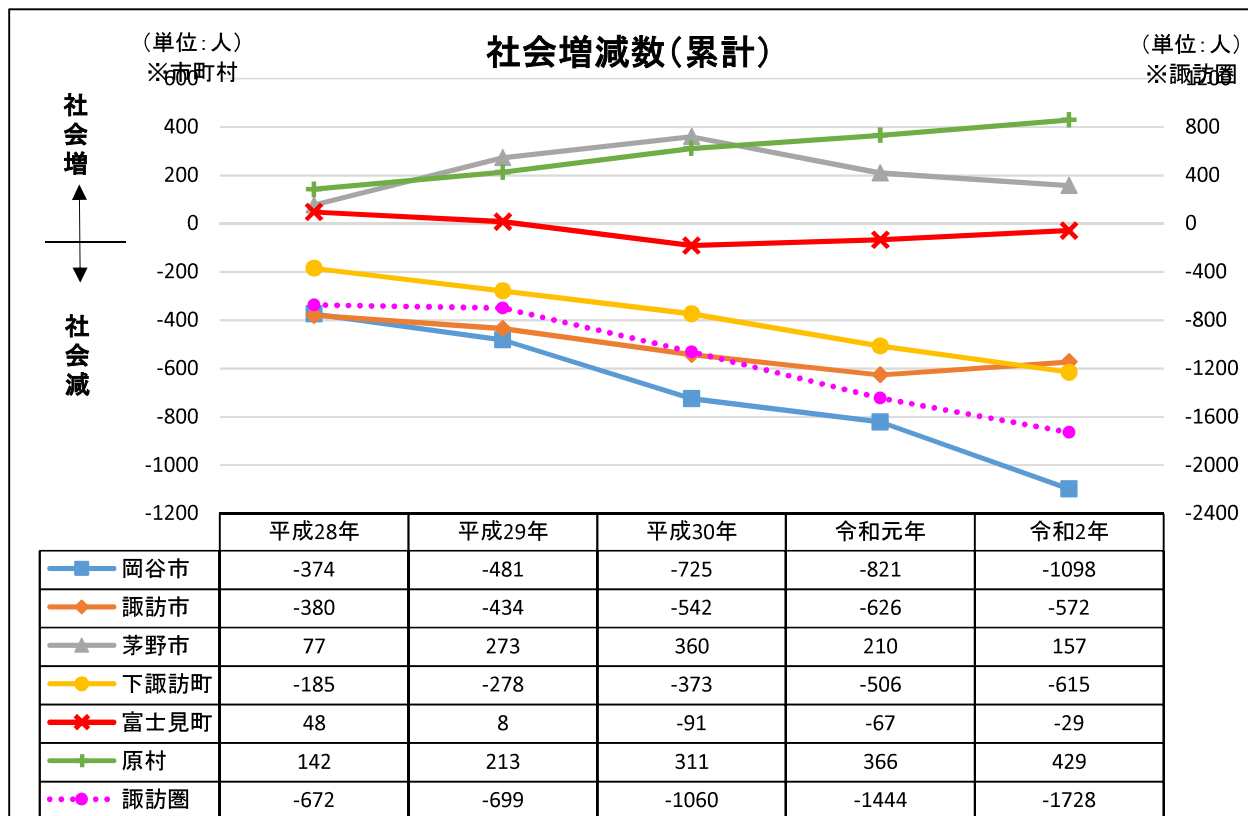
数値目標に対する新型コロナウイルス感染症の影響
<p>観光客入込数については、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に落ち込んでいる。</p> <p>○豊富な観光資源を活かした観光戦略 移動の自粛が求められる中、宿泊産業は市内で最も経済的打撃を受けている産業であり、集客イベントによる誘客が難しい状況となっている。</p> <p>○官民が連携したシティプロモーションによる魅力発信 ふるさと寄附の返礼品として、体験型返礼品を追加したが実際に諏訪市を訪れて体験いただくことができなかった。</p> <p>○「ふるさと」としての愛着や誇り、地域貢献への意識醸成 感染症拡大防止のための活動制限により、対面的なボランティア活動の実施が出来ない状況にあった。また、生涯学習リーダーバンクについても新たな指導者制度への移行が行えなくなってしまった。</p> <p>○移住相談、移住サポート体制の充実 対面でのセミナーが軒並み中止になるとともに、諏訪圏移住相談センターもセミナーや朝市などでのPRを自粛したこともあり、相談件数が大幅に減少。オンラインによるセミナーが開催されたが、全体では相談者は減少した。</p>

二之柱 「行ってみたい」、「戻ってきたい」、「住んでみたい」と思える「まち」の創生

【総合分析】

基本目標の達成に寄与した取組成果
<p>○官民が連携したシティプロモーションによる魅力発信 ふるさと寄附の返礼品に体験型企画やSUWAプレミアム商品を積極的に取り組んだことにより、寄附件数・金額で前年を上回った。</p> <p>○UIJターンの支援 移住促進人材バンク登録者は、諏訪圏移住相談センターと連携した移住者に関する情報共有の実現により、目標を大幅に上回った。</p> <p>○空き家バンクの利活用促進 諏訪市空き家バンクに対する問い合わせ件数は年々増加。システム改修で埋もれていた物件数を掲載したこともあり、登録物件数の増加とともに、契約成立件数も増加した。</p>
基本目標の達成に向けた今後の方向性
<p>○官民が連携したシティプロモーションによる魅力発信 情報発信講座を開講し、先輩移住者に諏訪の魅力について記事を書いてもらい、諏訪市ホームページや公式フェイスブックに掲載することで、移住者の生の声を移住希望者や検討者に伝えることで移住促進に努める。また、ふるさと納税制度の趣旨に則り、諏訪市を応援してもらえるような取り組みを拡充し、魅力的な返礼品を充実させていく。</p> <p>○若い世代に向けた情報発信 奨学生との面談の機会に、奨学金償還免除制度の案内を行い諏訪市定住を卒業後の進路の選択肢の一つとして検討してもらい取り組みを引き続き行う。</p> <p>○移住相談、移住サポート体制の充実 「新たな生活様式」に沿った形で事業を企画し、移住希望者や関係人口創出につながるPRに努める。また、6市町村の広域ベースで効果的な情報発信（Youtubeでの情報発信）を実施することで、諏訪圏移住相談センターの相談件数を増加させる取り組みを行う。</p>

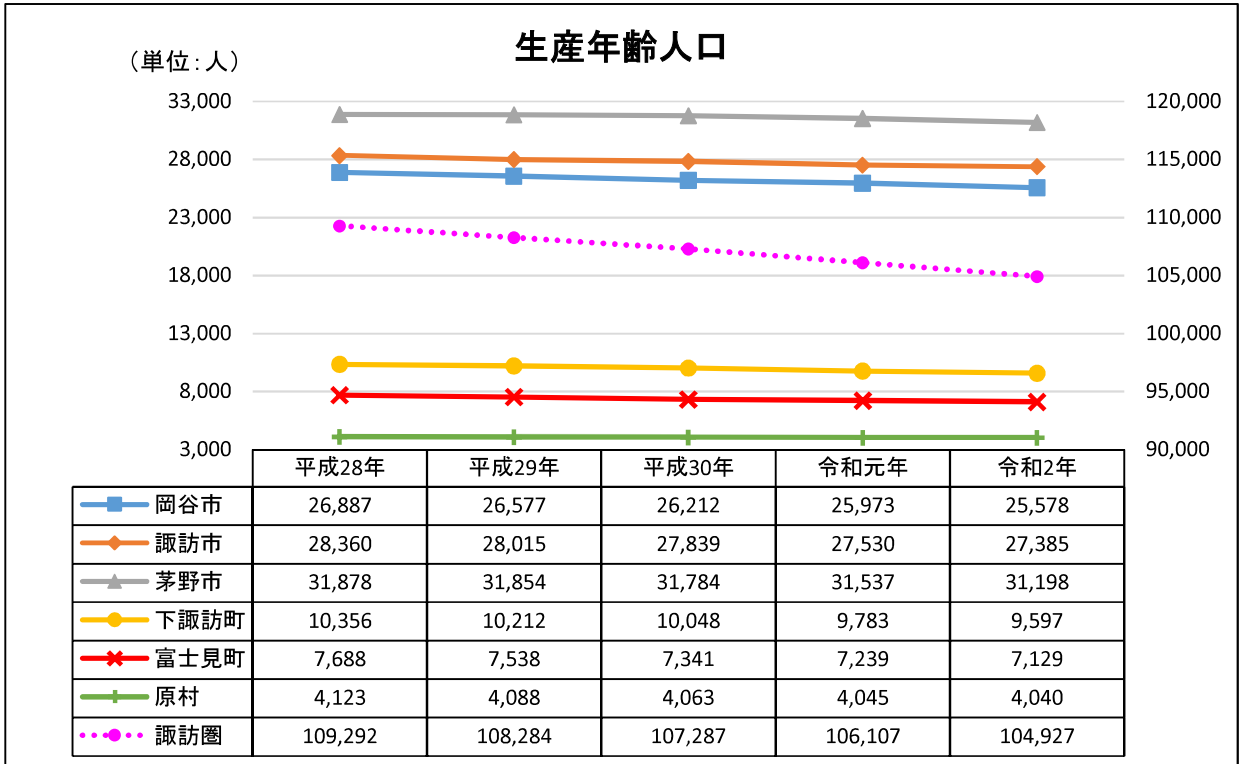
【参考：諏訪地域の数値】



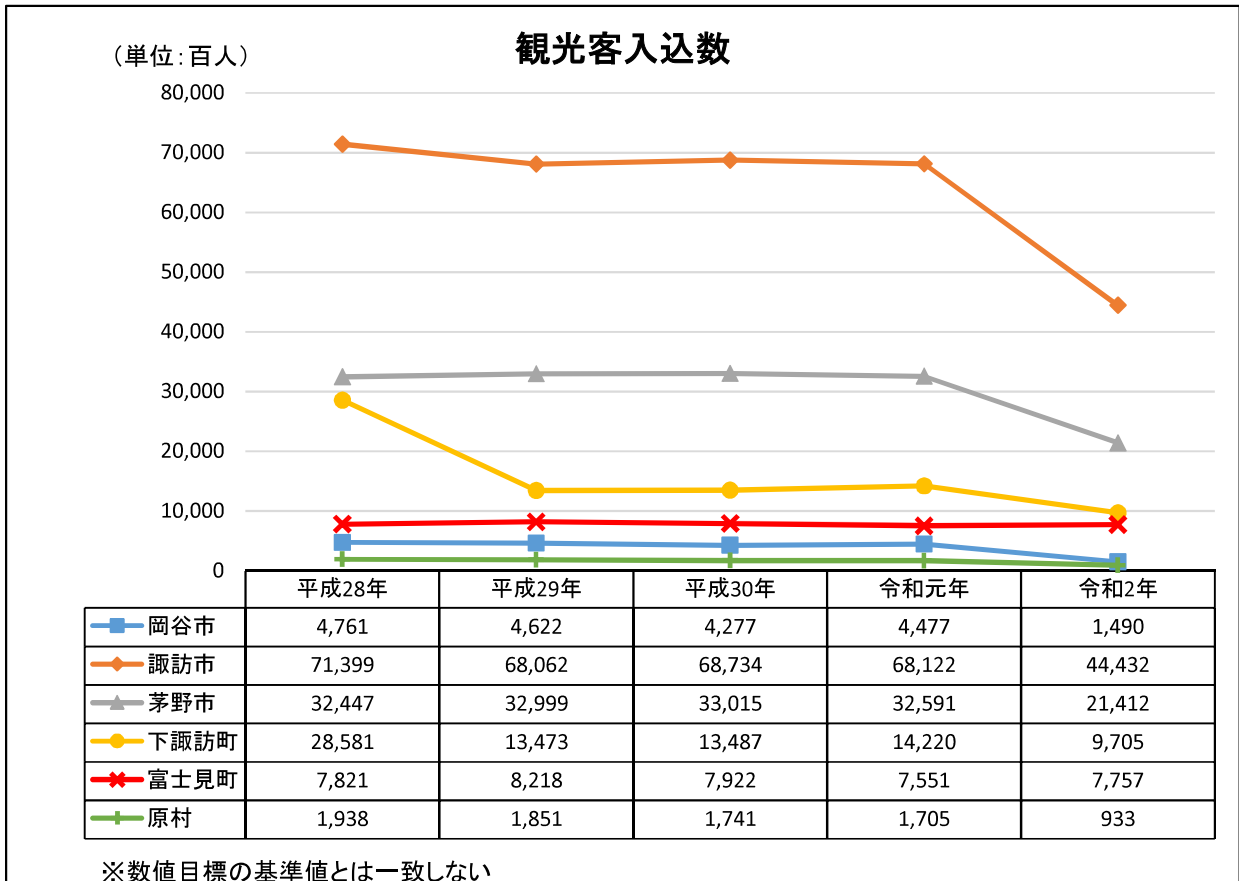
(資料)長野県「毎月人口異動調査」

二之柱 「行ってみたい」、「戻ってきたい」、「住んでみたい」と思える「まち」の創生

【参考：諏訪地域の数値】



(資料)総務省「国勢調査」等



(資料)長野県「観光地利用者統計調査」

1「知っている」から「行ってみたい」まちへ

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(1)豊富な観光資源を活かした観光戦略

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)	
宿泊客数 【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	目標値		562,082人	566,561人	571,041人	575,521人	580,000人	590,000人	590,000人	
	実績値	557,602人	561,939人	571,724人	569,015人	571,848人	605,321人	307,035人		
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	順調	努力が必要		
	感染症の影響	感染状況に応じて人の移動の自粛が求められる中、宿泊産業は市内で最も経済的打撃を受けている産業であり、集客イベントによる誘客が難しい状況となっている。								
	達成状況の分析	平成30年から増加傾向で昨年は目標を達成できたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実績値は大幅に下回った。								
今後の取組	宿泊は経済波及効果が大いことから、宿泊ニーズが高い地域やターゲットを意識した戦略を引き続き継続させていくとともに、令和4年諏訪大社式年造営御柱大祭をフックとしたプロモーション展開と、アフターコロナを視野に入れながら、選ばれる観光地としての情報発信を実施していく。									
KPI	項目	平成26年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)	
観光消費額【再掲】 【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	目標値		1,928,716万円	1,946,537万円	1,964,358万円	1,982,179万円	2,000,000万円	2,030,000万円	2,030,000万円	
	実績値	1,910,895万円	1,924,941万円	2,014,817万円	1,926,772万円	1,954,582万円	1,968,407万円	1,222,339万円		
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要		
	感染症の影響	感染状況に応じて人の移動の自粛が求められる中、宿泊産業は市内で最も経済的打撃を受けている産業であり、集客イベントによる誘客と観光消費額拡大が難しい状況となっている。								
	達成状況の分析	平成30年から増加傾向で昨年は目標を達成できたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実績値は大幅に下回った。								
今後の取組	諏訪観光協会や諏訪地方観光連盟が取り組む誘客事業と連携しながら、新たな観光素材の発掘・磨き上げを行う等、通年での誘客促進及び滞在時間延長の取り組みにより、観光消費額の拡大を図る。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
他の観光資源を結び付けたコラボ・イベント開催 観光課	宿泊向けの旅行商品として、霧ヶ峰スキー場リフトを利用し霧ヶ峰高原を散策した後、地域素材を活かした高原での朝食体験ができる「霧ヶ峰で朝食を」を継続実施した。 【実績】参加人数91名 ※(新規)新型遊覧船活用事業は中止	コロナ禍、少人数で実施可能な体験アクティビティを発掘し、 <u>通年で情報発信することにより、持続的な誘客活動につなげる必要がある。</u>
観光誘客宣伝事業 観光課	京王新宿にある京王インフォメーションプラザを活用し、 <u>コロナ禍の中で誘客宣伝事業が制限される中、現地スタッフによる観光案内を実施した。</u> 【実績】パンフレット配布部数2,095部	感染対策の取り組みにより安全安心を意識したプロモーションを行うとともに、 <u>豊富な観光資源の中から状況に応じたテーマで訴求することにより、リピーター確保につなげていく必要がある。</u>
諏訪圏フィルムコミッションへの支援 観光課	映画、テレビの制作者等に積極的に働きかけ、諏訪エリアのPR、地域の文化振興、諏訪エリアへの交流人口増につなげた。諏訪エリアへのロケを誘致することで、宿泊代や食事代等、一定の経済効果につながっている。 【実績】諏訪市内撮影支援件数40件	コロナ禍では、 <u>コンテンツ情報によるプロモーションが有効であることから、諏訪エリアの知名度向上やロケ候補地の充実を図り、地元ロケ作品やフィルムコミッション活動を地域住民に対し訴求していく必要がある。</u>

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
<p>周遊・滞在型観光地への転換</p> <p>観光課</p>	<p>市民または諏訪エリアに縁のある方でSNSのフォロワー1,000人以上の方を「諏訪の国公式アンバサダー」として募集し、広域の様々な魅力を発信し、周遊滞在化の促進を図った。 【実績】「諏訪の国公式アンバサダー」instagram総投稿数450、総いいね117,561、総コメント1,502</p>	<p>周遊・滞在化を促進するため、公民連携による「諏訪の国ブランド」の再構築、諏訪6市町村全体の周遊・滞在化を進める「仕掛け」と平行し、「諏訪の国公式アンバサダー」と連携したプロモーションを展開していく必要がある。</p>
<p>広域観光「信州ビーナスライン広域連携事業」</p> <p>観光課</p>	<p>ウェブサイトやSNSを活用した広域連携による情報発信、サイクルスタンド設置(ビーナスライン沿線市内5カ所設置)に加えて、レンタカー利用者のモニタリング調査、スタンプラリーを実施し、周遊促進を図った。 【実績】646件</p>	<p>ビーナスラインブランドの向上及び霧ヶ峰高原への誘客拡大を図るため、広域での情報発信を継続的に実施する必要がある。</p>
<p>信州シルクロード連携協議会との連携</p> <p>観光課</p>	<p><u>新型コロナウイルス感染症の影響により、旅行商品造成に向けたPRキャラバンやメディアトリップなどのイベントが中止となったが、今後につなげるため令和3年度「高速道路利用・観光・地域連携推進プラン」提案に向けた申請・準備を行った。</u></p>	<p><u>アフターコロナを視野に、インバウンド訪日旅行や教育旅行の潜在ニーズを意識しながら、魅力的な旅行商品コンテンツの充実を図るとともに、継続的なプロモーションが必要である。</u></p>
<p>諏訪湖周サイクリングロード整備計画</p> <p>都市計画課</p>	<p>令和2年度より整備工事に着手した。サイクリングロード施工延長780m小径の駅整備、駐車場拡充等を完工した。また、関連する湖畔公園整備工事を実施。既存施設の改修を行ない利便性や快適性の向上を図った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度完成に向け整備工事を着実に進める。 県及び湖周2市1町それぞれで整備が進められる中で、利用におけるルールや整備の統一、また、県を縦断するジャパンアルプスサイクリングロードと整合を図り進める必要がある。 諏訪市施工区間の一部は、築堤整備が完了していないことから道路幅員の確保が困難である。関係機関と協力し安全性を担保した施設整備を進めたい。

1「知っている」から「行ってみたい」まちへ

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(2) 官民が連携したシティプロモーションによる魅力発信

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
移住・定住サポートサイトへのアクセス件数 【備考】 現状の分析に加え、今後の取組を勘案して設定	目標値		180,000件	180,000件	180,000件	180,000件	180,000件	10,000件	10,000件	
	実績値	-	159,288件	84,461件	91,779件	9,292件	4,888件	4,197件		
	達成度		概ね順調	努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要	
	感染症の影響	-								
	達成状況の分析	移住・定住サポートサイトに新規の情報を掲載することができずアクセス実績は低調ではあるものの、来庁しての窓口での問い合わせや移住相談件数は増加傾向にある。								
今後の取組	情報発信講座を開講し、先輩移住者に諏訪の魅力について記事を書いてもらい、諏訪市ホームページや公式フェイスブックに掲載することで、移住者のリアルな声を配信し、移住促進に努める。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
ふるさと寄附件数 【備考】 H30年度から上方修正した目標値を維持	目標値		1,000件	1,000件	1,000件	1,700件	1,700件	1,700件	1,700件	
	実績値	295件	1,664件	1,913件	1,983件	2,048件	1,646件	2,654件		
	達成度		順調	順調	順調	順調	概ね順調	順調		
	感染症の影響	体験型の返礼品を増やしたが、実際に諏訪に来て体験してもらうことはできなかった。								
	達成状況の分析	体験型などの返礼品企画やSUWAプレミアム商品を追加するなど積極的に取り組んだことにより、寄附件数・金額で前年を上回ることができた。								
今後の取組	ふるさと納税制度の趣旨に則り、諏訪市を応援してもらえるような取り組みを拡充させるため、ガバメントクラウドファンディングや魅力的な「体験型」「サービス提供型」返礼品を充実させていく。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
諏訪市まち歩きナビ「すわナビ」の運用 企画政策課	※感染症の影響については下線部 新型コロナウイルス感染症の影響と、花火大会の中止により、すわナビダウンロード数は大幅に減少した。毎年花火大会の影響で8月のダウンロード数が突出している。	※感染症に起因する課題等については下線部 過去ダウンロード数の傾向として、花火大会が無ければ低調に推移しており、ランニングコストに見合った効果が得られていない。今後、コロナ禍において花火大会や観光のあり方が見直される際に、廃止も含めてすわナビの運用を検討する。
ふるさと寄附金事業 地域戦略・男女共同参画課	※新型コロナウイルス感染症の影響により、体験型の返礼品を増やしたが、実際に諏訪に来て体験してもらうことはできなかった。 ※しかし、楽天ふるさと寄附ポータルサイトを増やしたたことにより、件数及び金額で前年を上回る実績が残せた。	より大勢の方の共感を得られるような取組や、地方税法の規定に則した魅力ある返礼品の効果的な情報発信方法を模索・実践し、寄附件数の目標達成を目指す。

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
秘書広報課の設置 秘書広報課	・市の魅力を市内外に向けて効果的に情報発信し、市民に諏訪市の魅力を再認識してもらうとともに、市外の方への知名度・認知度向上につなげた。 ・市の魅力を広報紙に掲載、プレスリリース発信、激励旗進呈、県外への情報発信、PR活動、市PR用ロゴマーク及びキャッチコピー制作への参加など実施。	・市民に市の魅力を再認識してもらう、市外の方への知名度・認知度向上のため、新たに誕生したロゴマーク・キャッチコピーを活用し、より効果的に情報発信を行う。 ・市全体の情報発信力向上のための研修を、内容を見直しながら継続実施する。 ・縁のある人へのPRの場や情報発信ルートを確保する。
SNSを活用した情報発信 秘書広報課 企画政策課	SNS活用による情報発信を実施。公式Youtubeを活用し、コロナ禍において各課で発信できない情報や実施できない講座に変わるコンテンツ(フレイル予防体操など)を配信した。 【実績】 市公式Facebook 投稿99件 " Youtube 動画投稿41件	・市内外に市の魅力を届けるため、継続的に地域情報や季節の情報を発信する。 ・情報発信力向上研修において、SNS関連に重点を置く。

2「住み続けたい」、「戻ってきたい」まちへ

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(1)若い世代に向けた情報発信

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
大学卒業生等就職ガイダンス延べ参加者数【再掲】 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		700人/年度	700人/年度	700人/年度	700人/年度	700人/年度	700人/年度	700人/年度	
	実績値	627人	452人	465人	444人	515人	316人	575人		
	達成度		努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要	概ね順調		
	感染症の影響	予定していた2回の就職ガイダンスが中止になったが、参加人数の実績はある程度確保できた。全国的にも感染症の影響によりガイダンスが少なくなっていることから、採用担当者とコンタクトできる場を求めていると考えられる。								
	達成状況の分析	感染症の影響はあるが、新規学卒者の採用意欲はそこまで低下していないとみられ、動向を注視していく必要がある。								
今後の取組	景気や市場の動向により参加者が大きく変動する事業であるため、継続して地道に取り組むことが必要である。オンラインを含めた多様な情報発信方法の検討をする。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
奨学資金の大学生貸与者のうち、卒業後の諏訪市居住者の割合 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		67.0%	67.0%	67.0%	67.0%	67.0%	67.0%	67.0%	
	実績値	66.7%	55.6%	60.0%	58.3%	60.0%	66.7%	57.1%		
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	
	感染症の影響	(このセルは斜線が入っています)								
	達成状況の分析	年1回実施している奨学生との面談において卒業後諏訪市定住を希望する者も多く見受けられるが、実績値の推移は奨学生の就職状況等に左右される。								
今後の取組	上記面談等の機会を捉え、貸付対象者には奨学金償還免除制度の案内を行い諏訪市定住を卒業後の進路の選択肢の一つとして検討してもらい取り組みを引き続き行う。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
奨学資金貸付事業の実施 教育総務課	・二之柱2「住み続けたい」、「戻ってきたい」まちへの取組として、平成28年度に償還免除制度を拡充。償還免除制度を周知することにより奨学生の諏訪市定住を支援した。 ・令和2年度から、大学生への給付を再開した。	※感染症に起因する課題等については下線部 貸付事業の申請者数が減少傾向にある中、大学生への給付を再開したことから、新型コロナウイルス感染症による経済への影響等も含め奨学金申請の今後の動向に注視し、奨学生の諏訪市定住に係る支援対策の検証を行うとともに、奨学金制度全体の見直しを図る。
若年世代への歯科検診 健康推進課	令和2年度から「オトナの歯科健診」として20、30、40、50、60、70歳の節目健診を市内歯科医療機関において実施。全世代個別健診へ切り替えたことにより受診率が前年度に比べ上昇した。	若いうちから自身の歯と口腔全体の状態を知り、一生涯を通じて健康な歯でいられるよう、正しい知識の普及を図る必要があるため、今後も継続して実施する。

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
職業観の早期醸成、 早期離職の解消、地 元就職の推進【再掲】 商工課	キャリア教育事業の一環として、市内高校へ諏訪地域の企業が出向き事業概要や会社組織、学生時代に身に付けてほしい能力や社会に出て働くという厳しさ、やりがい等についての説明、質疑応答をした。 【実績】 実施高校1校、参加企業数9社	<ul style="list-style-type: none"> ・成果がすぐ目に見える事業ではないため、継続して地道に取り組む実施校も増やしていく。 ・保護者へ向けた情報発信や、大学進学後の学生に対するフォローアップについて実施する。
大学卒業予定者や転 職移住者等への情報 発信【再掲】 商工課	大学等卒業予定者、転職移住者等への就職説明会の開催により、市内企業への求職希望者と求人企業のマッチングの機会とし、雇用の確保につなげた。また、大学訪問や企業ガイドブックの作成により、市内企業の情報発信の一手段として採用動画作成への支援を始めている。 【実績】 就職説明会開催4回、大学訪問0校	<ul style="list-style-type: none"> ・成果がすぐ目に見える事業ではないため、継続して地道に取り組むことが必要である。 ・多様な情報発信方法を検討する。 ・<u>令和3年度はオンライン企業説明会を開催し、マッチングの機会を提供していく。</u>

2「住み続けたい」、「戻ってきたい」まちへ

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(2)「ふるさと」としての愛着や誇り、地域貢献への意識醸成

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
学校支援ボランティア 参加者延べ数 【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	目標値		27,800人	27,800人	27,800人	27,800人	27,800人	27,800人	27,800人	
	実績値	27,554人	26,962人	28,831人	27,341人	24,506人	20,271人	10,304人		
	達成度		概ね順調	順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要	努力が必要		
	感染症の影響	感染症拡大防止のため、学校内外において交流を極力行わないようにしたため、対面的なボランティア活動を実施することができなかった。								
	達成状況の分析	感染症の影響により直接交流を実施することはできなかったが、学校消毒ボランティアなどの新たな取り組みやGIGAスクール支援としてタブレット端末のセットアップなど、例年の活動とは異なるが、学校が必要としている支援を実施することができた。								
今後の取組	引き続き学校支援ボランティアの支援を受けながら、地域と連携した教育及び学校支援の更なる充実、地域と学校とが連携して進める「学びのまちづくり」を推進する。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
生涯学習リーダーバンク 登録者数 ※令和2年度以降指導者数の見込とする 【備考】 地域ニーズに応えられる人材数への変更を前提に設定	目標値		60人	60人	60人	60人	60人	35人	35人	
	実績値	57人	52人	65人	65人	65人	65人	65人		
	達成度		概ね順調	順調	順調	順調	順調	順調		
	感染症の影響	新たな指導者制度への移行を行う目前でコロナ感染症が発生し、新制度への移行が行えなくなってしまった。								
	達成状況の分析	新たな指導者制度への移行が行えなかったため、旧リーダーバンクにより問い合わせや必要な対応を行っている。								
今後の取組	コロナ禍により指導者の活用以前に、人の集まることが難しくなっており、新たな制度への移行が行えていないため、感染症の動向に注視しつつ、移行を行うための準備を行っている。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
信州型コミュニティスクール創造事業の推進 教育総務課	感染症の影響により、中止となった取り組みも多くあったが、昨年までの地域とのつながりや積み重ねにより、新しい活動も生まれた。地域ボランティアの支援を受けながら、学校と地域とのつながりを深め、直接交流だけではなく地域を意識した信州型コミュニティスクールを推進することが出来た。	※感染症に起因する課題等については下線部 新しい生活様式としての交流や支援の方法を確立すると共に、地域と連携した教育及び学校支援の充実を図るために、学校と地域がそれぞれの役割を明確にし、地域づくり、まちづくりへの広がりを意識した信州型コミュニティスクールを今後も推進する。
ミュージアムパスポートの配布 生涯学習課 (博物館・美術館)	市内小中学生に諏訪市ミュージアムパスポートを配布し施設利用の促進を図った。 【実績】パスポート配布数5,129人(令和2年度利用者:博物館345人、美術館207人、原田泰治美術館239人) ※新型コロナウイルス感染予防対策による臨時休館(4/5～5/31)が影響し、各館共、パスポートの利用数は大幅に減少した。	・引き続き、学校の先生方や保護者への周知に力を入れる。新任の教職員研修や来館鑑賞、イベント時などの機会を捉え、広報でも繰り返し紹介し、覚えてもらう。3館スタンプラリー記念品の見直しも検討したい。 ・ミュージアムパスポートを持参して有効活用してもらうために、学校と連携して周知に努める。 ・小中学生のふるさと学習をサポートする事業の充実と促進していく。 ※コロナ対策を徹底して、安心して利用できる施設であることをPRする。

3「住んでみたい」、「選ばれる」まちへ

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(1) 移住相談、移住サポート体制の充実

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
移住セミナー等での相談者数 【備考】 現状及び今後の取組を 勘案し設定	目標値		100人/年度	100人/年度	100人/年度	100人/年度	100人/年度	130人/年度	130人/年度	
	実績値	57人	139人	110人	179人	172人	160人	121人		
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	概ね順調		
	感染症の影響	対面でのセミナーが軒並み中止され、オンラインによるセミナーが開催されたが、相談者が減少したことにより、件数は目標を下回った。								
	達成状況の分析	オンラインで開催された移住セミナーへの参加や、アウトドアを切り口にした移住プロモーションの実施に努めたが、相談者は少なく目標値を下回った。								
	今後の取組	コロナ禍により、従来の形での移住セミナー開催が制限される中、「新たな生活様式」に沿った形で事業を企画し、移住希望者や関係人口創出につながるPRに務める。								
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
諏訪圏移住相談センターへの相談件数 【備考】 現状及び今後の取組を 勘案し設定	目標値		-	150件/年度	150件/年度	150件/年度	150件/年度	200件/年度	200件/年度	
	実績値	-	-	179件	193件	310件	272件	98件		
	達成度		実績値なし	順調	順調	順調	順調	努力が必要		
	感染症の影響	諏訪圏移住相談センターとしては、セミナーへの参加や朝市などでのPRを自粛したため、相談件数は、大幅に減少した。								
	達成状況の分析	専任のコーディネーターが常駐する諏訪圏移住相談センターと6市町村の担当者が情報を共有・連携してきたが、セミナーがオンラインでの開催に切り替わり、集客に苦戦したことから、実績値は前年を下回った。								
	今後の取組	コロナ禍により、従来の形での移住セミナー開催が制限される中、6市町村の広域ベースで効果的な情報発信(Youtubeでの情報発信)を実施することで、諏訪圏移住相談センターの相談件数を増加させる取り組みを行う。								

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
諏訪圏移住相談センターの相談件数 地域戦略・男女共同参画課	諏訪圏移住相談センターとの連携を図ったが、 <u>イベントの中止やセミナーのオンライン化</u> により相談件数は目標を下回った。	諏訪圏移住相談センターで「しごと」「住まい」「生活情報」など様々な問い合わせについてワンストップで回答できる体制を継続できるよう支援を行う必要がある。

3「住んでみたい」、「選ばれる」まちへ

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(2)UIJターンの支援

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
諏訪市移住促進人財バンク利用者数 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		-	-	5人	5人	5人	5人	5人	
	実績値	-	-	-	22人	16人	21人	12人		
	達成度		実績値なし	実績値なし	順調	順調	順調	順調		
	感染症の影響	諏訪圏移住相談センターとの連携により、移住者に関する情報共有が図られたことから、目標を大幅に上回ることができた。								
	達成状況の分析									
	今後の取組									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
諏訪市の支援を受けたUIJターンによる起業数【再掲】 【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	目標値		-	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	2件/年度	
	実績値	-	-	1件	3件	2件	4件	1件		
	達成度		実績値なし	努力が必要	順調	順調	順調	努力が必要		
	感染症の影響	他県等からの移住が厳しい状況下であった。								
	達成状況の分析	諏訪市の利率や利子補給は開業者の資金計画のなかで魅力的な資金となっている。								
	今後の取組	利率や利子補給については魅力的な内容になっているため、更なる広報周知に努め、利用率のアップを図る。								

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
空店舗等活用補助事業【再掲】 商工課	市内の空店舗等を有効活用し街の賑わいづくりにつなげるため、新たに空き店舗等を改装して事業を開始する事業者に対して改修費用の一部を補助する。 <u>感染症の影響により、令和2年度は該当者なし。</u>	持続可能な地域経済実現に向け、空店舗等活用補助は商店街の賑わいづくりに有効な手段であり、若手創業者への支援にもなるが、その後も継続的な支援が必要である。
店舗等の立地促進【再掲】 商工課	店舗等の立地促進を図り、雇用の創出と地域活性化を目的とし、店舗等の新設等に併い発生する固定資産税額を補助した。 【実績】1件	土地柄上、積極的な店舗誘致ができずにいるが、この制度が諏訪市で新規に開業するきっかけの一つになるよう周知する。
開業支援資金【再掲】 商工課	創業に必要な資金のあっせんを行うことで事業資金借入れを容易にし、また利用者に対し利子補給、保証料補給することで借入れ後の負担軽減を行い、資金面での支援をした。 【実績】開業支援資金利用者 市18件、県19件	金融業界全体の金利が大幅に下がっている中で、市の制度資金の利用率アップは難しいが、より利用しやすい制度となるよう、内容の見直しを行っていく。UIJターン者の周知に努める。
諏訪市移住促進人財バンク 地域戦略・男女共同参画課	・移住希望者で就職を希望する方がいれば、諏訪圏移住相談センターから企業側へ情報提供し、マッチングを図った。 ・諏訪圏移住相談センターとの連携により、移住者に関する情報共有が図られたことから、目標を上回ることができた。	諏訪圏移住相談センターと連携を図り、「しごと」「住まい」「暮らし」といった多方面から移住定住の支援を行う。

3「住んでみたい」、「選ばれる」まちへ

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(3) 空き家バンクの利活用促進

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
諏訪市空き家バンクによる契約成立件数 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		3件/年度	3件/年度	3件/年度	3件/年度	3件/年度	3件/年度	3件/年度	
	実績値	-	0件	3件	6件	4件	9件	20件		
	達成度		努力が必要	順調	順調	順調	順調	順調		
	感染症の影響	-								
	達成状況の分析	諏訪市空き家バンクに対する問い合わせ件数は年々増えており、目標としていた契約成立件数を達成することができた。								
今後の取組	諏訪宅地建物取引業協会との連携により、諏訪市空き家バンク活用相談会を開催するとともに、移住促進空き家バンク活用補助金を積極的にプロモーションし、市内の利活用可能な空き家の登録促進を図ることで、契約成立件数増を目指す。									
KPI	項目	平成26年度	平成27年度 (基準値)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
諏訪市空き家バンク登録物件数 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値			60件	67件	73件	80件	80件	80件	
	実績値		53件	50件	30件	45件	137件	270件		
	達成度			概ね順調	努力が必要	努力が必要	順調	順調		
	感染症の影響	-								
	達成状況の分析	長野県宅地建物取引業協会諏訪支部と連携して空き家バンクを運営しているが、システム改修で埋もれていた物件数を掲載することにより、登録件数目標を達成することができた。								
今後の取組	諏訪宅地建物取引業協会との連携により、諏訪市空き家バンク活用相談会を開催するとともに、移住促進空き家バンク活用補助金を積極的にプロモーションし、市内の利活用可能な空き家の登録促進を図ることで、契約成立件数増を目指す。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
諏訪市空き家バンクの運用 地域戦略・男女共同参画課	・空き家バンクによる契約成立を促進するため、仲介手数料及び家財処分に対する補助を実施。20件の契約成立があった。 ・今年度は、バンクシステムを一部改修し多くの物件情報を掲載した。	・空き家所有者と利用希望者との円滑なマッチングを継続してサポートする必要がある。 ・空き家となっている物件には、家財処分が課題となっているケースがあるため、支援を継続し空き地などの情報を周知する必要がある。
空家対策の推進 都市計画課	・統合型GISによる空家情報の把握、適正管理に係る指導を継続した。 ・啓発事業として、空き家予防セミナー(個別相談会併催)を開催した。 ・空家等対策協議会を開催し、課題等を整理した。 ・諏訪市シルバー人材センターと空家の適正管理に係る協定を締結した。 ・空家跡地活用支援事業補助金を新設し、10件の実績があった。	・所有者等に向けた啓発及び効率的な空家情報の把握 ・関連部署との連携 ・適正管理が必要な空家に対する指導 ・利活用に関する支援策の検討

三之柱 若い世代の「希望」を実現、「ひと」を育てる「まち」の創生

基本目標

結婚・出産・子育てに対する切れ目のない支援により、若い世代の希望が実現できる「まち」の実現を目指し、人口の自然減に歯止めをかけるとともに、未来を担う「ひと」を育てます。

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

【数値目標の進捗状況】

数値目標	項目	平成26年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
合計特殊出生率 (人口動態調査等)	目標値		1.66	1.68	1.70	1.72	1.74	1.76	1.78
	実績値	1.64	1.71	1.68	1.57	1.60	1.61	1.54	
	達成度		順調	順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	
【備考】 人口ビジョンをもとに目標を設定									
数値目標	項目	平成26年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)
自然増減数 (長野県毎月人口異動調査)	目標値		△134(累計)	△268(累計)	△402(累計)	△536(累計)	△670(累計)	△735(累計)	△776(累計)
	実績値	△67	△81(累計)	△229(累計)	△357(累計)	△502(累計)	△730(累計)	△979(累計)	
	達成度		順調	順調	順調	順調	概ね順調	努力が必要	
【備考】 人口ビジョンをもとに自然減の抑制を目標に設定									
数値目標	項目	平成27年 (基準値)	平成28年調査	平成29年調査	平成30年調査	令和元年調査	令和2年調査 (当初目標値)	令和3年調査	令和4年調査 (目標値)
学校教育に対する市民満足度	目標値		向上	向上	向上	向上	向上	向上	向上
	実績値	3.01	3.01	3.10	3.26	3.28	3.30	3.27	
	達成度		概ね順調	順調	順調	順調	順調	概ね順調	
【備考】 基準値を上回ることを目標に設定									

【総合分析】

数値目標に対する新型コロナウイルス感染症の影響

○結婚に関する相談支援、きっかけづくりとなる出会いの支援
結婚相談の登録者数86人の内41人が新規登録者となっている。新規登録者数は増加しているが、背景にはコロナ禍において出会いの場が減少していることがある。

○出産前後のサポート体制整備
母子ともに新型コロナウイルスへの感染を懸念することもあってか、新生児家庭訪問に消極的なケースが数件あった。また、対面で実施している父親向け講座も中止せざるを得なくなった。

○安心して子育てができる環境整備
児童センターは5月末迄閉館するとともに、年間を通じ開館時間の短縮、入館制限などを実施した。また、警戒レベルに合わせてイベントが中止・延期となった。

○子育ての経済的負担・精神的負担を軽減するサポート体制構築
感染症の影響により子育て支援講座を一部中止とした。また、コロナ禍により家庭で一人で子育てするストレスや不安等に係る相談が増加した。

○ものづくり教育を核としたキャリア教育の推進
感染症の影響により、ものづくり教育やチャレンジショップが中止となった。

○国際理解教育や情報教育、地域学習などの推進
臨時休業などの影響により国の示す方針に沿った授業時間数の確保ができなかった。また、蓼科保養学園も期間短縮運営をしたが第4期から休園となった。

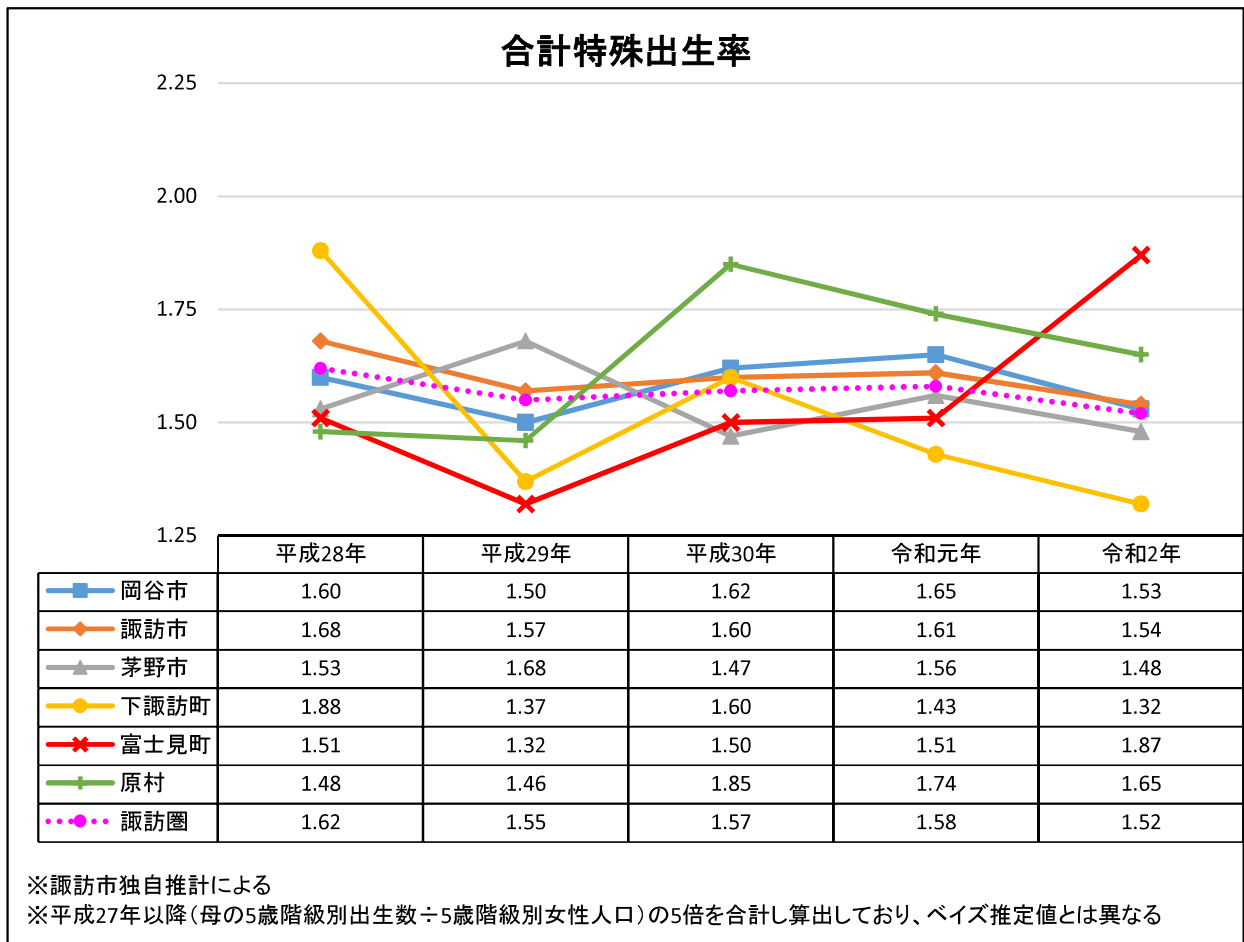
○仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進
「ともに生きる諏訪セミナー」や「ともに生きる諏訪市民大会」が中止となった。

三之柱 若い世代の「希望」を実現、「ひと」を育てる「まち」の創生

【総合分析】

基本目標の達成に寄与した取組成果
<p>○結婚に関する相談支援、きっかけづくりとなる出会いの支援 結婚相談所に登録する方が増加。自粛生活があったこともあり、結婚に対する意識の変化も考えられる。</p> <p>○保育所の充実 令和元年度に赤沼保育園に3歳未満児室を拡張整備して保育の受け皿を増やす取り組み等を進めた結果、待機児童ゼロを維持できた。</p> <p>○子育ての経済的負担・精神的負担を軽減するサポート体制構築 子育て支援センターでの相談が地域に定着してきた結果目標を上回る件数となった。講座内容については、時宜に沿うものを選ぶように工夫しており、ニーズに対応できている。一方、保護者からの相談内容は年々複雑多様化している状況である。</p>
基本目標の達成に向けた今後の方向性
<p>○安心して子育てができる環境整備 児童センターは新しい生活様式に即して安心して利用してもらえるように、衛生管理やイベントのあり方など運営見直しを継続的に行い、子どもの健全育成支援、親支援を行う拠点として運営する。ファミリー・サポート・センターは働き方の多様化などを背景としたニーズの変化に対応できるよう、受託者と意見交換しながら、きめ細やかな会員相互扶助が行われるよう事業を実施。様々なニーズに対応できる「まかせて会員」の確保に努める。</p> <p>○特別な支援が必要な子どもたちへの支援 教育相談の内容が複雑化・多様化しているケースが増えてきているため、子ども家庭総合支援拠点(すわ☆あゆみステーション)と連携し早めの教育相談に繋げ、医療・福祉などの関係機関と連携した早期の対応、支援することが必要である。</p>

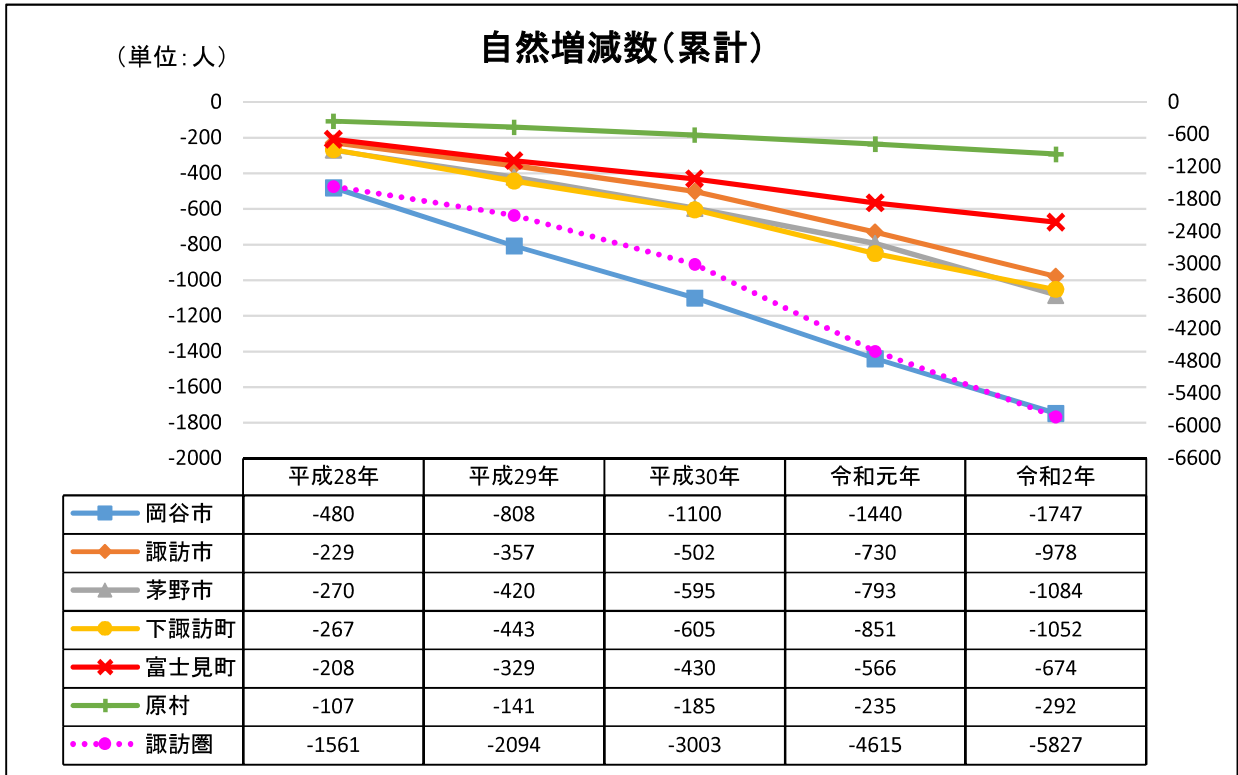
【参考：諏訪地域の数値】



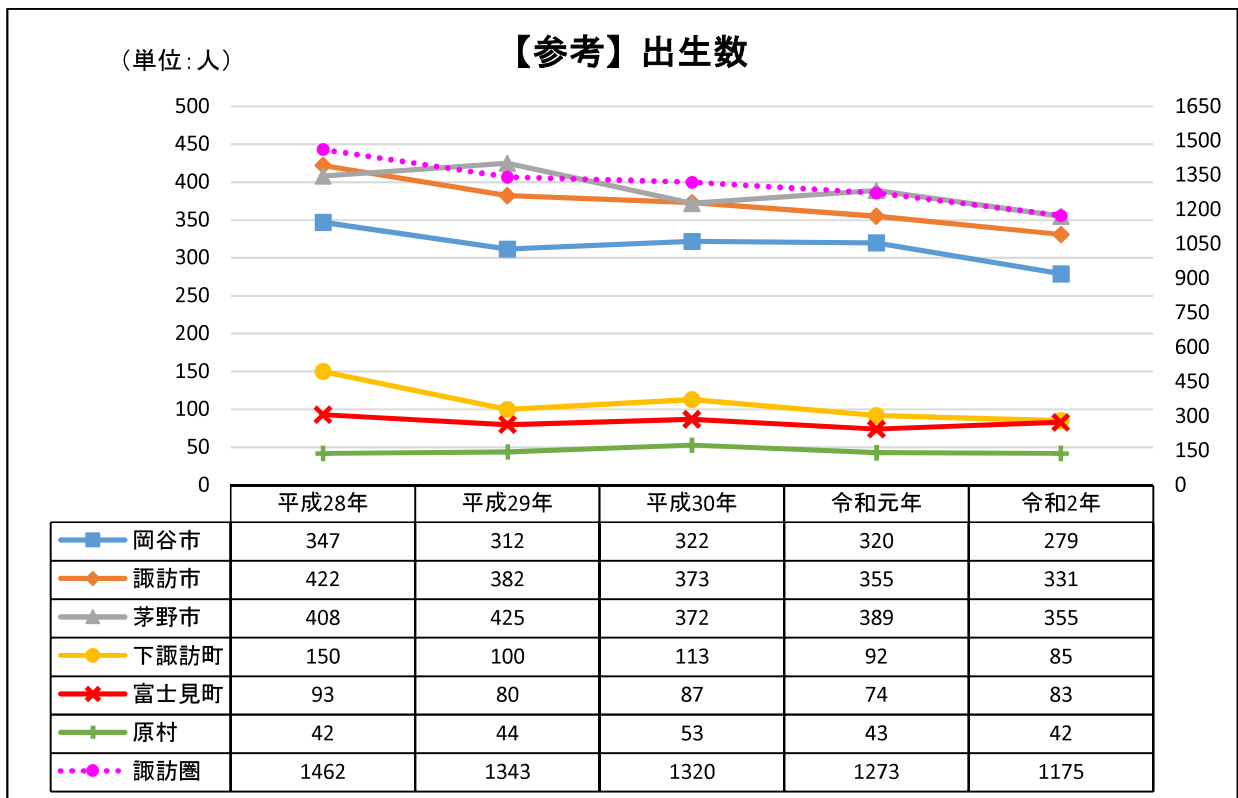
(資料)厚生労働省「人口動態調査」等

三之柱 若い世代の「希望」を実現、「ひと」を育てる「まち」の創生

【参考：諏訪地域の数値】



(資料)長野県「毎月人口異動調査」



(資料)厚生労働省「人口動態調査」

1「結婚したい！」希望をかなえる

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(1)結婚に関する相談支援、きっかけづくりとなる出会いの支援

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
結婚相談登録者数	目標値		55人	55人	55人	55人	55人	55人	55人	
	実績値	49人	70人	74人	69人	71人	73人	86人		
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	順調		
	【備考】 現状の取組状況をもとに 当初計画時の目標を維持	感染症の影響	登録者数86人の内41人が新規登録者。出会いの場が減少していることが新規登録増加につながっている。							
	達成状況の分析	コロナ禍において自粛生活により、結婚に対する意識の変化も考えられる。								
今後の取組	マッチングやお見合いについては、諏訪市相談所内登録者にみでなく、ながの結婚マッチングシステム登録者など広い範囲からの紹介があることなどを広報、周知していく。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
婚活イベント、セミナーへの参加者数	目標値		130人/年度	130人/年度	130人/年度	130人/年度	130人/年度			
	実績値	113人	58人	99人	170人	105人	47人			
	達成度		努力が必要	努力が必要	順調	概ね順調	努力が必要			
	【備考】 令和元年度事業終了	感染症の影響								
	達成状況の分析	令和元年度事業終了								
今後の取組	令和元年度事業終了									
KPI	項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
「諏訪市新婚新生活住まいる補助金」の交付見込数に対する交付決定数の割合	目標値				80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	
	実績値				80.0%	120.0%	180%	200%		
	達成度				順調	順調	順調	順調		
	【備考】 計画当初の目標値を維持	感染症の影響	新型コロナウイルスが補助金申請へ影響を及ぼすかと思われたが、結果的には前年を上回る申請があった。							
	達成状況の分析	申請数は年々増加しているため、それに見合った予算措置が求められる。								
今後の取組	令和3年度は、申請見込み数を増やすと共に予算を増額して継続する。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
社会福祉協議会による結婚相談所の開設 社会福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・第1、第3土曜日13:00～16:00 ・第2、第4水曜日18:00～20:00 ・令和2年4月～5月の相談中止 ・令和2年6月より予約制の相談に変更 ・オンラインお見合い実施 ・お見合数56件、成婚件数7件 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援においては、お見合いの時の身だしなみや話題、お相手の良いところをみつける方法など婚活のアドバイスも行っている。 ・コロナ禍において、予約制、オンラインお見合いなど3密、感染防止のための工夫をしているが、今後も新たな取り組みを模索する必要もある。
婚活イベント、セミナー等の開催 地域戦略・男女共同参画課	(婚活イベント等)令和元年度事業終了(新婚新生活住まいる補助金)国や県の施策と連携し、婚姻に伴う新生活を経済的に支援する補助制度を実施。【実績】交付件数10件	(婚活イベント)令和元年度事業終了(新婚新生活住まいる補助金)当初予定を上回る10件の交付を実施。年度末に申請が集中することから、予算対応について課題がある。

2「授かりたい、産みたい！」希望をかなえる

達成度の目安

- 順調：目標値以上
- 概ね順調：80%以上100%未満
- 努力が必要：80%未満
- 実績値なし：当該年度の実績値なし

(1) 妊娠・出産への支援

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)									
妊婦一般健康診査受診率 (1回目受診数/当年度妊娠届出数)	目標値		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%									
	実績値	97.5%	98.4%	97.2%	98.2%	100.0%	100.0%	100.0%										
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	順調	順調	順調										
	感染症の影響	【備考】 全ての妊婦が健康診査を受診することを目標に設定																
達成状況の分析	里帰りでも県外病院の健診受診についても補助を行っており、全ての妊婦さんが妊婦一般健康診査を受診している。																	
今後の取組	安心した出産を迎えられるよう継続実施をしていく。																	

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
不妊及び不育治療費等助成 健康推進課	少子化対策への一助として妊娠を希望する夫婦の経済的、心理的負担の軽減を図る。例年並みの利用人数があり、一定の効果を得ている。	※感染症の影響については下線部 ※感染症に起因する課題等については下線部 県は特定不妊治療費に対する助成を実施しているが、R4年度から公的医療保険の適用とする方針であることが判明したため、今後の国や県の動向を注視するとともに、助成内容の見直しを行う必要がある。
妊婦一般健康診査 健康推進課	妊婦が安心して出産を迎えることができるよう、健康状態をチェックし、経済的負担の軽減を図る。妊娠届出時の対面説明を行うことにより受診行動の促進を図っており、高い受診率を維持できている。	継続的に実施するとともに、産婦健診の補助も実施することにより、産後うつや早期発見に努め、子育て支援の充実を図る。
未熟児養育医療助成事業 健康推進課	妊娠、出産から子育てにわたる切れ目のないサポート事業のひとつとして、未熟児等の入院に関わる経済的負担の軽減を図る。令和2年度は実績がなかった。	病院から情報提供を受けた児について、連携した支援を継続していく。

2「授かりたい、産みたい！」希望をかなえる

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(2) 出産前後のサポート体制整備

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
新生児等の家庭訪問実施率 (訪問数/出生数) ※前年2月～当年1月出生数 【備考】 全ての妊婦が健康診査を受診することを目標に設定	目標値		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	実績値	98.3%	96.7%	95.2%	94.0%	97.4%	96.2%	96.9%		
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調		
	感染症の影響	感染症防止を理由とした家庭訪問の拒否が数件あった。								
	達成状況の分析	里帰り出産で訪問を希望する産婦は、里帰り先の自治体に訪問依頼している。出産後の移動や出産時期、訪問時期の差があるため、年度の捉えが難しい。								
	今後の取組	継続実施								
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
父親向け子育て講座受講率 【備考】 過去5年間の受講者数伸び率をもとに目標を設定	目標値		20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	
	実績値	17.2%	16.8%	16.3%	19.1%	18.8%	11.7%	-		
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要	実績値なし		
	感染症の影響	仕事で大勢の人と関わる可能性のある父親を対象としているため、感染拡大に伴い講座を休止した。								
	達成状況の分析	他の教室は縮小して開催しているが、仕事で大勢の人と関わる可能性のある父親を対象とした当講座は開催を見合わせているため、実績値なし								
	今後の取組	コロナ禍における講座開催方法の検討。								

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
赤ちゃん訪問事業 健康推進課	出生届が出された赤ちゃんとお母さんを訪問し、母子のすこやかな成長を支援。心身の不調や育児不安がある等手厚い支援が必要な産婦には子育て支援プランを作成し、関係機関と協力し、継続した支援を行なう。 <u>感染症防止を理由とした訪問に消極的なケースが数件あった。</u>	※感染症に起因する課題等については下線部 里帰り出産で訪問を希望する産婦には、里帰り先での訪問と情報の提供を依頼している。
乳幼児健診事業 健康推進課	定期的な乳幼児健診で健康発達状況の把握と、家族状況を把握し、支援が必要な家庭や児にはサポートを継続している。 <u>2年度は密にならないよう受付時間や待合場所を考慮し、来所者の体温や健康確認、手指・椅子等の消毒を実施したことにより例年並みの高い受診率となった。</u>	1. 6歳児健診、2歳児相談、3歳児健診に発達支援室の職員が参加し、フォロー、サポートが必要な家庭への支援を継続している。
父親向け子育て支援事業 健康推進課	これから出産を迎えるご夫婦を対象に、お父さんの役割について講座を開催していたが、 <u>コロナウイルス感染拡大につき、休止。</u>	産院等でも父親向けの講座は中止されている場合が多く、父親が知識を得たり交流する場が少ないため、開催への要望が聞かれる。オンラインも含め開催方法を検討していく。

令和3年度 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略【三之柱】効果検証シート②

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
産後ケア・サポート事業 健康推進課	産後間もない産婦の育児支援を施設を活用して実施(通所型・宿泊型)。宿泊型は実施医療機関が増えたことにより利用者増となった。	病院や助産所と連携し、産後ケアの周知と継続したフォロー。
子育て応援相談事業 健康推進課	妊娠から出産・子育てにわたる切れ目のないサポートを実施するため、妊娠届出時の妊婦全員への面接はその後の支援に繋げることができる。専任保健師1名による丁寧なサポートを実現している。	こども課等関係機関と連携し、児及び家族支援が必要な家庭への継続した支援。

3「子育てしたい！」希望をかなえる

達成度の目安

- 順調：目標値以上
- 概ね順調：80%以上100%未満
- 努力が必要：80%未満
- 実績値なし：当該年度の実績値なし

(1)安心して子育てができる環境整備

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
児童センター利用者数 (児童、保護者) 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		27,000人	27,000人	27,000人	27,000人	27,000人	27,000人	27,000人	
	実績値	27,160人	26,674人	26,013人	25,696人	25,136人	22,310人	8,516人		
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要		
	感染症の影響	令和2年3月2日からの全国一斉休校を契機に5月末まで閉館し、6月より段階的に再開。感染症対策を徹底するため、年間を通じて開館時間の短縮を継続したほか、館内が密になることを避けるための入館制限などを実施した。警戒レベルに合わせてイベントを中止・延期した。								
	達成状況の分析	コロナ禍においても開館継続することに重点を置き運営し、可能な範囲で児童の年齢層別イベント・講座や、子育て支援となる親子向け企画を立案、実施した。孤立しがちな環境下において多くの子ども達・保護者に利用してもらえた。ニーズを満たした点では順調。								
今後の取組	コロナ禍の新しい生活様式に即して安心して利用してもらえるように、衛生管理やイベントのあり方など運営見直しを継続的に行う。子どもの健全育成支援、親支援を継続的に行う拠点として運営する。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
ファミリー・サポート・センター利用件数 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		826件	870件	913件	957件	1,000件	1,000件	1,000件	
	実績値	783件	906件	1,120件	916件	1,107件	718件	603件		
	達成度		順調	順調	順調	順調	概ね順調	努力が必要		
	感染症の影響	感染対策の徹底による一般感染症の減少、感染拡大による利用控えなどによる利用減が影響した結果、目標値に対する達成度は「努力が必要」となった。								
	達成状況の分析	感染症拡大の影響により利用の減少はあるものの、保育園等の送迎、夜間等の緊急時の預かり、病児病後児の送迎などのニーズはあり、子育ての援助を受けたい人と、援助を行いたい人の会員相互扶助による子育て世代のサポートを行うことができた。								
今後の取組	働き方の多様化などを背景としたニーズの変化に対応できるよう、受託者と意見交換しながら、きめ細やかな会員相互扶助が行われるよう事業を実施する。様々なニーズに対応できる「まかせて会員」の確保に努める。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
病児病後児保育利用者数 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		400人/年度	400人/年度	400人/年度	400人/年度	400人/年度	400人/年度	400人/年度	
	実績値	427人	458人	430人	377人	479人	512人	158人		
	達成度		順調	順調	概ね順調	順調	順調	努力が必要		
	感染症の影響	感染対策の徹底による一般感染症の減少、感染拡大による利用控えなどによる利用減が影響した結果、目標値に対する達成度は「努力が必要」となった。								
	達成状況の分析	令和2年度に、更なる利用促進を図るために受入年齢を小学校3年生から小学校6年生に拡大した他、保護者に対する制度周知に尽力したものの、感染症の影響から利用者が減少した。								
今後の取組	引き続き保育園保護者連合会等からニーズを聞いたり、キッズケアルーム・スマイル職員と情報交換を行い事業の充実を図る。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
児童センターの運営 こども課	※感染症の影響については下線部 乳幼児親子イベント295回、全年齢イベント71回、保護者向けイベント9回 感染症対策により、イベント回数や定員を大幅に見直し、衛生管理・安全対策を徹底し実施	※感染症に起因する課題等については下線部 利用者のニーズを把握し、イベントや講座の企画運営に反映させる。また、親支援の観点から必要な企画を検討し、子育て支援機能を強化する。 感染症対策を最優先する必要がある。

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
異世代が交流できる「ふれあいの家」の運営 こども課	団体利用者数 2,352人(延べ442団体) 個人利用者数 128人 <u>感染症対策により、定員を見直し、衛生管理・安全対策を徹底し開館</u>	多様な世代の様々な人との関わりを通じて子どもの健やかな成長を促すという施設の設置目的に即した、世代間交流が図られる運営のあり方を検討する。 <u>感染症対策を最優先する必要がある。</u>
児童遊園の遊具の点検・整備の実施 こども課	全児童遊園の遊具等点検を行い、点検結果と地元区からの要望を総合的に検討し、安全面での優先度の高いものから遊具等の修繕、撤去を行った。	全児童遊園の遊具等点検を行い、点検結果と地元区からの要望を勧奨し安全管理に努める。
あゆステの運営 こども課	こども課(子育て支援係・発達支援室)と教育総務課(学務係)の2課3係で課をまたいで一体的に動ける人員体制として、12職種23名(兼務あり実数21名)で拠点を運営し、安心して子育てができる環境を向上させた。	各職種の専門性向上と、専門的職種の安定的確保が課題である。様々な機会をとらえて資質向上を図り、やりがいのある働きやすい職場環境を整え、人材確保に努める。
子育て情報の一元化 こども課	諏訪市ホームページの公開に合わせて子育てサイトを親しみやすくわかりやすいページにリニューアルした。令和3年4月1日より稼働。	子育てサイトで発信する情報の充実に努め、ページへのアクセス数などにより情報発信の有用性、利活用状況を把握できるようにする。
ファミリー・サポート事業の実施 こども課	会員数:新規会員29名、おねがい会員240名、まかせて会員80名、両方会員2名 活動件数:育児サポート599件、緊急サポート4件 <u>感染対策の徹底による一般感染症の減少、感染拡大による利用控えなどによる利用減が影響した。</u>	まかせて会員数が微減傾向にあるほか、多様なニーズに対応できる会員の養成が課題である。受託者と市が協働して会員拡充に向けた取り組みを進める。
放課後児童クラブの運営 教育総務課	放課後児童クラブを市内7小学校にて11クラブを運営 ・通常利用登録児童410人 ・長期休業日利用登録児童289人 合計699人(令和3年3月末)	利用児童が安心安全に過ごせるよう、また、適切な遊びや生活指導を行い、児童の健全な育成とともに、子育て支援が図られている。利用児童数及び配慮が必要な子の増加により、指導員体制を充実させる必要がある。クラブ室の安全対策及び環境整備を進める必要がある。
病児病後児保育事業 こども課	年間利用者は前年比大幅減の158人となった。受入年齢を小学校3年生から小学校6年生に拡大した。 <u>感染対策の徹底による一般感染症の減少、感染拡大による利用控えなどによる利用減が影響した。</u>	今後も安心して出産・子育てをできる環境を整備するために、保護者からの要望等を取り入れながら、引き続き病児病後児保育事業を運営していく。
乳幼児子育て学級の開催 生涯学習課(公民館)	<u>※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。</u>	・コロナ禍であっても、子育てをする人同士が情報交換や交流ができるよう感染対策を行い工夫をしながら講座を実施する。 ・地域の4条例館の子育て講座を充実させていく。
親子向け講座「enjoyサイエンス」の開催 生涯学習課(公民館)	【実績】5回開催 受講者22組 延44名 <u>※新型コロナウイルス感染症拡大のため10回のうち5回を中止。</u>	・諏訪市全域の小学生が参加しやすいよう、4条例館等も含め会場を分散させて講座を開催(H28年度～)。 ・また小学校にチラシ配布を依頼するなど広く周知し参加者の増につなげる。
託児サポート付講座の開催 生涯学習課(公民館)	子育て中の保護者の講座参加のため、講座受講者の託児サポートを無料実施。 【実績】利用者6組(一般講座2講座6組)	託児付講座について、募集チラシや新聞記事を通じて、託児サポート(無料)があることをPRし、子育て中の保護者が社会参加しやすい環境につなげる。
男のおもしろおはなし会の開催 生涯学習課(公民館)	【実績】なし <u>※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。</u>	市報やHPのほか、保育園、児童関係施設へ案内チラシを配布し、周知・宣伝を図る。
ファーストブック・セカンドブック(本のプレゼント)の実施 生涯学習課(図書館)	乳幼児とその親に本とのふれあいを働きかけるため、0歳児・3歳児の健診時に、絵本のプレゼントを実施。 【実績】 ファーストブック対象に対する配布率97.4% セカンドブック対象に対する配布率74.5%	健診未受診者に対しては、配布について図書館イベントの際やチラシ等とおして周知するよう努める。

3「子育てしたい！」希望をかなえる

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(2) 保育所の充実

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度	平成27年度 (基準値)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
保育所の待機児童数	目標値			0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実績値	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	達成度			順調	順調	順調	順調	順調	
【備考】 待機児童ゼロを堅持	感染症の影響								
	達成状況の分析	令和元年度に赤沼保育園に3歳未満児室を拡張整備して保育の受け皿を増やす取り組み等を進めた結果、待機児童ゼロを維持できた。しかし、3歳未満児の保育需要は増加傾向にあり、保育士確保の課題もあり年々達成が難しくなっている。							
	今後の取組	社会情勢の変容により今後も3歳未満児の保育需要が高まることが予想されるため、保育所の申込状況の動向を見極めつつ更なる保育士確保の検討を行う。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
延長保育や一時保育など地域子ども・子育て支援(特別保育)事業 こども課	3歳未満児の一時保育については本年度も2園(片羽、豊田)で実施している。幼保無償化により保育標準時間認定を受けた子どもは延長保育使用料が原則無償となり保護者の利便性の向上につながった。	・生活スタイルや価値観の多様化、働き方の見直しなどにより、さまざまな理由による一時保育などのニーズが増加している。 ・保育園保護者連合会とも協議を行い、新たにニーズに応えられる効果的な資源配分を検討する。
心身の発達に資する体験保育・交流保育の推進 こども課	市内保育園の統一的なテーマに「絵本の読み聞かせ」を掲げ、各園において実践の研究を進めた。その他、地域の方の協力を得ながら、地域資源を生かした体験保育、交流保育を推進した。	・令和3年度は、昨年度に引き続き、市内保育園の統一的なテーマを「絵本の読み聞かせ」に掲げ、各園での実践研究を進める。 ・保育協会が中心となり講師による講演を、新型コロナウイルス感染症予防を考慮し、オンライン又はDVD等の視聴により行う。
障がい児等に対する保育体制の整備 こども課	医療的ケアを要する児童を新たに保育園で受入を始めた。障がい等を有する子どもが増えているため、新たに障がい児等保育事業実施要綱を策定するとともに、加配・サポート保育士の配置基準目安を作成した。	障がい等を持つ子どもが、保育園での集団生活を通じ、自立した生活を送るために、障がい児等保育事業実施要綱に基づく体制の整備を進める。
保育人材の育成(質の向上) こども課	乳幼児保育の専門知識や幅広い教養、人権感覚を磨くために、保育所職員研修・啓発事業を行った。	園児の安全性向上のために必要な職員研修について、諏訪市保育協会と協働し実施を検討する。また実践研修の場を最大限生かし、OJTを活用した園内研修の充実を図る。
3歳未満児保育の受入体制確保 こども課	令和元年度に赤沼保育園を改修して、0・1・2歳の保育室を設置し、施設整備が完了したことから、引き続き、保育所の待機児童数ゼロを継続するために、保育士の確保に努めた。	今後も3歳未満児の保育需要は高まる傾向は続く中、保育士確保に努める中、新規に民間施設開所希望がある場合は対応を行う。
保育環境(規模・配置)適正化の推進 こども課	令和元年度に策定した、子どもの豊かな育ちのために多様な保育ニーズの提供にも対応するための基本方針「『ひろがる笑顔』ゆめ保育所プラン」の策定経過や内容を地域の方に知っていただくため、地区懇談会を7回実施した。	プランに基づき、各地区の住民や保護者等との懇談の機会を設け、保育・幼児教育サービス全体の充実を図り、安定的・持続的に展開できる保育行政を探る。
園舎の維持管理・環境整備 こども課	園庭固定遊具の年次更新を図るとともに、神戸保育園の門扉等改修、四賀・赤沼保育園の物置更新など各保育園の機能維持のための修繕を行い、保育環境向上のための整備を進めた。 調理員手洗器等自動水栓化工事、加湿空気清浄機購入、衛生用品の購入等	園庭固定遊具の年次更新、施設老朽箇所の修繕を進めるなど、安心して生活し、楽しく遊べる保育環境を整備するため工事・修繕や備品購入を行う。

3「子育てしたい！」希望をかなえる

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(3)子育ての経済的負担・精神的負担を軽減するサポート体制構築

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年 (基準値)	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年度 (当初目標値)	令和2年	令和3年 (目標値)	
出生数 【備考】 人口ビジョンをもとに出生数の減少抑制を目標に設定	目標値		427人(累計)	853人(累計)	1,280人(累計)	1,706人(累計)	2,133人(累計)	2,559人(累計)	2,985人(累計)	
	実績値	467人	458人(累計)	899人(累計)	1,296人(累計)	1,670人(累計)	2,045人(累計)	2,383人(累計)		
	達成度		順調	順調	順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調		
	感染症の影響	感染症拡大の影響もあり、結婚や出産という機会を控えようとする動きは全国的にある。また、令和3年については妊娠期が感染症拡大期となることから、更なる影響が想定される。								
	達成状況の分析	概ね順調とはなっているものの、出生数は減少傾向にある。								
今後の取組	市内で安心して子育てができる施策や事業の検討を進めるとともに、それを積極的にPRしていく。また、出産前後、その後の生活を含め定着してもらえる取組も必要となる。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
公立子育て支援センターでの相談件数 【備考】 R元年度以降上方修正した目標値を維持	目標値		500件	600件	600件	600件	700件	700件	700件	
	実績値	473件	611件	1,043件	1,254件	1,169件	919件	1,468件		
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	順調		
	感染症の影響	感染症の影響により子育て支援講座を一部中止とした。また、コロナ禍により家庭で一人で子育てするストレスや不安等に係る相談が増加した。								
	達成状況の分析	本事業が地域に定着してきており相談件数は目標値を上回っている。また、講座内容については、時宜に沿うものを選ぶように工夫しており、ニーズに対応できている。一方、保護者からの相談内容は年々複雑多様化している状況である。								
今後の取組	多様化する保護者ニーズにきめ細かく対応できるように、職員の相談スキル向上が必要であり、公立・私立間の交流や情報交換を行い支援体制の強化を図っていく。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
ひとり親世帯の就業支援による就業成立数 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		10件/年度	10件/年度	10件/年度	10件/年度	10件/年度	10件/年度	10件/年度	
	実績値	13件	6件	3件	4件	2件	2件	4件		
	達成度		概ね順調	努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要	努力が必要		
	感染症の影響	感染症拡大に伴う休業、営業自粛、営業時間短縮など、パートやアルバイトでの就労が多いひとり親への影響が拡大することが懸念された。								
	達成状況の分析	就業支援による就業成立件数は目標値を下回ったが、ひとり親に限定しない就業支援・相談の場が増えていることも要因である。各専門窓口と、就労安定に資する取り組みを連携し推進した。								
今後の取組	引き続き就業支援を行うとともに、高等職業訓練給付金など他の施策も活用しながら、ひとり親家庭の自立の生活安定につなげていく。感染症拡大の影響を受けやすいひとり親世帯の就労の安定に資する取り組みを継続する。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
福祉医療費の給付 市民課	乳幼児等、障がい者、母子・父子家庭の早期適切な受療と医療費の家計への負担軽減を図るため、福祉医療費給付事業を実施した。 <u>新型コロナウイルス感染症の感染の拡大の影響を受けて、医療機関での受診が控えられるとともに、ウイルスに対する感染予防対策により、インフルエンザ等の流行が抑えられたことが予想される。そのため、例年に比して給付額が減少した。</u>	新型コロナウイルス感染症の感染が拡大した令和2年度を除き、給付額は増加し続けている。適正な医療機関の受診による医療費の適正化について、啓発が必要である。
児童扶養手当の支給 こども課	受給者数 354人(R3.3月末) 支給総額 180,743,650円	国の制度に基づき適正に支給する。
巡回支援専門員の配置 こども課	発達支援を繋ぐための「子育て支援シート」を一部改訂し、あゆステが運営主体となって利活用を推進する体制を整備した。 子育て支援シート使用者数:320件	巡回支援専門員を中心に保育園・学校等における切れ目ない発達支援を推進する。そのツールとして子育て支援シートの利用促進や改善見直しを随時行い、関係分野の横断的な連携を強化する。
地域子育て支援センター こども課	公立子育て支援センターの相談件数は1,468件(実績値)となった。市全体の子育て支援センター機能強化のため、私立幼稚園も参画した公立・私立間の交流会を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児及びその保護者が相互に交流できる場を開設し、相談援助や子育て支援の情報提供を行う。 ・引き続き、相談支援のための専門職を配置するとともに、センター機能強化のため、公立・私立間の交流の機会の開催を継続するほか、情報発信強化に努める。
ひとり親家庭の支援 こども課	自立支援教育訓練給付件数:2件 児童扶養手当受給者数(R3.3月末):354人 ひとり親家庭等子ども支援給付金(市単):366世帯 ひとり親世帯臨時特別給付金(国施策) 基本給付(初回):419世帯 追加給付:149世帯 基本給付(再支給):419世帯	<ul style="list-style-type: none"> ・国の制度として適切に運用する。 ・<u>子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)(国施策)</u>を支給する。

4「学びたい、学ばせたい！」希望をかなえる

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(1)ものづくり教育を核としたキャリア教育の推進

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
「相手意識に立つものづくり科」アンケートで「ものづくりは楽しい」と答えた児童生徒の割合 【備考】 過去の実績から、諏訪市総合計画後期基本計画を超える目標値を設定	目標値		84.0%	85.5%	87.0%	88.5%	90.0%	93.5%	95.0%
	実績値	90.2%	92.4%	92.0%	92.0%	93.2%	93.4%	90.6%	
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	概ね順調	
	感染症の影響	令和2年度はコロナ禍の影響により、地元企業と協力して「ものづくり」を学ぶ「地域密着型ものづくり講座」及び、ものづくり教育で児童生徒が制作した作品を販売する「チャレンジショップ」が中止になった。							
「相手意識に立つものづくり科」アンケートで「将来社会へ出たら必要な力や大切なことがわかりました」と答えた児童生徒の割合 【備考】 計画当初の目標値伸び率を維持	目標値		80.3%	81.5%	82.6%	83.8%	85.0%	86.2%	87.4%
	実績値	79.1%	80.8%	80.4%	80.6%	78.6%	84.7%	74.8%	
	達成度		順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	
	感染症の影響	令和2年度はコロナ禍の影響により、地元企業と協力して「ものづくり」を学ぶ「地域密着型ものづくり講座」及び、ものづくり教育で児童生徒が制作した作品を販売する「チャレンジショップ」が中止になったことにより現場での実体験を経験することができなかったことが影響していると考えられる。							
達成状況の分析	地域密着型ものづくり講座で、働く人々の姿に直接触れることで、ものづくりの大切さや働くことの意味などについて学ぶことができ、大事なキャリア教育の一つでもあり、郷土諏訪の良さを理解するうえでも貴重な「ふるさと学習」となっている。※R2年度は相手意識に立つものづくり科の授業のみ実施。								
今後の取組	引き続き企業・行政・教育の3者が協力し、一体となり、時計づくりや地域密着型ものづくり講座を連携して推進する。								

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
教育振興基本計画の策定 教育総務課	諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる「安心して子育てができる環境整備」、「ものづくり教育を核としたキャリア教育の推進」、及び「子どもから大人まで生涯学べる環境整備」などの具体的な活動計画(平成30年度～令和4年度)を策定している。	今後、令和5年度に向けた改訂作業を進める中で、 <u>新型コロナウイルス感染症対応や社会情勢の変化への柔軟な対応が求められること</u> 、また、策定した計画の進行管理が必要である。
地域密着型ものづくり講座の実施 教育総務課	「相手意識に立つものづくり科」アンケートで「ものづくりは楽しい」と答えた児童生徒の割合【目標値】93.5%【令和2年実績値】90.6% 同アンケートで「社会に出たら必要になる力・考え方、大切なことなどがわかった」と答えた児童生徒の割合【令和元年度実績】74.8% 令和2年度はコロナ禍の影響により、「地域密着型ものづくり講座」及び、「チャレンジショップ」が中止になったことにより現場での実体験を経験することができなかったことが実績値を大きく下げる要因になったと考えられる。	今後も「相手意識に立つものづくり科」の充実により、ものづくりを活用しながら、豊かな心情を養い、 <u>将来の地域産業を担う意欲を醸成していくが、新型コロナウイルスの影響が続くと想定される中、違った形での取り組みを検討する必要がある。</u>

令和3年度 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略【三之柱】効果検証シート②

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
チャレンジショップの開催 教育総務課	相手意識に立つものづくり科授業の中で、チャレンジショップへの出展作品を制作することができた。 <u>コロナ禍の影響により、チャレンジショップは中止となったが、各校保護者などを対象とした小規模の販売を実施した。</u>	「相手意識に立つ」ことを生かした学習により、他者への思いやりの気持ちや人とのコミュニケーション能力をさらに養う。

4「学びたい、学ばせたい！」希望をかなえる

達成度の目安

- 順調：目標値以上
- 概ね順調：80%以上100%未満
- 努力が必要：80%未満
- 実績値なし：当該年度の実績値なし

(2)国際理解教育や情報教育、地域学習などの推進

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
国際理解教育年間授業時間数(小学校各学校あたり) 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		50時間	50時間	50時間	50時間	105時間	105時間	105時間	
	実績値	50時間	50時間	50時間	105時間	105時間	103時間	88時間		
	達成度		概ね順調	概ね順調	順調	順調	概ね順調	概ね順調		
	感染症の影響	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一定期間市内全小中学校において、臨時休業にしたことから国の示す方針に沿った授業時間数の確保ができなかった。								
	達成状況の分析	外国語指導講師(ALT)4名が全小学校を巡回し、担任とALTが授業を進める場面では、会話やゲームを通して児童が英語に慣れ親しむことができた。								
今後の取組	令和2年度からの小学校5・6年生の英語教育教科化に伴い、5・6年生は「読む・書く」の指導を段階的に行い、3・4年生は「聞く・話す」を中心とした外国語活動を推進する。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
蓼科保養学園入園児童数 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		150人/年度	150人/年度	150人/年度	150人/年度	150人/年度	150人/年度	150人/年度	
	実績値	149人	125人	135人	144人	136人	148人	82人		
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要		
	感染症の影響	感染症拡大防止の観点から、第1期(4~6月)を休園。感染症対策の徹底を図るとともに、入園期間及び定員を減じた新たな日程により再開した。年末年始にかけた感染拡大状況から冬季(第4期)は休園とした。								
	達成状況の分析	コロナ禍や第4期休園等により達成度は5割強に留まったが、学園生活を体験したことのある保護者等を中心として一定のニーズはあり、入園児童が長期宿泊体験を通じて獲得する成果・効果に期待する者は多い。								
今後の取組	令和3年度はコロナ禍を踏まえ年間を通じ休園。感染状況を注視しながら、令和4年度以降の運営について検討する必要がある。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
国際理解・外国語教育の推進 教育総務課	※感染症の影響については下線部 国際理解教育年間授業時間数目標値(小学校各学校あたり)100時間 【内訳】3・4年生：30時間 5・6年生：70時間 令和2年度計画時間：105時間 実績88時間 【内訳】3・4年生：35時間 30時間 5・6年生：70時間 58時間	※感染症に起因する課題等については下線部 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一定期間市内全小中学校において、臨時休業にしたことから国の示す方針に沿った授業時間数の確保ができなかった。 ・現状外国語活動指導助手が授業に関わる時間数は3・4年生で15時間、5・6年生で35時間である。令和2年度の小学校5・6年生における英語教育の教科化に伴い、英語力の向上を図るため、外国語活動指導助手の配置時間数を増やす必要がある。
	蓼科保養学園の運営 こども課	入園児童者数目標値：150人/年度 (当初申込者数145人 目標値に対し96.7%) <u>コロナ禍や第4期休園等により達成度は5割強に留まった。</u> 実績 1~3期 82人 達成率54.7%
未来創造ゆめスクールプラン事業 教育総務課	令和3年4月の城北小学校と高島小学校の再編統合と上諏訪中学校との小中一貫教育開始を目指して、地域住民や保護者を含めた学校再編推進委員会による学校再編に向けた具体的な協議・調整を行った。推進委員会は6回開催。	上諏訪小学校と上諏訪中学校との小中一貫教育における児童・生徒の様子を観察、学習に対する評価、全体的な評価・成果を検証するとともに次期の再編の準備に着手する。

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
<p>新体験学習プログラムの研究と実践</p> <p>教育総務課・こども課</p>	<p>先導的実践研究等の成果を参考にしながら学園の特長を生かした体験プログラムを計画したものの、<u>コロナ禍の下、入園期間の短縮や感染症対策に伴い、プログラムは休止した。</u></p>	<p>令和3年度はコロナ禍を踏まえ年間を通じ休園。感染状況を注視しながら、令和4年度以降の運営について検討する必要がある。</p>
<p>長期宿泊体験が心の成長に及ぼす効果検証(「心の成長」測定)</p> <p>教育総務課・こども課</p>	<p>70日間の学園生活が児童の心の成長・生きる力に及ぼす影響、効果について教育的見地から検証されてきた。引き続き70日間の運営を計画したものの、<u>コロナ禍の下、入園期間は35日間に短縮。期間は短くなったものの、児童の成長が確認された。</u></p>	<p>令和3年度はコロナ禍を踏まえ年間を通じ休園。感染状況を注視しながら、令和4年度以降の運営について検討する必要がある。</p>

4「学びたい、学ばせたい！」希望をかなえる

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(3) 特別な支援が必要な子どもたちへの支援

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
教育相談終結件数	目標値		130件	130件	130件	130件	130件	130件	130件
	実績値	116件	120件	108件	127件	107件	108件	105件	
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	
【備考】 計画当初の目標値を維持	感染症の影響	休校の影響により、例年は年2回行う学校訪問が1回となったが、個別相談を行うことで相談件数への影響は出なかった。							
	達成状況の分析	発達障がいなどに伴う就学相談や不登校、いじめ、家庭環境の問題等による学校生活の不応やその傾向にある児童・生徒の課題が深刻化・長期化している傾向にある。							
	今後の取組	相談内容が複雑化・多様化しているケースが増えてきているため、子ども家庭総合支援拠点(すわ☆あゆみステーション)と連携し早めの教育相談に繋げ、医療・福祉などの関係機関と連携した早期の対応、支援することが必要である。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)		課題と対応(令和3年度以降)	
	※感染症の影響については下線部		※感染症に起因する課題等については下線部	
小中学校の不登校児童・生徒の支援 教育総務課	子どもや保護者との面談・支援会議回数 178件 学校や関係機関等との連絡調整回数 255件		児童生徒の学校不応や情緒不安の要因として、家庭内の養育環境に起因しているケースが増えている傾向がある。学校教職員が家庭内の課題に直接介入することは限界があり、スクールソーシャルワーカーを配置し、学校と家庭、地域、関係機関の連携により児童生徒を中心とした支援体制の強化を図る。	
中間教室の設置 教育総務課	中間教室の開室日数 225日 児童・生徒の通室日数延べ 566日		<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校へ登校できない児童・生徒にとって安心できる屋間の居場所であり、学習機会を確保する重要な場所である。 ・個々の児童・生徒に寄り添いながら学校復帰を促す機能の充実が必要である。 	
教育相談員の配置 教育総務課	単年度の教育相談の延べ回数 283回 " 終結件数 105件		発達に課題を抱える子どもや保護者への各種支援は学校だけの課題ではなく、幼児期から学童期を経て社会人に至るまでの一貫した支援が必要であり、各関係機関の情報を一本化し各ライフステージに適した支援を継続的に提供することで、社会に適応でき、地域に貢献できる社会人を育てる。	
学習支援員・自立生活支援員の配置 教育総務課	学習支援員 小学校7名 勤務実績 7,053時間 中学校4名 " 4,017時間 自立生活支援員 小学校17名 " 13,272時間 中学校11名 " 8,762時間		増加傾向にある発達障がいの児童生徒や校内生活における支援が必要な児童生徒一人ひとりに対して、学習支援員や自立生活支援員を市内小中学校に配置することで、きめ細やかな学校生活や学習活動の支援を継続して行う。	

5「働き続けたい！」希望をかなえる

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(1) 多様な就労形態、育児休業の取得促進

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度	平成27年度 (基準値)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (目標値)	令和2年度	令和3年 (目標値)	
「くるみん」認定企業数 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値			1事業所	2事業所	2事業所	3事業所	3事業所	3事業所	
	実績値	-	1事業所	1事業所	2事業所	3事業所	3事業所	3事業所		
	達成度			順調	順調	順調	順調	順調		
	感染症の影響	目標値は達成したが、審査が厳しく認定取得のハードルが非常に高いため、多くの企業が取得することは難しい。								
	達成状況の分析									
今後の取組	引き続き、比較的規模の大きな企業を中心に広くPRしていく。									
KPI	項目	平成26年度	平成27年度 (基準値)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (目標値)	令和2年度	令和3年 (目標値)	
「社員の子育て応援宣言！」登録企業数 【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	目標値			31事業所	40事業所	50事業所	60事業所	100事業所	100事業所	
	実績値	-	23事業所	96事業所	108事業所	109事業所	109事業所	101事業所		
	達成度			順調	順調	順調	順調	順調		
	感染症の影響	市内企業PRした結果、平成27年度(基準値)より大幅に増加し目標値を達成している。最近の状況を見ると、取得する企業は一通り取得してしまった感があるので、今後は今の水準をいかに維持するかが課題である。								
	達成状況の分析									
今後の取組	宣言で終了ではなく、次のステップである「職場いきいきアドバンスカンパニー」の認証に繋がってもらえるように支援していく。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
子育て企業サポート事業 商工課	社員の子育て制度の充実を推進し、従業員の安定的な雇用・定着を図るため、くるみん認定・職場いきいきアドバンスカンパニー認証を受けた企業に奨励金を交付。 【実績】奨励金交付 くるみん認定: 0件、職場いきいきアドバンスカンパニー認証: 0件	※感染症の影響については下線部 ※感染症に起因する課題等については下線部 引き続き市内事業所の子育て制度の充実を推進するが、子育て支援を内包したSDGsへ取り組んだ企業への支援に切り替えていく。
子育て女性の雇用の確保 商工課	平成29年度に子育て中の女性の常時雇用に対し雇用した事業主に奨励金を交付する制度を新設し、30年度から申請に基づき交付を開始。 【実績】奨励金交付 9件	女性が子育てしながら働き続けることができる社会をめざし、雇用の創出を図る企業を支援する制度の新設。令和2年度から補助対象要件を拡充し、フルタイムに加えパートタイムも対象としている。

5「働き続けたい！」希望をかなえる

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(2) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
「ワーク・ライフ・バランス」啓発のための講座・講演会参加者数	目標値		120人	140人	160人	180人	200人	200人	200人
	実績値	100人	292人	165人	101人	155人	127人	-	
	達成度		順調	順調	努力が必要	概ね順調	努力が必要	実績値なし	
	【備考】 計画当初の目標値を維持	感染症の影響	コロナウイルス感染症の影響により「ともに生きる諏訪セミナー」や「ともに生きる諏訪市民大会」が中止となった。						
	達成状況の分析	コロナウイルス感染症の影響により「ともに生きる諏訪セミナー」や「ともに生きる諏訪市民大会」が中止となった。							
	今後の取組	「いきいき市民推進チーム☆輝くSUWA」等の市民団体と協力し、引き続き、男女共同参画社会の推進に向けた取り組みを実施する。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
男女共同参画推進事業 地域戦略・男女共同参画課	<u>コロナウイルス感染症の影響により「ともに生きる諏訪セミナー」や「ともに生きる諏訪市民大会」が中止となった。</u>	市民団体と協働し、継続的に啓発活動を行うことにより子育て世代のワーク・ライフ・バランスの実現や、女性活躍推進を積極的に啓発していく。

四之柱 誰もが安全・安心・安定して暮らせる、「個性」が輝く「まち」の創生

基本目標

諏訪市の特色を最大限に活用した「暮らし」の充実により、住み慣れた地域で、健康的に自分らしい生活を送ることができる「まち」の創生を目指します。

達成度の目安

○順調: 目標値以上

○概ね順調: 80%以上100%未満

○努力が必要: 80%未満

○実績値なし: 当該年度の実績値なし

【数値目標の進捗状況】

数値目標	項目	平成27年 (基準値)	平成28年調査	平成29年調査	平成30年調査	令和元年調査	令和2年調査 (当初目標値)	令和3年調査	令和4年調査 (目標値)
防災対策に対する 市民満足度	目標値		向上	向上	向上	向上	向上	向上	向上
	実績値	3.16	3.09	3.09	3.16	3.33	3.30	3.31	
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	順調	概ね順調	順調	
【備考】 基準値を上回ることを目標 に設定									
数値目標	項目	平成27年 (基準値)	平成28年調査	平成29年調査	平成30年調査	令和元年調査	令和2年調査 (当初目標値)	令和3年調査	令和4年調査 (目標値)
健康づくりに対する 市民満足度	目標値		向上	向上	向上	向上	向上	向上	向上
	実績値	3.31	3.27	3.30	3.29	3.41	3.27	3.23	
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	順調	概ね順調	概ね順調	
【備考】 基準値を上回ることを目標 に設定									
数値目標	項目	平成27年 (基準値)	平成28年調査	平成29年調査	平成30年調査	令和元年調査	令和2年調査 (当初目標値)	令和3年調査	令和4年調査 (目標値)
生涯学習に対する 市民満足度	目標値		向上	向上	向上	向上	向上	向上	向上
	実績値	3.11	3.18	3.20	3.26	3.25	3.16	3.22	
	達成度		順調	順調	順調	概ね順調	概ね順調	順調	
【備考】 基準値を上回ることを目標 に設定									

【総合分析】

数値目標に対する新型コロナウイルス感染症の影響
<p>○防災対策の強化、地域防災の充実 市地震総合防災訓練は大人数が集まる開催を中止し、避難所4か所に絞った開設運営訓練及び災害対策本部における状況付与型図上訓練となった。</p> <p>○市民参加のまちづくり推進、コミュニティの活性化 すわまちクラブが開館できない状況であった。また、出前講座についても開催回数が減少した。</p> <p>○賑わいのあるまちの形成 すわっちゃオは休館や営業時間短縮、施設貸出停止、利用人数制限、不特定多数の来館者が見込まれるイベント・講演会の利用制限などにより利用者数は大幅な減少となり、施設運営に大きな影響があった。</p> <p>○地域公共交通網が確保された利便性の高い交通環境整備 外出自粛の影響もありかりんちゃんバスの利用が低迷。</p> <p>○快適な生活環境の維持保全 春の一斉清掃、ヒシ除去作業、霧ヶ峰草原再生作業は中止または広く参加者を募れず参加者は大幅に減少した。</p> <p>○健康づくりの推進による健康寿命延伸 すわっランドは2カ月間臨時休館となり、営業再開後もイベントや積極的な誘客事業が行えず来場者が減少した。特定健診は期間を2カ月延長し、受診者の分散化を図るとともに、40歳50歳代の受診勧奨を中止とした。</p> <p>○持続可能な地域医療の実現 受診控えからか利用が大幅に減少した。</p> <p>○子どもから大人まで生涯学べる環境整備、諏訪市の自然や歴史文化に触れる機会の創出 生涯学習課及びスポーツ課主催講座や教室は中止などの対応をした。また、スポーツ施設、生涯学習施設ともに利用者数は激減した。</p>

四之柱 誰もが安全・安心・安定して暮らせる、「個性」が輝く「まち」の創生

基本目標

【総合分析】

基本目標の達成に寄与した取組成果
<p>○公共施設やインフラなどの既存ストックの計画的な維持管理 令和2年度は、大規模な減少施設はなかったが、毎年着実に公共施設の総延床面積の削減が進んでいる。</p> <p>○住み慣れた地域で暮らし続けるための介護予防、介護サービスの推進 地元企業の従業員を対象とした8回の認知症サポーター養成講座を開催し、572人が講座を受講。認知症への関心が高まっている傾向にあり、理解、啓発を図るとともに、地域での支援の方法を周知することができた。また、後期高齢者の要介護認定者数は増加しているが、全体ではほぼ横ばいに抑えられている。</p>
基本目標の達成に向けた今後の方向性
<p>○防災対策の強化、地域防災の充実 防災訓練を児童生徒に対する防災教育の一環としての取り組みを継続していく。課題となっている避難所開設運営について、福祉避難所等との連携を含めた体制整備や課題整理を行う。また、樹種防災組織が組織化されていない地区に対して、今後も引き続き組織化に向けた働きかけを実施していく。</p> <p>○市民参加のまちづくり推進、コミュニティの活性化 出前講座は、市民目線の講座内容への見直し等を毎年各課へ依頼し、広報紙等に掲載し活用促進を図る。</p> <p>○子どもから大人まで、生涯学べる環境整備 コロナ禍における講座開催の方法についてさらに研究・検討していくとともに、地域課題解決につながる講座を取り入れ、受講者が地域で主体的に活動するための取り組みを研究する。</p> <p>○諏訪市の自然や歴史文化に触れる機会の創出 オンラインフォーラムや少人数向け講座の開催等、人を集めなくても開催でき、かつ効果的な事業を模索、検討するとともに、引き続き、館外収蔵施設の集約化に向け、収蔵品の調査・整理・保存・活用や情報公開について重点的に取り組む。</p>

1 安全・安心な「暮らし」

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(1) 防災対策の強化、地域防災の充実

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
市地震総合防災訓練への参加者数 【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	目標値		10,443人	10,557人	10,672人	10,786人	10,900人	11,430人	11,960人	
	実績値	10,329人	-	10,628人	10,639人	11,630人	10,046人	6,058人		
	達成度		実績値なし	順調	概ね順調	順調	概ね順調	概ね順調		
	感染症の影響	大人数が集まる従来の市主催総合訓練は見送らざるを得ず、避難所4か所に絞った開設運営訓練及び災害対策本部における状況付与型図上訓練に取り組んだ。各地区では3密を避けた形式で避難訓練に取り組んだ。								
	達成状況の分析	目標値である防災訓練への参加人数には到達しなかったが、コロナ禍に対応した避難所開設訓練に取り組み、職員体制の確認や課題の洗い出しを行うなど一定の成果を得た。								
今後の取組	コロナ禍に対応した訓練内容を計画するとともに、主会場となる学校の児童生徒には主体的な参加を促し、防災教育の一環として取り組みを継続していく。課題となっている避難所開設運営について、福祉避難所等との連携を含めた体制整備や課題整理を行う。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
自主防災組織の組織率 【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	目標値		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	実績値	91.3%	92.4%	94.5%	94.5%	95.6%	95.6%	95.6%		
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調		
	感染症の影響	新型コロナウイルス感染症による大きな影響は受けなかった。								
	達成状況の分析	自主防災組織は、市内91地区のうち87地区で組織されており、組織率は95.6%であり概ね順調である。								
今後の取組	組織化されていない地区は、自治会としての組織が無かったり、山間地で極端に世帯及び区民数が少ない等の事情があり、自主防災組織の組織化が困難な地区ではあるが、今後も引き続き組織化に向けた働きかけを実施していく。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
防災気象情報システムの整備 危機管理室	※感染症の影響については下線部 気象情報を配信し災害対策への活用を図る。 【実績】インターネット、LCV行政チャンネルにより防災気象情報の配信 365日	※感染症に起因する課題等については下線部 市内雨量計による雨量・気温データの収集・雨量予測・天気予想を行っており、その気象情報をHPや行政チャンネル、パソコン、外出先でも気象情報を取得できるよう、スマートフォン配信により、情報提供している。今後も多くの方の利用に供するため周知を進める。
災害時のための防災資機材や非常食等の備蓄 危機管理室	避難所開設のための防災資機材の整備や災害医療を行うための医薬品の確保。 <u>新型コロナ禍に対応した感染症対策用品も整備を行った。</u>	最新の防災資機材の情報収集や、計画的な資機材の更新を行う。 <u>新型コロナ禍に対応した感染症対策用品も継続して配備する。</u>
防災メール配信システムの整備 危機管理室	住民への防災情報等を登録制メールで配信。 【実績】登録制メール登録者数8,762人(R3.3末)	登録制メールの登録者数を増加するため、保育園、小、中学校の新入保護者に対し、メール登録の依頼を行う。
出前講座の開催 危機管理室	防災啓発事業を通じ市民の地震対策意識の高揚を図る。 <u>新型コロナの影響により、出前講座を一部見直し実施した。</u> 【実績】出前講座 7回(区3、団体4)	出前講座の開催に向け、広報すわ等を活用し、広くPRを行う。 <u>大勢が集まって行う「避難所運営ゲーム(HUG)」等の出前講座は、新型コロナ対策として当面見合わせる。</u>

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
自主防災組織防災資機材整備費補助金の交付 危機管理室	自主防災組織における防災資機材整備費の補助 【実績】防災資機材等24地区	同補助制度を継続的に実施し、各自主防災組織の防災力向上を図る。
河川改修や水路整備の実施 建設課	市内各地区の浸水対策のため、効果的な道路嵩上げや、河川、水路改修工事を実施した。 【実績】河川改良工事 6箇所	・継続的に自然災害防止事業債を活用し整備を実施する。また、地区要望箇所については、損傷度や緊急性・優先性を考慮し、地元協議が整った箇所から整備を実施する。 ・令和3年8月・9月大雨災害対応を踏まえ、浸水区域における水路整備を検討し実施していく。
自主防災組織活動支援事業 危機管理室	地域防災の担い手となる防災士の資格取得の促進するための補助 【実績】補助金対象者 12人	同補助制度を継続的に実施し、地域防災力の向上を図る。
内水排除施設維持管理の促進及び修繕の早期対応 建設課	市の平坦部は、河川水位に比べ土地の低い地域となっているため、市内44か所のポンプ施設を地区の運営・協力により内水排除を行い冠水を防いでいる。局地的豪雨にも対応できるように、ポンプの稼働状態を保持するための点検・管理並びに故障の場合は緊急の修繕を行った。	・設備の修繕等、人件費及び経費の高騰も今後の課題になっていく、区内水路等の改修・維持も伴わなくてはならない。 地区による運営も水害の大きな防御となり、地区協働による地域の協力が力強い助けとなっている。 ・令和3年8月・9月大雨災害対応を踏まえ、浸水区域における内水排除ポンプの新設及び増設を検討していく。
消防団の活動支援・団員の確保 消防庶務課	消防団員の条例定数を改正し、分団運営費の拡充を図り、装備品の分団選択制による品目を拡充したことで、更に安全の確保が図れた。 <u>また、各種訓練、講習会、ポンプ操法大会、催事等は、感染症の影響により、中止や大幅な規模の縮小、自粛となった。</u>	・近年は消防団員の減少が課題となっているため、引き続き消防団員の負担軽減を図ると共に、機能別団員制度を活用した入団を促進していく。 ・ <u>また、感染症の影響により、団全体の出勤数の低下が見られ、各地区の協力を得て実施していた消防団員の勧誘も、大幅な自粛となる。</u>
小型ポンプ積載車等、資機材の更新・維持 消防庶務課	市内32台の小型ポンプ積載車のうち、2台の更新に対して、室内4名以上乗車対応のできる車両の上限170万円の補助を実施することができた。	予算執行が平準化するように、事前に地区の状況等を考慮し、更新予定を把握しながら調整していく必要がある。車両については、消防団や消防委員会が推奨している、4名以上が乗車できるタイプを引き続き依頼していく。
消防小型ポンプの更新に係る支援 消防庶務課	令和2年度は、1台の消防小型ポンプの更新に対して、上限の60万円の補助を実施することができた。更新地区は、榑町区となった。	同年に多数の更新とならないように、事前に地区の状況等を考慮し、更新予定を把握しながら調整していく必要がある。
消火栓の新設・移設・修繕 消防庶務課	令和2年度は、消火栓の移設新設が14基、嵩上げ4基となり、計画分をすべて実施することができた。	水道管の布設替えに伴う移設新設事業で、状況により消火栓の移設新設の数が変わる事が有り、老朽化した消火栓の修理も増加傾向となっている。引き続き、条件が整う箇所については、地下式から立ち上がり式へ調整していく。
耐震診断ローラー作戦の実施、耐震改修メニューの拡充 都市計画課	耐震診断に係る戸別訪問は、 <u>新型コロナ対応により個別訪問を控え、代替策としてポストインを実施。</u> 諏訪市住宅耐震化緊急促進アクションプログラムにより住宅改修の補助率向上(1/2→4/5)を図った。	耐震診断が未実施である住宅の掘り起こしを目的とした戸別訪問(ローラー作戦)等の継続

1 安全・安心な「暮らし」

(2) 誰もが安心して自分らしく暮らすことができる支援

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
ボランティア登録者率	目標値		11.3%	11.3%	11.3%	11.3%	11.3%	11.5%	20.0%	
	実績値	10.6%	11.2%	12.8%	9.6%	15.8%	18.6%	11.6%		
	達成度		概ね順調	順調	概ね順調	順調	順調	順調		
	感染症の影響	目標値は達成されたものの、令和元年度に比して、ボランティア登録者数は40%弱の減少となった。								
	達成状況の分析	平成30年度から毎月3回実施している「初めてのボランティア説明会」をきっかけに、団体だけでなく個人でもボランティア登録してもらえるような仕組みを整えたことが、目標の達成につながっている。								
【備考】 計画当初の基準を維持	今後の取組	引き続き目標値を維持できるよう、活動者からの様々なニーズへの対応や、情報発信を積極的に行っていく。								
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
障がい福祉サービス 利用計画作成率	目標値		88.2%	91.1%	94.1%	97.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	実績値	85.2%	96.3%	99.7%	99.6%	99.6%	100.0%	100.0%		
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	順調		
	感染症の影響									
	【備考】 計画当初の目標値を維持	達成状況の分析	障がい福祉サービス等受給者数: 340人 計画作成済み人数: 340人 作成率: 100% 障がい児通所支援受給者数: 120人 計画作成済み人数: 120人 作成率: 100%							
	今後の取組	障がい福祉サービス利用計画作成率100%を維持するとともに、基幹相談支援センター(オアシス)及び諏訪地域障がい福祉自立支援協議会との協働によりサービス利用計画の質の向上に努める。								

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
地域福祉推進事業 社会福祉課	地域福祉座談会、福祉団体との懇談会、市民アンケート等を踏まえ、平成30年度に策定した「地域福祉計画・地域福祉活動計画」を平成31年度より推進している。各福祉団体、地区社協役員に地域福祉計画推進協議会へ出席いただく中で、進捗状況や課題を共有し、地域福祉の推進が図られている。	※感染症の影響については下線部 ※感染症に起因する課題等については下線部 地域に行ける人材の発掘や育成を推進していくとともに、今後は地域福祉計画推進協議会の充実を図り、諏訪市総合計画や個別計画の数値目標を参考にしながら評価を実施し、その結果を活用してPDCAサイクルによる地域福祉の進行管理を行っていく。
社会福祉協議会の活動支援 社会福祉課	小地域支え合い活動を中心とした地域福祉活動について、R2年度は2地区で活動が展開されている。社協が地域に向いて専門的知識や技能を生かした講座や実習を実施する等、日頃から支え合いのできる地域の仕組みづくりが進められている。	引き続き、地域の困りごとやニーズ、地域における様々な資源を関係者間で共有しながら、誰もが安心して暮らせる地域づくりのための支援を行っていく。

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
<p>ボランティア・市民活動センターによる活動支援</p> <p>社会福祉課</p>	<p>活動支援、きっかけづくり、情報発信、相談を重点に置き、諏訪市地域福祉計画・地域福祉活動計画の内容に沿った事業展開を意識しながら、ボランティア・市民活動の発展と、活動者のすそ野を広げる取組みを進めた。<u>なお、4/5から5/31まで市の施設の休館に合わせた休館対応を行ったが、6/1からは感染対策を講じボランティアスペースを開放した。</u></p>	<p>R2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止や延期対応となる事業が多かった。ピースマスクプロジェクトやペンフレズなどの新たな取組みも生まれたが、今後も社会情勢を踏まえた取組みが活発に行えるよう、情報収集等に励むとともに地域からの声も大切にしていける。</p>
<p>障がい者(児)福祉計画の策定</p> <p>社会福祉課</p>	<p>障がい者福祉に関するアンケート調査 回収率:45.5% 障がい者福祉計画策定委員会 開催回数:3回</p>	<p>諏訪地域障がい福祉自立支援協議会において、圏域内の他市町村とも比較する中で計画の進行管理を行う。</p>
<p>障がい者自立支援センターの運営</p> <p>社会福祉課</p>	<p>諏訪市障がい者自立支援センター(オアシス)の利用状況 ・開館日数 293日 ・相談者数 4,189人(うち諏訪市1,647人)</p>	<p>国から設置が求められている、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築及や重層的支援体制の構築等の新たな課題に対応するため、センター職員の定着や専門性の向上が欠かせない。</p>
<p>障がいのある人の福祉サービス利用支援</p> <p>社会福祉課</p>	<p>サービス利用者に対する計画相談実績(目標達成) ・障害者総合支援法分:100% ・児童福祉法分 :100%</p>	<p>・サービス新規利用者に対しては、サービスの利用手順を説明するとともに、計画作成後のサービス利用を徹底する。 ・計画相談員が諏訪圏域全体で不足する中、支給更新期間の分散化など、計画作成が効率的に進む体制が望まれる。</p>
<p>障がい者の地域生活支援</p> <p>社会福祉課</p>	<p>地域特性や利用者の状況に応じた多様なサービスを提供している。</p>	<p>諏訪地域障がい福祉自立支援協議会との協働により、障がいの特性や生活の状況に応じた支援の在り方について検討を進める。</p>
<p>災害時に備えた地域での支援体制づくり</p> <p>社会福祉課</p>	<p>民生委員・児童委員の協力をいただき、要援護者登録台帳の更新を実施。災害時要援護者リストを作成して区長及び諏訪警察署、諏訪消防署、諏訪市社会福祉協議会に配布 ・対象者:高齢者ひとり暮らし、障がい者等1,583名</p>	<p>個人情報に配慮しつつ、リストを活用して「地域支え合いマップ」の作成等、各地区の実情に応じた災害時に備えた体制づくりを進める。</p>
<p>生活困窮者相談窓口を設置</p> <p>社会福祉課</p>	<p>生活困窮者自立支援事業により、直営の相談窓口「まいさば諏訪市」において、相談支援員3名により相談者に寄り添った支援を行ってきた。<u>新型コロナ感染症の影響により、相談者が例年の3倍弱と急増した。</u></p>	<p>発達障害、ひきこもりなど、専門分野の支援が必要な相談が増えてきており、継続雇用による経験値の高い相談員の確保が必要。令和3年度より生活困窮者自立支援事業「まいさば諏訪市」の運営を社会福祉協議会へ委託し、相談支援体制の充実、相談支援員の確保と資質向上を図る。また、庁内関係課所との連携を維持するため、引き続き庁内へ設置する。</p>
<p>生活困窮家庭の食料確保</p> <p>社会福祉課</p>	<p>家庭で余っている食料品を持ち寄って、生活に困窮する家庭や福祉団体などに寄付する「フードドライブ」を開催。<u>新型コロナ感染症の影響により、例年、年3～4回開催していたが、令和2年度は1回の開催となった。</u></p>	<p>長野県でも同様の取り組みを行っており、共同開催するなど、連携していく。</p>

2 みんなで支えあう「暮らし」

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(1) 市民参加のまちづくり推進、コミュニティの活性化

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (基準値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
区・自治会の加入率 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値				93.0%	93.0%	93.0%	93.0%	93.0%
	実績値			92.6%	89.6%	87.2%	87.8%	86.8%	
	達成度				概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	
	感染症の影響								
	達成状況の分析	区・自治会加入率達成度は概ね順調であるが、実測値は毎年微減となっている。							
	今後の取組	加入促進チラシ配付や加入促進マニュアルの配付など、引き続き区・自治会加入促進の取組みを継続していく。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
外部評価制度の導入 【備考】 事務事業評価導入した外部評価制度を運用実施する	目標値		検討	導入(試行)	導入(実施)	実施	実施	実施	実施
	実績値	-	検討	導入(試行)	導入(実施)	実施	実施	実施	
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	順調	
	感染症の影響	新型コロナウイルス感染症の影響により、外部評価委員会が延期となり、行政評価確定前に実施できなかった。							
	達成状況の分析	行政評価に反映することはできなかったが、外部評価として意見をいただき、次年度の実施計画や予算編成に反映することはできた。							
	今後の取組	引き続き、外部評価を実施するが、第六次諏訪市総合計画の評価においては、簡素化を前提にあり方を見直す。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
すわまちらぶ来館者数 【備考】 H29年度以降上方修正した目標値を維持	目標値		2,800人	2,800人	3,600人	3,600人	3,600人	3,600人	3,600人
	実績値	1,871人	3,375人	3,370人	3,045人	2,668人	3,107人	122人	
	達成度		順調	順調	概ね順調	努力が必要	概ね順調	努力が必要	
	感染症の影響	新型コロナウイルス感染症が大きく影響し、開館できなかった。							
	達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の影響でほとんど開館できない状況が続いたため、来館者数は大幅に落ち込んだ。その中で新聞へのまち歩きの記事掲載などの活動を行った。							
	今後の取組	令和2年度をもって補助金廃止。							
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
出前講座回数 【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	目標値		50回/年度	50回/年度	50回/年度	50回/年度	50回/年度	50回/年度	50回/年度
	実績値	47回	47回	40回	62回	59回	56回	28回	
	達成度		概ね順調	概ね順調	順調	順調	順調	努力が必要	
	感染症の影響	感染拡大防止のため、講座の休止期間があったこと、また地域や団体等の会合が控えられたことにより開催回数が減少した。一方で、フレイル予防のための体操や、燃やすごみの有料化に関する説明動画など、市民への啓発手段として代替となり得る取組が始まっている。							
	達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の影響により開催回数が減少した。防災関連の講座のニーズが高い傾向が続いている。また、近年は、学校へ出向く若年層向けの講座も行われている。							
	今後の取組	市民目線の講座内容への見直し等を毎年各課へ依頼するとともに、広報紙等に掲載し活用促進を図る。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
<p>区・自治会の支援</p> <p>地域戦略・男女共同参画課</p>	<p>・将来にわたり持続可能な地域づくりのため、区相互、区と行政双方向の情報共有の取組として、諏訪市区長会議を開催。</p> <p>・平成29年度に新設した「がんばる地域支援金」により、区・自治会の主体的な課題解決の取組みに対する支援を実施。【実績】交付件数4地区</p>	<p>協働によるまちづくりを進めていくには、区と行政の対話を引き続き継続していく必要があるとともに、人口減少・少子高齢化の進展により、区政運営や地域活動への課題が特に顕著に見られる地区については、先の将来を見据えた持続可能な地域のあり方を、区・自治会と行政が共に考えていく場を新たに検討する。</p>
<p>「すわまちくらぶ」の活用</p> <p>地域戦略・男女共同参画課</p>	<p>すわまちくらぶ運営協議会を行う「すわまちくらぶ」の運営支援を実施。【実績】開館日数15日、利用者数122人</p>	<p>平成30年度から補助金開始から5年経過による見直し協議を継続して来た結果、令和2年度をもって補助金廃止となった。</p>
<p>まちづくり団体への活動支援</p> <p>地域戦略・男女共同参画課</p>	<p>平成29年度に新設した「SUWAを磨くまちづくり支援金」により、市民が主体となって行う地域活性化の取組みに対する支援を実施。【実績】交付件数2団体</p>	<p>市民が主体となって行う地域活性化の取組みへの支援に対する市民からのニーズがあり、将来のまちづくりを担う人材の育成を推進する観点からも、「SUWAを磨くまちづくり支援金」については、引き続き継続実施する。</p>
<p>行政への関心を高めるための出前講座の開催</p> <p>秘書広報課</p>	<p>出前講座「よりあい塾」の活用により、市の仕事を身近に感じてもらうことで、市民と一緒に快適で暮らしやすいまちづくりを進める。 【実績】50講座開設、利用件数28件、参加者延べ1,806人、派遣11課 <u>感染症の影響により、開催回数が減少</u></p>	<p>時代の変化に応じ、また市民目線に立った講座の見直しを定期的に行う。 <u>よりあい塾は、職員が地域等に直接出向き、皆さんのニーズに合わせて講座を実施できる良さがあるが、更に感染症の影響が長引くようであれば、代替可能な動画の紹介なども検討したい。</u></p>

3 快適・便利な「暮らし」

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(1)賑わいのあるまちの形成

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)
駅前交流テラスすわっ チャオ利用者数 (年間)	目標値						100,000人	150,000人	200,000人
	実績値						237,439人	114,874人	
	達成度						順調	努力が必要	
	【備考】 施設利用状況の指標となる 利用者数をKPIとする	感染症の 影響	施設休館や営業時間短縮、有料施設の貸出し停止や利用人数の制限、不特定多数の来館者が見込まれるイベント・講演会の利用制限などにより利用者数は大幅な減少となり、施設運営に大きな影響があった。						
	達成状況 の分析	4～5月の臨時休館をはじめ、スタジオなどの有料施設の貸出制限や、フリースペースやキッズコーナーの利用者数に上限を設けるなど、密にならない対策を講じたため、大幅な減少となった。							
	今後の 取組	コロナ禍における新たな生活様式に合わせた運営方法について随時見直しを実施するとともに、市民の発表する場としての機能を維持するためのオンライン配信機材の活用や、ワーケーションなどのワークスペースとしてビジネス利用拡大などに取り組む。							

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
諏訪湖イベントひろば 利活用検討事業 企画政策課	緊急事態宣言による活動制限により、基本計画の策定を令和3年度に先送りとなった。 民間事業者に対するサウンディング型市場調査及び市民に対する調査を実施。サウンディング型市場調査については計16事業者が参加し、市場の声を把握することができた。	令和3年度には諏訪湖イベントひろば基本計画を策定し、より具体的な検討を開始していく予定。今後については、関係機関による機能検討とともに、民間事業者参入の可能性を高める取組が必要である。
諏訪市駅前公共スペース運営検討委員会の開催 駅前交流テラスすわっチャオ	子育て世代や地元商店街、高校関係など様々な分野から全9名の委員により「諏訪市駅前交流テラスすわっチャオ運営協議会」を開催し、施設運営について協議を実施した。 【実績】令和2年度:2回開催	委員からの意見として、コロナ禍での安心安全な施設運営と、利用者同士で何か新しいことが生まれるような取り組みを実現することなどの意見があったため、このことについて今後の課題とし、対応を検討する。
コンビニ証明書交付サービスの提供 市民課	窓口での交付が減少してきているなかで、コンビニ交付の枚数は、着実に増加してきている。 窓口とコンビニでの交付の対比は8%を超えた。	コンビニ交付にはマイナンバーカード取得が必須のためカード交付率の向上に努めコンビニ交付の利用促進に繋げる。 また、 <u>非対面で証明書が交付できることから、人から人への感染リスクの減少も期待され、新型コロナウイルス対策としても有効的なものである。</u>
商店街イベントへの支援【再掲】 商工課	商店街等が顧客獲得のために実施するセールなどのイベント事業に対して補助し、市内商店街の振興を図った。	商店街を維持していくため、イベントは集客という目に見える効果はあるが、商店街が衰退傾向であるなかで商店街の独自財源での開催は難しく、継続した市の補助が必要である。 <u>コロナ対策を取りながら新規要素を取り入れたイベント開催となるよう助言が必要となる。</u>

3 快適・便利な「暮らし」

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(2) 地域公共交通網が確保された利便性の高い交通環境整備

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
かりんちゃんバスの1便当たり利用者数 【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	目標値		7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	7.5人/便	
	実績値	7.1人/便	6.6人/便	6.5人/便	6.6人/便	6.9人/便	7.0人/便	5.5人/便		
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要		
	感染症の影響	新型コロナウイルス感染対策として外出自粛規制が行われた影響によりかりんちゃんバス利用者数は減少した。								
	達成状況の分析	平成29年10月1日のダイヤ路線改正実施後、平成30年10月1日に軽微な改正を行い、利用促進事業を展開することにより、1便あたりの利用者数増につながっている。								
	今後の取組	コロナ禍、安心安全なバス運行を意識した環境整備を行いながら、より利用しやすい公共交通の運行を目指す。								
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
二次交通を考慮した路線及びダイヤの改正 【備考】 計画当初の目標値を維持	目標値		-	検討	構築	構築	構築	構築	構築	
	実績値	-	-	検討	構築	構築	構築	構築		
	達成度		実績値なし	順調	順調	順調	順調	順調		
	感染症の影響	新型コロナウイルス感染対策として越県の外出自粛規制が行われた影響により、観光客数は減少した。								
	達成状況の分析	平成29年10月1日のダイヤ路線改正実施後、平成30年10月1日に軽微な改正を行い、利用促進事業を展開することにより、1便あたりの利用者数増につながっている。								
	今後の取組	コロナ禍、安心安全なバス運行を意識した環境整備を行いながら、より利用しやすい公共交通の運行を目指す。								

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
かりんちゃんバスなど市内バスの運行支援 地域戦略・男女共同参画課	※感染症の影響については下線部 かりんちゃんバス1便当たり利用者数は、新型コロナウイルスの影響により減少した。	※感染症に起因する課題等については下線部 利用率の上がない路線やデマンド交通などを含め、地域公共交通ネットワークの再構築に向けた検討が必要となっている。
有賀峠デマンド交通の運行 地域戦略・男女共同参画課	平成28年10月から有賀峠デマンド交通の運行を開始した。 【利用実績】4人	有賀峠デマンド交通の見直しも含め、地域公共交通ネットワークの再構築に向けた検討が必要となっている。
2市1町によるスワンバスの共同運行 地域戦略・男女共同参画課	諏訪湖周2市1町が運行しているスワンバスは、地域住民の通勤、通学、通院及び買い物など日常生活を支える重要な交通手段のひとつとして活用されている。	2市1町で運行している公共交通を含めた利用促進イベントを引き続き検討し、併せて観光客の移動手段として活用できるよう周知して行く。

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
スマートインターチェンジの設置促進 建設課	地域交通の利便性向上と主要道路の渋滞緩和、観光や地域経済の活性化のため諏訪湖SAへスマートICを設置する。 【実績】 ・道路築造工事に伴う用地取得 R2.7.27排水計画説明会 R2.8.4有賀区区民説明会 R2.10.14用地補償説明会 R3.2.15地区協議会	観光及び地域経済の活性化、地域交通の利便性向上のため諏訪湖SAにスマートIC設置に向けて国の支援を受けながら、長野県・NEXCO・岡谷市・諏訪市共同で今後も事業を推進する。
国道20号諏訪バイパスの早期事業化 国道バイパス推進室	待望のルート・構造原案が、国土交通省より令和2年9月に発表となり、これを基にした都市計画案と環境影響評価の準備書が、県より令和3年3月に公表された。これに伴い、国や県と連携し説明会を開催するとともに、広報チラシの発行やロビー展などを開催し、情報を発信するとともに、機運醸成のための活動に取り組んだ。	ルートが示されたことにより、住民や各種団体などからは早期事業化や心配などの声が寄せられている。これらを国や県に伝えるとともに、住民などに対し、事業の正確な情報を発信し理解を深めていただく必要がある。機運醸成としての活動も兼ね合わせ、広報チラシの発行や資料展・オープンハウスの開催などを予定している。事業が円滑に進むよう創意工夫を図りながら、都市計画決定に向けて取り組んでいく。
都市計画道路の見直し 都市計画課	都市計画道路の見直しに着手する予定であったが、 <u>新型コロナウイルス感染症の影響により、適正なデータの収集が困難になったことにより、事業の実施を見送った。</u>	社会情勢の変化に対応した、効率的かつ効果的な道路整備を推進するため、適時適切な都市計画道路の見直しを実施していく。
道路舗装新設や修繕の実施 建設課	道路の新設舗装及び舗装修繕、側溝や縁石など修繕工事を実施した。 【実績】 舗装修繕工事 12路線	舗装長寿命化修繕計画に基づき継続的に交付金・地方債を活用し整備を実施する。また、地区要望箇所については、損傷度や緊急性・優先性を考慮し地元協議が整った所から整備を実施していく。
道路拡幅や歩道改良の実施 建設課	交付金を活用した幹線道路の拡幅、交差点、歩道整備を実施した。また、地区要望による道路改良工事を実施した。 【実績】 道路改良工事 36路線	継続的に交付金・地方債を活用し整備を実施する。また、地区要望箇所については、損傷度や緊急性・優先性を考慮し地元協議が整った所から整備を実施していく。
交通安全施設の設置等交通安全対策の推進 建設課	カーブミラー、道路標識、防護柵等の交通安全施設の設置、維持修繕を実施したほか、交通事故発生箇所等に対する路面標示等を施工した。	既存の交通安全施設の維持管理を適切に行うとともに、より効果的な交通安全施設整備を行い、交通事故の総量抑制を図っていく。

3 快適・便利な「暮らし」

(3) 快適な生活環境の維持保全

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
諏訪湖・霧ヶ峰の環境 保全活動へのボラン ティア参加者数 【備考】 諏訪市総合計画後期基 本計画との整合を図り設 定	目標値		629人	647人	664人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	
	実績値	611人	762人	909人	1,155人	1,161人	963人	674人		
	達成度		順調	順調	順調	順調	概ね順調	努力が必要		
	感染症の 影響	春の一斉清掃、ヒシ除去作業、霧ヶ峰草原再生作業では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止または広く一般ボランティアを募ることができず、参加者は大幅に減少した。								
	達成状況 の分析	コロナ禍ではあったが、秋の一斉清掃では感染状況が落ち着いていたこともあり、前年を上回る人数の参加者となった。								
今後の 取組	新型コロナウイルス感染症の状況を見つづけるはあるが、中止の選択肢はなるべく考えないようにし、少数でもボランティアとともに作業を実施していく。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
再生可能エネルギー 等導入設置補助制度 等による太陽光最大 発電能力累計 【備考】 諏訪市総合計画後期基 本計画との整合を図り設 定	目標値		4,969kW	5,244kW	5,518kW	5,793kW	6,490kW	6,495kW	6,500kW	
	実績値	4,694kW	5,211kW	5,677kW	6,076kW	6,485kW	6,907kW	6,907kW		
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	順調		
	感染症の 影響									
	達成状況 の分析	補助制度については令和元年度で終了しており、また、ガイドラインに基づく個人設置の届出(全量売電)も令和2年度はなかったため、実績値は前年度と変わっていない。売電価格が下がっているため、今後売電目的の設置はあまり伸びないと思われるが、令和元年度時点で目標は達成している。								
今後の 取組	家庭用太陽光発電設備設置に対する補助は、地球温暖化対策実行計画の目標値を達成し、一定の成果をあげたことから、令和元年度で終了している。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
再生可能エネルギー システム等導入設置 補助制度による補助 件数累計(太陽光を除 く) 【備考】 諏訪市総合計画後期基 本計画との整合を図り設 定	目標値		4件	6件	8件	10件	12件	14件	16件	
	実績値	2件	4件	5件	9件	9件	9件	9件		
	達成度		順調	概ね順調	順調	概ね順調	努力が必要	努力が必要		
	感染症の 影響									
	達成状況 の分析	市広報誌、市ホームページ、市庁舎ロビー展示等で補助制度や地球温暖化対策における再生可能エネルギー利用のメリット等を周知しているが、システム導入の費用が高額であることもあり、設置が伸び悩んでいると思われる。								
今後の 取組	補助内容の見直しを検討する。(補助金額等見直し、別の補助制度検討等)									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
<p>都市公園等の適切な整備や維持管理</p> <p>都市計画課</p>	<p>市内31の都市公園及び緑地・緑道の維持管理・修繕・整備工事を実施した。</p> <p>【実績】 公園管理委託39件、公園施設修繕27件、公園整備工事7件、諏訪湖水辺Aゾーン維持管理(漂着物除去:201台/2tD)(樹木剪定等:4件) 湖周サイクリングロード整備工事及び関連湖畔公園整備工事</p>	<p>公園施設長寿命化計画に沿った事業推進に努めているが、現状計画に遅れが発生している。今後、国庫補助を活用して老朽施設の更新を積極的に進める必要がある。また、引き続き専門家による遊具定期点検を実施するなど、事後保全型から予防保全型への転換を図り、利便性や快適性を確保した公園を目指す。<u>感染症に起因して公園需要は大幅に増加しており、更に変化するニューノーマルへの対応や対策が必要となる。</u></p>
<p>諏訪湖の環境保全活動</p> <p>環境課</p>	<p><u>ヒシ除去作業については、職員のみで陸上から実施したため、成果としてはほぼなかった。</u>浮遊ごみ除去作業については、ほぼ例年通り実施することができた。</p> <p>【令和2年度参加者実績】ヒシ除去4人、浮遊物除去21人</p>	<p><u>・ヒシ除去作業については、陸上からの実施では成果が上がらないので、どのような形で実施するにしても、船は必須である。</u> <u>・ヒシ除去作業はやはり人手があればあるほど成果が上がるため、新型コロナウイルスの状況を見つつではあるが、人数を増やしていく必要がある。</u></p>
<p>霧ヶ峰の環境保全活動</p> <p>環境課</p>	<p><u>春の草原再生作業は中止した。特定外来生物除去作業及び秋の草原再生作業は、一般ボランティアは募集せず、関係団体(市関係課所、県、地権者)と実施した。</u></p> <p>【令和2年度参加者実績】秋草原再生作業11人、特定外来生物(オオハンゴンソウ)除去延べ55人</p>	<p>霧ヶ峰の環境保全活動は、地道に継続していくことが重要である。草原再生作業については、引き続き春と秋の2回実施し、特定外来生物(オオハンゴンソウ)除去については、霧ヶ峰自然環境保全協議会との共催で、継続して実施していく。</p>
<p>再生可能エネルギーの活用</p> <p>環境課</p>	<p><u>再生可能エネルギー普及に向けた講演会を2回予定していたが、2回とも中止した。</u>再生可能エネルギーについてのパネル展示を、市役所ロビーで2回、すわっチャオで1回実施した。すわっチャオではクイズも実施した。</p>	<p>講演会等のイベントは毎年実施していくが、イベント内容については講演会にこだわらず、ワークショップ等も取り入れていく。 パネル展示も毎年実施する。</p>
<p>再生可能エネルギー等導入設置補助等の実施</p> <p>環境課</p>	<p>再生可能エネルギー等導入設備設置(太陽熱、地中熱等)に対して補助を実施したが、実績は0件だった。 ※太陽光補助は令和元年度で終了している。</p>	<p>令和3年度は、令和2年度と同様に太陽熱利用、地中熱利用、再生エネルギー利用施設で補助を継続するが、令和3年度中の計画改定作業の際に、補助のあり方やメニューの検討を実施する。</p>
<p>温泉熱エネルギーの活用</p> <p>営業課 施設課</p>	<p>8月より1年間、温泉熱発電の実証試験を実施。</p>	<p>令和2年8月より1年間の実証試験を実施。実証試験の結果を元に、配湯事業への影響・費用対効果等を慎重に検討をし、本格導入可否の判断を行う。</p>

3 快適・便利な「暮らし」

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(4) 公共施設やインフラなどの既存ストックの計画的な維持管理

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
市公共施設の総延床面積 【備考】 平成29年度から10%の削減を目標に設定	目標値		-	228,989㎡	224,250㎡	222,300㎡	220,400㎡	217,026㎡	215,891㎡	
	実績値	約230,000㎡	-	225,429㎡	224,401㎡	217,799㎡	216,903㎡	216,433㎡		
	達成度		実績値なし	順調	概ね順調	順調	順調	順調		
	感染症の影響	-								
	達成状況の分析	令和2年度は、大規模な減少施設はなかったが、毎年着実に公共施設の総延床面積の削減を進めている。								
今後の取組	令和2年度に個別施設計画を策定し、各施設の今後の取扱いについて、どのようにしていくのか、中長期的な具体的方針を定めた。平成29年度から10%の削減を目標数値として、計画的な長寿命化や資産総量の適正化を推進する。									
KPI	項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (基準値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
個別施設計画の策定率 【備考】 令和2年度策定終了に向け設定	目標値				40.0%	60.0%	80.0%	100.0%	100.0%	
	実績値			19.0%	7.0%	7.0%	7.0%	100%		
	達成度				努力が必要	努力が必要	努力が必要	順調		
	感染症の影響	-								
	達成状況の分析	令和3年3月に個別施設計画策定・公表								
今後の取組	個別施設計画を推進していくことにより、次世代に大きな負担を残さない、安全かつ利便性の高い公共サービスの提供と持続可能なまちづくりを目指す。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
公共施設等総合管理計画(計画期間:平成29~令和8年度)を策定・推進 企画政策課	計画策定時より、総延床面積は12,556㎡削減し、全体の-5.5%となった。 また、毎年更新している・施設カルテの作成・公表を行い、個別施設計画の策定と公表を行った。	計画を推進するために、利用者、地元区からの同意や理解を得るために、施設所管課と協力し丁寧な説明が必要である。また、廃止・集約化と位置付けた施設の代替についても検討する必要がある。
安心・安全で低廉な飲料水の安定供給、配水施設の更新と強靱化 営業課 施設課	平成29年度に策定した「諏訪市水道事業ビジョン」に基づく基幹管路を中心とした計画的な管路の更新。また施設に関しては個別計画に基づき機械・電機設備の更新を実施した。 霧ヶ峰第1水源は老朽化と使用水量の減少に伴い、ポンプ、計装盤を撤去し運用を休止した。	「諏訪市水道事業ビジョン」は令和3年度で5年目を迎えるため、これまでの事業における点検・評価・見直しを行い、令和8年度までの後期計画を策定する。 また長年課題となっている水道技術者の育成や適正な人員確保に努めていく。

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
<p>温泉の安定供給、配湯施設の更新と強靱化</p> <p>営業課 施設課</p>	<p>諏訪市温泉事業経営戦略に基づき、各揚湯・配湯・中継施設の設備改良・更新を実施。また、送・配湯管の布設替工事を実施。</p>	<p>温泉施設全体の需要度・優先度や、給湯契約者の状況等も考慮しながら、中長期的に更新需要見通しと財政支出見通しについて検討する。また、職員の育成強化が必要である。</p>
<p>下水道未普及地区の解消、下水道施設の維持・強靱化</p> <p>営業課 施設課</p>	<p>下水道未普及地区解消に関しては、整備延長約360m(約2.5haの整備面積)としたが、普及率は99.5%と横ばいであった。施設の維持においては、下水道ストックマネジメント計画に基づき、交付金を活用しながら約100kmの下水道施設を点検し、計画的かつ効率的な維持管理のための事業をスタートさせた。</p>	<p>下水道未普及地区解消において、地形的制約等によりコスト効率が低いとは言えない状況であるため、費用対効果を検証しつつ、場合によっては事業計画を見直すことも視野に入れる。ただし、未普及地域からの要望や関心度は高く、また終末処理場での高度処理は公共用水域の水質向上に寄与することから、総合的な検討が必要。ストックマネジメントにより計画的かつ効率的な維持管理を行っていくためには、施設の点検結果等を含めたデータベース構築が必要であり、統合型GISと連動させて更なる効率化・合理化を図ることが必要。</p>
<p>水戸代団地建替事業</p> <p>都市計画課</p>	<p>建替事業の実施(3棟8戸)※全棟しゅん工</p>	<p>なし</p>
<p>空家対策の推進</p> <p>都市計画課</p>	<p>統合型GISによる空家情報の把握、適正管理に係る指導を継続。 啓発事業として、空き家予防セミナー(個別相談会併催)を開催。 ・空家等対策協議会を開催し、課題等を整理。 ・諏訪市シルバー人材センターと空家の適正管理に係る協定を締結。 ・空家跡地活用支援事業補助金を新設し、10件の実績があった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・所有者等に向けた啓発及び効率的な空家情報の把握 ・関連部署との連携 ・適正管理が必要な空家に対する指導 ・利活用に関する支援策の検討

4 生きいき、元気な「くらし」

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(1) 健康づくりの推進による健康寿命延伸

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
すわっこランド入館者数	目標値		308,790人	309,093人	309,395人	309,698人	310,000人	310,000人	310,000人	
	実績値	308,488人	306,263人	302,102人	282,304人	272,814人	274,772人	150,457人		
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要		
	感染症の影響	新型コロナウイルス感染症により、緊急事態宣言が発出され、2カ月間臨時休館となった。宣言解除後は、感染症対策を講じ営業再開をしたが、イベントや積極的な誘客事業が行えず、来場者が減少した。								
	達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症感染対策を講じ営業したが、昨年度より大幅に来場者が減少した。個人定期券購入者割合は増加しており、利用者満足度が高いことが定期券の購入に結びついている。								
【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	今後の取組	新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら利用者が安心して利用できる施設運営に努める。また、感染状況を注視しながら、健康増進イベントなどを開催し、利用者の健康増進を図っていく。								
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
特定健康診査受診率	目標値		60.00%	60.00%	60.00%	60.00%	60.00%	60.00%	60.00%	
	実績値	52.30%	54.60%	54.30%	52.10%	52.20%	51.90%	47.50%		
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要		
	感染症の影響	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、健診期間を2カ月延長し、受診者の分散化を図った。また、密を避けるため、令和元年度に行っていた40歳50歳代の受診勧奨は中止とした。								
	達成状況の分析	新型コロナウイルスの影響で健診期間を延長したが、前年度より大幅に受診率が減少した。								
【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	今後の取組	新型コロナウイルス感染症が収束し次第、令和元年度と同様に受診率の低い世代を対象に受診勧奨を行い、健康意識に目を向けてもらえるよう推進していく。また、広報・案内文等で積極的な周知を図っていく。								

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
特定健康診査事業 健康推進課	特定健診については個別健診が主であり、医師会の協力を得て高い受診率を誇っている。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、全国的に受診率が減少。そんな中県下でも引き続き高い受診率である。	1人でも多くの方が生活習慣病予防をし、健康に目を向けてもらうため、引き続き受診率60%を目指す。感染状況次第にはなるが、健診期間・受診勧奨等従来のやり方にもどすのか医師会との調整が必要。
施設整備事業 健康推進課	すわっこランドについて、経年劣化への対応として、25mプールろ過装置ろ材交換工事、中央監視装置を施工した。また、トレーニングルーム窓枠改修、大型送風機を購入し、新型コロナウイルス感染症感染対策を実施した。	すわっこランドは開館から15年以上が経過し、施設の経年劣化が進んでいる。衛生に係る整備系の修繕や、安全に係る施設修繕、利用者サービス向上に係るトレーニングマシンなど、各種整備について計画的に対応する。
がん検診事業 健康推進課	胃がん、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん検診を実施している。大腸がん、子宮頸がん、乳がん検診については対象年齢の者に受診を勧奨するクーポンを送付している。乳がん検診以外は新型コロナウイルスの影響により受診率が減少した。	がん検診については、受診者数が減少傾向となっている。検診受診後の要精密検査対象者の受診も重要であり、再受診勧奨の取組みを推進していく。

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
予防接種事業 健康推進課	定期予防接種については、健診・訪問等で接種勧奨し、医師会、学校の協力を得て高い接種率を維持している。 <u>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の発生により、小児の任意インフルエンザ費用の助成を行った。</u>	感染症の蔓延、重症化を防ぐ観点からも引き続き接種率100%を目指し、医師会、学校などの協力を仰ぎながら事業を推進していく。 <u>また、新型コロナウイルス感染症に係る臨時の予防接種を実施していく。</u>
健康づくりプロジェクト事業 健康推進課	運動を継続して実施することで健康意識を高め、健康寿命の延伸を図っている。 <u>R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施ができなかった。</u>	R3年度はスポーツ課との共催でスマイルアップ運動教室を実施。活動量計を利用し、運動習慣の継続を推進していく。R2年度から国保特別会計の予算になり、生活習慣病予防、介護予防を目指した事業内容の見直しが必要。
保健補導員の育成 健康推進課	<u>令和2年度は、健康料理教室、視察研修は実施できなかったが、実施可能な地区は運動教室や講演会等を行った。三密を避ける為、地区回覧を行い、住民の意識向上と健康づくりの輪を広げた。研修会では新型コロナウイルスに関する知識を得て、地域住民の健康づくりの推進力となった。</u>	令和3年度は保健補導員連合会50周年記念事業で分散研修会と記念誌の発行(健康料理教室で取り扱ったメニューを掲載)を実施予定。各地区においては、 <u>三密を避け、各々にあった規模で各種健康教室や講演会等を実施する。</u>

4 生きいき、元気な「くらし」

(2) 持続可能な地域医療の実現

【KPIの進捗状況】

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
小児夜間急病センター 利用者数 【備考】 諏訪広域連合広域計画 に基づき設定	目標値		3,000人	2,900人	2,800人	2,700人	2,600人	2,591人	2,591人	
	実績値	3,153人	2,900人	2,839人	2,371人	2,244人	2,317人	651人		
	達成度		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要		
	感染症の 影響	新型コロナウイルス感染症感染対策の徹底によりその他感染症等の減少があったとともに、感染拡大による利用控えによる利用減が影響した結果、目標値に対する達成度は「努力が必要」となった。								
	達成状況 の分析	診療所の診察が終わった後に子供の急病に対応するため、広域計画に基づき運営を行っている。利用者数については新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少した。								
今後の 取組	市民の安全・安心のまちづくりのため、継続して運営費の支援を行っていく。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
在宅当番医の利用者 数 【備考】 設定当初の目標値を維持	目標値					2,500人	2,500人	2,500人	2,500人	
	実績値				3,302人	2,502人	2,846人	953人		
	達成度					順調	順調	努力が必要		
	感染症の 影響	新型コロナウイルス感染症感染対策の徹底によりその他感染症等の減少があったとともに、感染拡大による利用控えによる利用減が影響した結果、目標値に対する達成度は「努力が必要」となった。								
	達成状況 の分析	休日の急病に対応するため、諏訪市医師会の協力の下、事業を実施している。疾病流行等による利用者数の変動に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が大幅に減少した。								
今後の 取組	市民の安全・安心のまちづくりには必要な事業であり、一医療機関の当番医制度の安定運営のためにも継続して維持していく。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
小児夜間急病センター 運営事業 健康推進課	諏訪市・岡谷市・諏訪郡医師会をもって構成する「諏訪地区小児夜間急病センター運営医師会」により諏訪地区小児夜間急病センターが運営され、例年、年間2,000人以上の小児が受診している。令和2年度については651人と大幅に減少した。	※感染症に起因する課題等については下線部 小児夜間急病センターの運営は、小児科医の不足と二次救急病院への軽症の小児救急患者の集中、病院小児科医師の過重労働や本来の二次救急業務への支障を避ける目的があるため、子供の数が減り、利用者が少なくなっても引き続き運営費の支援を行っていく。
医療介護アドバイザー 事業 高齢者福祉課	令和元年度から包括的支援事業の中で実施中	包括的支援事業として対応していく
在宅医療連携ネット ワーク推進事業 健康推進課	補助制度は令和元年度で終了した。	補助は令和元年度で終了したが、システム導入促進のため、状況を注視しながら今後の支援については引き続き検討していく必要がある。

令和3年度 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略【四之柱】効果検証シート②

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
諏訪赤十字病院移転 新築事業補助金 健康推進課	令和2年度末累計償還額 3,073,396,440円	救急医療を含めた高度医療を提供する病院の体制を維持させていくためにも長期にわたる財政支援を継続させる。
諏訪赤十字病院高度 医療支援事業 健康推進課	補助制度は令和元年度で終了した。	補助は令和元年度で終了したが、諏訪市民が必要に応じた適切な救急医療を受けられるためにも、今後も財政支援について引き続き検討する必要がある。
在宅当番医制運営事業 健康推進課	在宅当番医制実施日数(日・祝日)73日	休日等における一医療機関の当番医制度の安定運営は今後においても継続して維持していく必要がある。
地域包括ケアシステム を支える多職種協働 の推進 高齢者福祉課	<u>多職種協働セミナーはコロナ禍により中止したが、前年度に出された課題について、ワーキンググループにて協議し、「口から食べ続けるための在宅支援」のパンフレットを300部作成。</u> <u>地域支え合い協働セミナーもコロナ禍により中止。</u>	医療だけでなく多職種、異業種が顔を合わせ話し合いを行うことは、相互理解につながり連携がとりやすくなるため、今後も継続していく必要がある。地域住民や学生にも働きかけていく。

4 生きいき、元気な「くらし」

**(3) 住み慣れた地域で暮らし続けるための
介護予防、介護サービス**

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
認知症サポーターの 延べ養成数 【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	目標値		1,800人	2,200人	2,500人	2,800人	3,100人	3,400人	3,700人	
	実績値	1,439人	1,867人	2,155人	2,466人	3,077人	3,335人	3,907人		
	達成度		順調	努力が必要	概ね順調	順調	順調	順調		
	感染症の影響	サポーター養成講座が一部中止となった。								
	達成状況の分析	地元企業の従業員を対象とした8回のサポーター養成講座を開催し、572人が講座を受講した。認知症への関心が高まっている傾向にあり、理解、啓発を図ることができた。また、地域での支援の方法を周知することができた。								
今後の取組	民間企業等各種法人の活動においても、認知症高齢者への対応支援は必須となりつつあり、各団体と連携して認知症サポーター養成を継続し、認知症への理解を広く普及させる。認知症サポーターのステップアップ化を図り、支援者として活動できる人(チームオレンジ)の構築を目指す。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
要介護認定率 【備考】 諏訪広域連合第7期介護保険事業計画に基づき設定	目標値		17.23%	17.86%	18.49%	19.12%	19.75%	18.40%	18.80%	
	実績値	16.60%	16.78%	17.11%	16.94%	17.03%	17.40%	17.30%		
	達成度		順調	順調	順調	順調	順調	順調		
	感染症の影響	感染拡大防止のため、要介護・要支援認定の更新認定希望者に対し、要件に該当する場合認定有効期間の延長を実施した。								
	達成状況の分析	後期高齢者の認定者数は増加しているが、全体ではほぼ横ばいに抑えられている。介護予防事業等の取組みにより、増加の傾向が緩やかとなっている。								
今後の取組	認定率の高い後期高齢者の増加により認定者数は増加することが予想されるが、介護予防事業や認知症予防の取組みにより認定率の抑制に努める。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
高齢者のいきがいにつながる事業の推進 高齢者福祉課	お年寄りの集いはコロナ禍により中止。 老人クラブ、シルバー人材センターの運営支援、地域住民グループ22団体への育成・運営支援。	※感染症の影響については下線部 ※感染症に起因する課題等については下線部 ・お年寄りの集いは、高齢者が楽しめる企画を計画することで、高齢者の外出、積極的な社会参加を促す機会として重要。 ・老人クラブ、シルバー人材センターについては活性化の糸口を相互に協議。 ・地域住民グループによる活動の活性化。
高齢者の自立・生活支援のためのサービス提供 高齢者福祉課	高齢者タクシー利用料金助成を138人に助成。 日常生活用具購入を支援。	・高齢者の「足」の確保については、公共交通機関や地域における支え合い活動を含め、庁内関係課所で連携した検討が必要。 ・日常生活用具購入支援は、ニーズが減少しているため、事業内容の検討が必要。
介護予防の推進 高齢者福祉課	介護予防プログラム(介護予防教室等)は、コロナ禍により、中止や参加人数制限を強いられた。 コロナ禍の影響により、高齢者が集まる従来型の教室に替えて、自宅で3ヶ月フレイル予防に取り組む「うちトレ元気アップ講座」を新規に開催。	・各種教室は、全般に参加者の固定化がみられる。特に前期高齢者や男性への働きかけが課題。 ・コロナ禍の外出自粛に伴う、フレイル予防対策は喫緊の課題であり、運動動画の配信や感染予防に配慮した実施形態の見直し検討が必要。

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
任意事業 高齢者福祉課	認知症サポーター572人を新規養成。 配食サービス(遠隔地在住者・山間部へ)の利用範囲拡大し、実利用者数126人、配食数23,774食。	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者の見守り体制構築のため認知症サポーターの養成と活動の促進及び認知症キャラバンメイトの組織化、活性化が必要である。 ・<u>配食サービスは、コロナ禍での感染予防と、バランスの良い食事により低栄養化防止に対して効果的。</u>
地域支え合いの推進 高齢者福祉課	中洲とちの木ひろば、西山の里なかよし広場の運営。通いの場の構築 <u>地域支え合い協働セミナーもコロナ禍により中止。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の通いの場や活動拠点ができると、ひきこもりやフレイルを予防し、お互いに見守り合い、助け合う住民意識の醸成と体制の構築が必要。
包括的支援事業 高齢者福祉課	医療・介護・生活支援に関する拠点施設としてH29.4に「地域医療・介護連携推進センター(ライフドアすわ)」を設置し、月1回定期協議を実施。 医療介護アドバイザーを委嘱し、市、「ライフドアすわ」との三者協議(不定期)を実施。 権利擁護に関する拠点施設としてH29.6に成年後見支援センターを設置。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ライフドアすわ」と定期協議をし協働して事業にあたっている。 ・地域包括ケアシステムの深化のため、専門的立場からの助言を受け事業を進める。 ・成年後見支援センターとの連携体制を強化し、包括的・専門的な高齢者支援体制を強化する必要がある。
認知症施策の推進 高齢者福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>認知症予防啓発講演会はコロナ禍により中止、代わりに、予防啓発動画を市公式YouTube配信</u> ・認知症初期集中支援チームの活動(チーム員会議12回開催、支援検討数78件) ・認知症予防教室を18回開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者の増加が見込まれる中、適時、適切な支援を受け、認知症になっても地域で暮らし続けることができる体制づくりが必要である。 ・市民に広く認知症を認識してもらい、地域での支援の輪を広げるためには継続的な認知症サポーターの養成が必須。
在宅医療・介護連携の推進 高齢者福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・住民を対象としたWeb研修会の開催 ・認知症地域支援推進員を4名配置 ・生活支援コーディネーターを1名配置し、生活支援情報を作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の視点から、最後まで安心して暮らし続けられる地域、在宅医療の構築を図る。 ・住民を対象とした認知症に関する普及・啓発を行い、認知症の人を地域で支える体制の構築を図る。

5 学べる、感じる「くらし」

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(1) 子どもから大人まで、生涯学べる環境整備

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
生涯学習課主催の講座延べ参加者数 【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画との整合を図り設定	目標値		14,563人	14,672人	14,782人	14,891人	15,000人	16,000人	17,000人	
	実績値	14,454人	17,010人	17,199人	15,259人	14,943人	14,588人	2,747人		
	達成度		順調	順調	順調	順調	概ね順調	努力が必要		
	感染症の影響	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前期講座をすべて中止した。また後期においても、感染対策が可能な範囲で、募集定員や回数を減らして開催した。								
	達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、感染対策が可能な範囲で実施したため十分な成果を得られなかった。								
今後の取組	コロナ禍における講座開催の方法についてさらに研究・検討していく。地域課題解決につながる講座を取り入れ、受講者が地域で主体的に活動するための取り組みを研究する。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
スポーツ課主催・共催のスポーツ教室延べ参加者数 【備考】 過去5年間の平均値から目標を設定	目標値		2,194人	2,271人	2,347人	2,424人	2,500人	3,385人	3,385人	
	実績値	2,118人	2,096人	3,176人	3,482人	3,497人	3,901人	1,981人		
	達成度		概ね順調	順調	順調	順調	順調	努力が必要		
	感染症の影響	新型コロナ感染症の影響により、4月から7月にかけてスポーツ課主催・共催の教室の実施を取り止めることとなった。さらに、8月の教室再開後も感染対策に配慮して定員や実施回数を減らした形での開催となった。								
	達成状況の分析	4月から7月にかけての教室取り止め期間、8月以降の感染対策に配慮して教室内容を見直したことなどにより、延べ参加者数の大きな減少が見られ、目標値を大きく下回ることとなった。								
今後の取組	より多くの市民が年齢や体力に応じたスポーツを楽しめるよう、子どもからお年寄りまでのライフステージにきめ細かく対応した教室を開催して、市民の運動機会増を目指すとともに、オンラインを活用するなど、コロナ禍に対応した教室の開催を検討していく。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
生涯学習講演会の開催 生涯学習課(生涯学習係)	【実績】なし ※新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。	※感染症に起因する課題等については下線部 関連する事業を精査し、必要に応じて事業化する。コロナ禍であっても、開催できるよう感染対策を行い工夫をしながら講座を実施する。
通年講座の実施 生涯学習課(公民館)	【実績】 「男のおもしろ倶楽部」全5回 延111人、「男のおもしろ倶楽部プレミアム」(4条例館にて開催)全6回 延102人 ※新型コロナウイルス感染症拡大のため、生きがい学級、女性セミナーは中止。なお男のおもしろ倶楽部、男のプレミアム倶楽部とも同理由にて前期講座を中止。	※感染症に起因する課題等については下線部 新規参加者が減少しているため、内容を始め広報や周知方法等を工夫していく。 ※新型コロナウイルス感染症拡大のため、募集人数の調整、班分けにより同内容の講座を複数行うなど開催方法に工夫が必要である。

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
<p>ふるさとや地域に着目した講座の実施</p> <p>生涯学習課(公民館)</p>	<p>【実績】 「歴史講座」全4回 169人 「自然講座」全1回 27人</p>	<p>地域課題等に関係した講座を発展させ、受講者自らが地域の生涯学習のリーダーとして活躍できるよう、活動をサポートする。 地域を見直すきっかけにするとともに、地域貢献活動につながるよう内容について検討していく。</p>
<p>老朽化した生涯学習施設のあり方検討</p> <p>生涯学習課(文化センター)</p>	<p>生涯学習施設の再編を検討するにあたり、文化センターの改修は要になるものであるため、改修検討資料作成業務委託により、概算工事費の試算、工期、現行法での適法等についてまとめ、概要を把握することができた。市が行う他事業や財源などにより、改修時期が見通せないため、生涯学習施設の再編も遅延することになる。</p>	<p>文化センターについては、昨年度作成した改修検討資料を基に整備箇所の精査をするとともに、財源についての検討も引き続き行う。また、他課所で行う事業においても施設のあり方や新たな魅力を協議し、財源の確保に繋げる方法の検討も行う。生涯学習施設としては、文化センターの今後の動向を踏まえつつ、維持に必要な修繕を行うと共に、老人福祉センターの解体による影響の検討をする。 <u>コロナ禍及びコロナ後の施設の利用を検討する。</u></p>
<p>市主催・市共催の教室の開催</p> <p>スポーツ課</p>	<p>市主催・市共催の教室は、市民の参加状況やアンケート結果をもとにメニューの見直しを行ったほか、幼児から小学生の体力と運動能力向上のため運動教室を開催した。 <u>新型コロナウイルス感染症の影響による教室開催の中止や実施方法の見直しのため、教室参加者数が大きく減少したため、目標としていた成果を上げることはできなかった。</u> 【実績】令和2年度参加者：市主催1,757人 市共催224人</p>	<p>生活習慣病のひとつの大きな要因とされている中高年の運動不足が現在課題となっているなどの理由から、多くの市民が運動習慣を身に付けられるような教室を開催し、市民ひとり1スポーツを目指す。 子どもの健全な心身の成長には、幼少期からの適切な運動習慣を身に付けることが必要とされていることから、発達段階にきめ細かく適切に対応した子ども向け教室をスポーツ関係者とも連携して実施する。 <u>新型コロナウイルス感染症に適切に対応した、感染を発生させない教室、講習会開催を検討する。</u></p>

5 学べる、感じる「暮らし」

達成度の目安

- 順調: 目標値以上
- 概ね順調: 80%以上100%未満
- 努力が必要: 80%未満
- 実績値なし: 当該年度の実績値なし

(2) 諏訪市の自然や歴史文化に触れる機会の創出

【KPIの進捗状況】

KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
博物館入場者数 【備考】 諏訪市総合計画後期基本計画及び資料整理休館等を勘案	目標値		17,121人	17,341人	17,560人	17,780人	18,000人	17,000人	17,000人	
	実績値	16,901人	18,854人	22,931人	9,491人	12,000人	12,833人	8,380人		
	達成度		順調	順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要		
	感染症の影響	新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館(4/5～5/31)、事業の中止・延期により入館者は大幅に減少した。感染状況が少し落ち着いた秋頃からフォーラムなどの事業を再開し、入館者数は多少増加したものの、目標値の50%未満にとどまった。								
	達成状況の分析	入館者大幅減の理由としては、臨時休館による開館日数の減に加え、県外からの観光客や団体客(学校見学等)、小中学校との連携講座の減少や、集客力のある企画展やフォーラム、イベントの延期や中止が考えられる。								
今後の取組	今後もコロナ禍が続くことを想定し、オンラインフォーラムや少人数向け講座の開催等、人を集めなくても開催でき、かつ効果的な事業を模索、検討する。引き続き、館外収蔵施設の集約化に向け、収蔵品の調査・整理・保存・活用や情報公開について重点的に取り組む。									
KPI	項目	平成26年度 (基準値)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (当初目標値)	令和2年度	令和3年度 (目標値)	
美術館入場者数 【備考】 人口減少による影響を抑制して入場者数増加を目指す	目標値		8,835人	9,126人	9,418人	9,709人	10,000人	10,000人	10,000人	
	実績値	8,544人	8,054人	9,251人	9,385人	8,670人	6,838人	2,831人		
	達成度		概ね順調	順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	努力が必要		
	感染症の影響	4/5から5/31まで44日間臨時休館とした。再開後は、企画展や共催展を中止とし、展覧会内容を一部変更したほか、上半期の展覧会関連イベントを全て中止とした。								
	達成状況の分析	目標値を大きく下回った原因として、年間開館日数の大幅な減少が考えられる。1/25から3/19までの資料整理休館により前年度比23日減の予定だったが、臨時休館により前年度比67日減となったこと、また例年集客数が多い企画展の中止、感染症による外出自粛傾向の影響も大きかった。								
今後の取組	資料整理は、作品の保存・活用のための研究と整理を重点的に集中して行えるよう、一定期間が必要なため、今後も繁忙期を避け資料整理休館を実施したい。その成果を展覧会、ワークショップ、SNS等で情報共有し、また来なくなる美術館を目指したい。									

【主な成果】

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度)	課題と対応(令和3年度以降)
	※感染症の影響については下線部	※感染症に起因する課題等については下線部
芸術祭・文化祭・ダンス体験教室の開催 生涯学習課(生涯学習係)	【実績】 第56回文化祭については、書道展、菊花展、文芸作品展、書道パフォーマンス等を感染予防対策を行い実施した。 <u>市民コーラス祭、市民芸能祭、芸術祭、ダンス体験教室については、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。</u>	施設整備の状況に応じて、関連する事業を精査し、必要に応じて計画的に事業化していく。 <u>コロナ禍であっても、感染予防対策を行い工夫をしながら市民の発表の場を確保していく。</u> <u>多くの市民に参加いただくイベント実施にあたっては、感染症の発生状況に応じて、中止も含め実施について慎重に判断し感染症予防対策を行いながら実施する。</u>
地域資源としての霧ヶ峰天然記念物の環境復元 生涯学習課(文化財係)	踊場湿原内の外来植物駆除作業及びモニタリング調査 【実績】 外来植物の個体数の減少	駆除作業及びモニタリング調査の継続(根絶は不可) 湿原内の雑木処理及び保存活用計画策定の実施検討(計画策定には費用負担と職員体制の強化を要す)

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
木道整備・自然保護パトロールの実施 生涯学習課(文化財係)	天然記念物指定地保護のための木道整備 【実績】 車山湿原木道改修(更新)84.58m 自然保護パトロール(地元住民1人による実施) 【実績】 指定地内への立入抑制	木道新設事業(完了)の見通し及び既存木道の維持管理 自然保護パトロールの実施期間及び人員の適正化
歴史資産を活かしたうらおいのあるまちづくり 生涯学習課(文化財係)	高島藩主諏訪家墓所の史跡整備に向け、 <u>コロナ禍のため会議日程の不調を生じるが、専門家の検討を得ながら、計画策定に取り組む。</u>	学術性を担保した計画が求められていることから、専門家による検討の継続が必要。史跡整備には多額な費用を要することが想定されることから、実施時期や規模、補助金以外の財源確保の検討が必要。
文化財の保護と活用拡大 生涯学習課(文化財係)	未来に伝えよう諏訪市の文化財・湖南編(10/24～11/29)を開催(博物館・公民館連携) 【実績】 講演会50名、(入館者数1,411名) <u>※コロナ禍により現地見学は中止</u>	文化財保護の意識向上を目的とする普及活動の継続。美術工芸や建造物など種別に応じた積極的な公開活用(博物館との連携や所有者との協働)。持続可能な文化財保護(保存と活用)活動を推進するための基本方針の策定。
歴史的建造物の調査の実施 生涯学習課(文化財係)	重要文化財諏訪大社上社本宮(建造物)保存修理に伴う文献調査及び発掘調査等の実施	これまでの調査成果に加えて、悉皆的な調査を行い、系統的な全体像の把握が必要。
諏訪市の著名人に関する紙芝居の作成 生涯学習課(図書館)	紙芝居「岩波茂雄ものがたり」を市内小中学校など中心に例年は上演していたが、 <u>コロナ禍で上演ができなかった。</u>	<ul style="list-style-type: none"> 紙芝居を有効活用し、信州風樹文庫の歴史や郷土の偉人の功績を広く市民に伝え継いでいく。 紙芝居の上演方法等について検討していく。
寄贈資料の整理 生涯学習課(博物館)	令和2年度より会計年度任用職員1名を資料調査専門職員として任用し、学芸員と共に館外収蔵施設(旧考古資料館、埋蔵文化財整理室)及び博物館収蔵庫にある寄贈資料の調査、整理を行った。	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度中に収蔵施設の資料調査を終え、移転収蔵先の検討や資料の活用へ向けた準備を具体的に進める。 資料調査でリスト化した資料のデータベース化を進め、ホームページから検索できる資料を充実させる。 未処理となっている寄贈資料の調査を進める。
企画展・資料公開展・講座の開催 生涯学習課(博物館)	【実績】 令和2年度 特別展「諏訪大社上社下社の算額」 当初4/25-7/26→延期7/4-10/4 3,028人 すわ大昔ミニギャラリー展 「日本遺産構成文化財 十二ノ后遺跡の石器」、「高島藩の刀剣」、「学芸員の逸品紹介」、「諏訪市の弥生時代遺物特別公開」 資料公開展「諏訪に伝わるおひなさま」 2/20-4/4 2,257人、 <u>新型コロナウイルス感染症の影響により、展示関連の講座、講演会の開催はなし。</u>	<ul style="list-style-type: none"> 市民が諏訪の歴史や文化財に関心や興味を持てるように、地域や学校、まちづくり団体とも連携し、「ふるさと学習」を通じて郷土への関心をより深められる場や機会を創出する。 企画展回数に絞込みによる予算の集中化と質の向上、課内連携による共催講座の開催、ホームページやフェイスブックなどによる広報の強化について引き続き対応していく。 体験講座や出張出前講座などをサポートするボランティアを養成する学習会を開催し、自主活動へ繋げる。 <u>コロナ禍においても、諏訪の歴史の学びが停滞することのないよう持続的に学べる場や機会、情報の提供が課題である。</u>

主な取組・担当課	内容・実績(令和2年度) ※感染症の影響については下線部	課題と対応(令和3年度以降) ※感染症に起因する課題等については下線部
<p>博物館のあり方検討</p> <p>生涯学習課(博物館)</p>	<p>博物館運営の要である博物館資料の収集・収蔵・活用方針の策定に向けたあり方を検討する。</p> <p>「すわ大昔情報センター」は、コロナ禍にありながらも研究・資料調査や相談を目的とした利用者が多く訪れた。年間来場者 1,968人</p> <p>「すわ大昔フォーラム」は事前申込・定員制とし、会場の変更、オンライン配信を試みるなど、諏訪の歴史の継続的な学びをサポートするため新しい講座のあり方を模索して開催した。受講者 241人</p> <p>図書資料等管理検索システムにより、HP上でセンターにある資料情報を提供。利用数 2,251件</p>	<p>博物館の重要課題である館外収蔵施設移転準備事業を進める上で、新たな収蔵スペースの確保に向けた建物の集約化と資料の一元化を目的に、博物館の運営方針を定め、資料の収集・収蔵・活用方針の策定を行う。</p> <p>市民の自主的な学びや活動の支援、子ども達のふるさと学習のサポートに継続的に取り組み、地域の歴史や文化について学びを深めるきっかけ作りを行う。</p> <p>友の会の再編と博物館サポーターの育成を行い、地域の歴史関係団体やまちづくりグループとの連携から、博物館で「ひと」と「まち」が出会い繋がる試みを行う。</p> <p>「すわ大昔情報センター」を、諏訪の歴史・文化の拠点として定着させ、収蔵品管理システムの充実をはかり、情報発信を強化する。</p>
<p>企画展・特別展・体験学習や講座などの開催</p> <p>生涯学習課(美術館)</p>	<p>【実績】</p> <p>特集展示「志村一男一心象で見る風景」 6/2～8/2 586人</p> <p>収蔵作品展「諏訪市美術館—コレクションの成り立ち—」8/8～9/27 入館者数570人</p> <p>児童生徒作品展「諏訪清陵高校文化祭ポスター展」10/3～11/1 入館者数709人</p> <p>学校連携展「高島小学校+今村克—ホームクルスのお祭り日」上諏訪中学校+美術館—身近な植物を見つめて—」11/7～1/24 入館者数817人 他</p> <p>つきいちアート 3回、延べ参加者数29人 他</p>	<p>地域にゆかりのある作家の企画展や学校連携展等を引き続き行い、多くの市民や子ども達に作家の存在や作品を紹介していくことにより、文化芸術への関心を高めていく。</p> <p>誰もが参加しやすいイベントを中心に開催し、親子連れや家族みんなでの入館者増を図る。</p> <p>イベント補助ボランティアの募集に力を入れ増員を図り、ボランティア研修やイベント参加の経験を積み、実践で活動できる人員を育成したい。</p>